

Nishitetsu Group Integrated Report 2025

にしてつグループ 統合報告書 2025

まちに、夢を描こう。



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 西武ビル ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

にしてつグループ企業理念

基本理念

にしてつグループは、
「出逢いをつくり、期待をはこぶ」
事業を通して、
“あんしん”と“かいてき”と“ときめき”を
提供しつづけ、地域とともに歩み、ともに発展します。



経営理念

人を活かす経営

人間性を尊重し、人を活かし育み、
活力あふれる企業風土をつくります。

新しい事業価値の創造

時代の要請を的確にとらえ、社会の共感を得られる、
新しい事業価値を創造します。

お客様の期待の創造

お客様の視点に立ち、期待にこたえ、
期待をつくる商品・サービスを提供します。

グループ総合力の発揮

たがいに自立性と個性を尊重し、協力しあい、
グループの総合力を発揮します。

行動理念

お客様の喜びが私たちの喜びです

お客様の立場で考え実践しよう。

にしてつグループの良き一員です

自己を高め役割と責任をはたそう。

「やればできる」を大切にします

創意と工夫で積極的に行動しよう。

いきいき職場をつくります

対話をひろげ信頼と協調を深めよう。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 西暦ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

まちに、夢を描こう。

～ Connecting your Dreams ～

人の想いが、未来をつくる。

にしてつグループは、そう信じています。

新しいモノやサービスを生み出すことも、

暮らしを豊かにすることも、理想のまちをつくることも。

すべては、人の想いからはじまります。

だからこそ、お客さまひとりひとりの、従業員ひとりひとりの想いを大切に、

未来をつくっていききたいのです。

「まちに、夢を描こう。」という企業メッセージは、にしてつグループが手がける事業が、

未来に向かってより拡大していくことへの期待感やスケール感を表現しています。

「まち」とは、地域の皆さまとともに生きるまちでもあり、

これから出会う新しい世界のまちでもあります。

お客さまや地域の皆さまのさまざまなライフステージで、

夢を共有しながら一緒に成長していく。

それが、私たちの目指す企業グループの姿です。

お客さまが描く自由な夢、地域の皆さまが描く豊かな夢、

にしてつグループの従業員それぞれが描く大きな夢。

いろんな想いが込められた夢を集めて、新しいまちを描いていきましょう。

- ▶ 特集 西ワンピル、始動。
- ▶ chapter 1 イントロダクション
- ▶ chapter 2 価値創造ストーリー
- ▶ chapter 3 サステナブル経営
- ▶ chapter 4 事業別概要
- ▶ chapter 5 会社データ

特集

2025

| | |
|----------------------|---|
| 西鉄本社 ワンビル、始動。 | 4 |
| Part 1 変わる! まちの創造交差点 | 5 |
| Part 2 変わる! 本社の創造交差点 | 7 |

chapter 1

イントロダクション

| | |
|-------------------|----|
| 01 価値創造の歩み | 11 |
| 02 にしてつグループの事業概要 | 12 |
| 03 数字で見るにしてつグループ | 13 |
| 04 にしてつグループの事業エリア | 14 |
| 05 福岡・九州の強み | 15 |

chapter 2

価値創造ストーリー

| | |
|------------------------------------|----|
| NISHITETSU side story “ゼロイチ” マインド。 | 17 |
| 01 トップメッセージ | 19 |
| 02 にしてつグループが実現したい社会に向けて | 23 |
| 03 にしてつグループ まち夢ビジョン2035 | 24 |
| 04 価値創造プロセス | 27 |
| 05 にしてつグループの強みと経営資源 | 28 |
| 06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ | 30 |

chapter 3

サステナブル経営

| | |
|------------------------------------|----|
| NISHITETSU side story 走り続けて、伝説になる。 | 34 |
| 01 にしてつグループにおけるサステナブル経営 | 36 |
| 02 環境と調和ある事業活動の推進 | 38 |
| 03 安全・あんしんの追求 | 47 |
| 04 持続可能で活力あるまちづくりの推進 | 51 |
| 05 お客さま満足の向上 | 57 |
| 06 働きやすい・働きがいのある職場づくり | 58 |
| 07 人権の尊重 | 62 |
| 08 コーポレート・ガバナンス | 63 |
| 09 コンプライアンス | 76 |
| 10 リスクマネジメント | 77 |
| 11 社外取締役 一座談会ー | 78 |
| 12 新任社外取締役メッセージ | 81 |
| 13 有識者メッセージ | 82 |
| 14 社会貢献活動 | 83 |

chapter 4

事業別概要

| | |
|---|----|
| NISHITETSU side story ^{成田の流儀} プライド。NNRの“翼” | 84 |
| 01 運輸業 | 86 |
| 02 不動産業 | 88 |
| 03 流通業 | 90 |
| 04 物流業 | 92 |
| 05 レジャー・サービス業 | 94 |
| 06 その他 | 96 |

chapter 5

会社データ

| | |
|---|-----|
| NISHITETSU side story ^{スキル} 技術の継承。 | 97 |
| 01 財務データ | 99 |
| 02 非財務データ | 102 |
| 03 会社概要・株式情報 | 108 |

編集方針

当社グループは、にしてつグループまち夢ビジョン2035における価値提供の基本スタンス「濃やかに、共に、創り支える」のもと、「居心地のよい幸福感あふれる社会」の実現を目指しています。本報告書は、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまにとって、「にしてつグループが企業理念の実践により、地域・社会における価値創造へ挑戦しサステナブルな成長を目指すこと」に対するご理解を深めていただける構成でまとめたものです。

参照ガイドライン

IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」(IIRC) および経済産業省「価値協創ガイドランス」を参照しています。



報告対象

報告対象範囲：西日本鉄道株式会社およびにしてつグループ
報告対象期間：2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)。ただし、一部対象期間外も含まれています。
発行時期：2025年10月

※本報告書へ記載の数値は、特段の注記がない限り、2024年度実績もしくは2024年度末時点の数値を記載しています。

将来の見通しに関する注意事項

本報告書には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含んだものです。将来の業績は経営環境の変化などにより、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

当社に関する最新の情報は、
下記ホームページをご参照下さい。
<https://www.nishitetsu.co.jp/>



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ^{西鉄本社} ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

ONE FUKUOKA BLDG. から始まる新たな「天神」

2025年4月24日、『ONE FUKUOKA BLDG.』が開業しました。6年にわたる「福ビル街区建替プロジェクト」の結晶であり、天神ビッグバンの象徴です。オフィスは西日本最大規模、ワンフロア約1,400坪の無柱空間に、天井高3.0mを実現。耐震性やBCP、セキュリティ、環境性能から感染症対策まで、新時代にふさわしいスペックを誇ります。最上層にライフスタイル型ホテル『ONE FUKUKA HOTEL』を配置し、ビジネスや観光、MICEにも応える空間としました。B2F～5Fのショップ&レストランには世界のトップメゾンや旗艦店、福岡の食文化を体感できるフードゾーンが集います。コンセプトは「創造交差点」。働き方と生き方、オンとオフ、世界と地元、アジアと福岡…。多様な価値が交わり、偶発性と多様性から新しい創造が生まれる場所。九州を牽引する拠点として、まちに新たなうねりを生み出していきます。

【所在地】福岡市中央区天神一丁目11番1号 【敷地面積】約8,600㎡
【延床面積】約147,000㎡ 【階数】地上19階、塔屋1階、地下4階
【建物高さ】約97m 【用途】オフィス、商業、ホテル、カンファレンス

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▼特集 **ワンビル、始動。**

Part 1 変わる！まちの創造交差点

Part 2 変わる！本社の創造交差点

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

九州一の繁華街・福岡天神。

その中心地は「天神二丁目交差点」であり、2025年4月24日、この地に6年の歳月をかけた

『ONE FUKUOKA BLDG.』が開業しました。

ここは、半世紀以上にわたり

天神と共に発展してきた西鉄本社の所在地です。

西 鉄 本 社

“ワンビル”、始動。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▼ 特集 ワンビル、始動。

Part 1 変わる! まちの創造交差点

Part 2 変わる! 本社の創造交差点

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

ビルが竣工。当時「西日本一のデラックスビル」と称され、天神は新時代の象徴として人々を魅了しました。

ワンビルの開発プロジェクトを進めるにあたっては、こうした歴史のすべてを受け止め、天神という都市の特性を徹底的に分析。都市としての「強み」を整理し、未来の姿を具体的に描きながら、核となるコンセプトを練り上げました。議論に加わったのは、業界の第一線で活躍する福岡出身のクリエイターたち。「福岡らしさ」とは何か。問いを重ね、徹底的に議論を尽くしました。

導き出された答えは——「働く」と「暮らす」が近い福岡だからこそ、オンとオフの境界をあいまいにし、シームレスにつなぐべきだということ。そこでは偶発的な出会いが生まれ、異なる価値観が交差し、自由な発想が立ち上がる。働くことと暮らすこと、福岡とアジア、多様なヒトとモノが織りなす交わりのなかから「創造」が芽吹く。その未来像を凝縮したのが、「創造交差点」と

いうコンセプトでした。

福岡ビル、天神コアビル、天神第一名店ビル（天神ビブレ）の3棟がひとつに結集する「福ビル街区」の一体開発。この壮大な事業は、代々続くそれぞれのビルの旧テナントや地権者のみなさまの深いご理解とご協力なしには実現し得ませんでした。当社は「福ビル街区建替プロジェクト」としてこの大規模な再開発を推し進め、プロジェクトを牽引したメンバー（写真）を中心に、天神を誰よりも愛する当社グループの全社員が力を合わせました。

その結晶として——2025年4月24日、百年の絆を未来へつなぐ天神の新たな扉、「ワンビル」が開きました。

※1957年当時、ワンビルが建つ場所にあった『福岡郵便局（現福岡中央郵便局）』が現在地へ移転し、その跡地に建設予定だった『福岡銀行本店』が現在地へ、さらにその現福岡銀行本店の場所にあった『旧天神町市場』のテナントが、建設する『福ビル（ワンビル現在地）』に入居するというもの。詳しくはこちらをご覧ください。



地域とともに歩み、ともに発展

百年の“絆”で実現した天神「創造交差点」

本社を置いていた「福岡ビル」に、57年にわたる歴史に幕をおろした2019年4月1日から、約6年（2098日）の歳月をかけ、2024年12月27日、『ONE FUKUOKA BLDG.（ワンビル）』が竣工しました。その間、一日あたり最大1,500名、会社も国籍も異なる多様な人々が工事に携わり、力を尽くしました。そこには、のべ数万人におよぶ人々の汗と情熱、そして夢を形にする力が結集しています。

かつて福岡城の城下町として発展した天神は、明治末期の1910年、路面電車を運営する福博電気軌道が開業したことで近代都市への扉を開き、翌1911年には博多電気軌道が開通しました。こうして「明治通り」と「渡辺通り」が交差する場所に「天神町」電停が設けられ、都市の鼓動が交わる地点となったのです。いまワンビルが立つのは、まさにその歴史の結節点。1957年には、福岡ビルと福岡中央郵便局、福岡銀行本店が土地を交換する「三角交換計画※」という前例のない取り組みが実現し、1961年には地下から1階部分に商業施設を配置した福岡



福ビル街区建替プロジェクトのリーダーたち

まちに新たなうねりを生む交差点

“共創”から生まれる新ムーブメント【X to 1】

ワンビルのコンセプト「創造交差点」をお客さまに感じていただくために、モノ・ヒト・企業がワンビルという場で縦横無尽に交差する取り組みをプラットフォーム『X to 1』にて発信しています。ワンビル開業記念として地元のブルワリーと開発したオリジナルビール『ONE Craft』の開発秘話などを紹介しています。食・文化・音楽・アート・ビジネス、そして人…。それぞれの要素が互いに刺激し合い、融合し、一つに凝縮されていく。そんな新しい価値がワンビルで生まれています。



「X to 1」の詳細情報はこちらから



ワーカーの“食”を支える！【天神福食堂】

天神ビッグバン完了時には天神ワーカーの増加により、ランチ場所の不足が見込まれています。また、コロナ禍を経てコミュニケーション不足を感じるシーンも多く、そうした閉塞感を解決できる場として『天神福食堂』が誕生しました。社員のアイデアから誕生したこの食堂は、1,000円以下で楽しめるランチの他、食事や休憩、打ち合わせなど多彩な目的でご利用いただけます。さらに、決済は完全キャッシュレスとなっております。先進のDX活用と天神にこれまでなかった新発想でワーカーの健康を支え、地域課題の解決にも挑戦しています。

地域を守る「防災拠点」ワンビル

ワンビルは災害時の防災拠点としても機能します。帰宅困難者の避難スペースや72時間稼働電源、555人分の水・食料・毛布を備蓄する他、下水断絶時も3日間使用できる衛生設備を備え、制震HiDAX-e※や防潮板で地震や水害にも対応。さらに停電時も機能し、地域を守り迅速な復旧に貢献する防災拠点となります。

※オイルダンパーで地震エネルギーを効率よく吸収し、揺れを最小限に抑えることで安全性を確保する

アートが交差する創造のまち、天神

ワンビルのコンセプトである「創造交差点」には、“訪れる人々を常にワクワク・ドキドキさせ、新しいものを生み出し続ける場所にしたい”という思いが込められています。

天神交差点に位置し、多くの人が行き交う場となるワンビルにアートの要素を取り入れることで、来街者や館内で働く人々が身近にアートを楽しむことができる場所をつくり、新たな発見やクリエイティブな刺激を生み出すきっかけを提供したいと考えています。

ワンビルを起点に、天神の街で多くの人々がアートに触れていただける機会を創出することで、地域とともに街全体の魅力が高まっていくことを期待しています。



アートが交差する創造のまち、天神の詳細情報はこちらから



◀2025年4月、CIC・福岡県・福岡市との連携協定式。右からCIC Japan梅澤会長、福岡県の服部知事、CIC創業者兼CEOティム・ロウ氏、福岡市の高島市長、当社社長の林田

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▼特集 ワンビル、始動。

Part 1 変わる！ まちの創造交差点

Part 2 変わる！ 本社の創造交差点

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

グループ会社の従業員も合わせた交流エリア
＜クロスガーデン（9階）＞にて

総務部
働き方改革推進担当
樋口 菜衣さん

2025年5月26日、当社はワンビルに本社機能を移転しました。「福ビル街区建替プロジェクト」に伴い、半世紀以上にわたり本社を置いていた天神を離れ、約6年。当社グループの発展の地である天神に、私たちは再び戻ってきました。

本社を構えるのは、ワンビルの9・10階の2フロア。およそ2,100坪のオフィスに約700名の従業員が勤務しています。前オフィスは執務エリアが多層に分かれており、組織の垣根を越えた交流が生まれにくい環境でしたが、2フロアに集約し中央に内部階段を設置することで、ひとつの大きな空間に全員が同居する、つながりやすいオフィスになりました。太い柱や壁も無く全体を見渡すことができる執務エリアでは、偶発的な出会いが増え日々新しいコミュニケーションが生まれています。

今回の本社移転は、2022年に発表した長期ビジョン「にしてつグループまち夢ビジョン2035」の実現に向けた経営戦略と捉え取り組んできました。計画策定にあたっては、経営層や様々な階層の従業員を巻き込み、未来志向で議論を重ねました。目指したのは、ワンビルのコンセプトである「創造交差点」の体現。そのためには、＜グループとしての一体感の醸成＞、＜一步踏み込んだ連携＞、＜提供価値を向上し続ける風土づくり＞を促すオフィスが必要だと考えました。それらを実現すべく掲げたコンセプトは「X Terminal（クロスターミナル）-“ときめき”が交差するオフィス-」。様々な人が集まり、互いに夢や想いを語り合うことで、新たな価値を生み出し、これまでに築き上げてきた事業をさらに発展させていく。“ときめき”が交差する価値創造のターミナルとなることを目指しています。

この
交差点から、
“ときめき”を。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

- ▼ 特集 ワンビル、始動。
 - Part 1 変わる！ まちの創造交差点
 - Part 2 変わる！ 本社の創造交差点

- ▶ chapter 1 イントロダクション
- ▶ chapter 2 価値創造ストーリー
- ▶ chapter 3 サステナブル経営
- ▶ chapter 4 事業別概要
- ▶ chapter 5 会社データ

ワンビル、始動。
変わる！

本社の創造交差点

Part 2

7



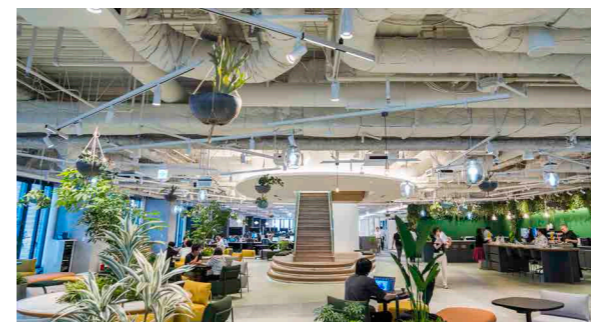
集まる人、広がるコミュニケーション

「従業員×従業員」が交差する拠点として、執務エリアの中央に交流エリア『X GARDEN (クロスガーデン)』を配置しました。フロア間をつなぐ内部階段を下りた先に広がる約160坪の開放的な空間は、“オフィスらしくない”佇まいが特徴です。人が集まる「公園」をイメージし、グリーンを多数配置したほか、自然を感じられるアロマを導入し、リラックスできる居心地の良い空間を演出しています。このクロスガーデンでは、グループの誰もがカジュアルに交流でき、社内コミュニティの中心となる場を目指した環境を構築しています。

エリア内は、打ち合わせや個人タスク、1on1ミーティング、食事、リフレッシュなど日常のあらゆる場面で利用することができます。可動式什器によりシーンに

応じてフレキシブルにレイアウトを変更することが可能で、最大100名規模の社内イベントを開催することもできます。コピーコーナーやカフェスペース、サービスカウンターといったマグネットスペースを併設していることに加え、グループ従業員も自由に入出しタッチダウンオフィスとして利用することができるため、一日を通して様々な人が行き交います。

自然と人が集まるこの場所では、偶発的に出会う従業員との気軽なコミュニケーションが生まれやすく、雑談や会話を通じて新たな信頼関係が築かれています。従業員のエンゲージメント向上に繋がるとともに、組織のパフォーマンスを最大化するチームワークが高まることで、組織を越えたコラボレーションが活性化されています。



上) 偶発的な出会いを創出する<クロスガーデン (9階)> 下) フロアをつなぐ内部階段。フロア間でコミュニケーションが分断されることなく、オフィス内を水平移動するのと同じ感覚で行き来することができる。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▼ 特集 ワンビル、始動。

Part 1 変わる！ まちの創造交差点

Part 2 変わる！ 本社の創造交差点

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

ワンビル、始動。

変わる！

本社の創造交差点



従業員

役員



本社

グループ会社



西鉄

社会

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▼特集 ^{西鉄}ワンビル、始動。

Part 1 変わる！まちの創造交差点

Part 2 変わる！本社の創造交差点

▶chapter 1 イントロダクション

▶chapter 2 価値創造ストーリー

▶chapter 3 サステナブル経営

▶chapter 4 事業別概要

▶chapter 5 会社データ

近づく距離と交わる想い

新しいオフィスでは従業員の執務席の中心に役員の座席を配置しました。前オフィスでは役員個室を置いていましたが、移転前に行った従業員ワークショップの中で、「役員をより身近に感じたい」「役員の想いを直接聞きたい」という意見が多数挙がったため、これを反映したものです。

役員と従業員との物理的・心理的な距離が縮まり、インフォーマルコミュニケーションも増え、相互理解が促進されています。また、オープンな空間で役員自らがビジョンを語ることで、組織全体が同じ方向に進むことができ、従業員一人ひとりのエンゲージメント向上にも繋がっています。

つながりがグループ総合力を発揮

今回の移転を機に、当社グループにおける本社の役割を、「組織や立場に関係なく交わり、グループの中心となる場」と整理しました。新しいオフィスでは、グループ従業員も一緒に働くことができ、互いに交流できる環境を整えています。

オフィス内には、グループ従業員が第2のオフィスとして活用できるスペースを各所に設けており、スペース前には、「西鉄グループの従業員どなたでも利用可能なエリアです」というサインも設置しています。当スペースを中心にワンビルを訪れるグループ従業員との交流を生み、組織を越えたコラボレーションを促進させ、グループ総合力を発揮していきます。

まちに開かれたオフィス

「まちに開かれたオフィス」を目指し、来客エリアは誰もが気軽に訪れることができる環境を構築しました。セキュリティゲートを通さずお越しいただくことができ、テーブル・チェアが並ぶラウンジスペースはワークスペースとしても自由にご利用いただけます。

また、同エリアでは、サイネージ・展示物を設置した<ブランドシェアスペース>を通して、当社グループの歴史や現在の取り組みを発信しているほか、最大100名収容可能なスペースを使って様々なステークホルダーとの関係を強化するイベントを開催しています。この場所を起点に新たなパートナーシップを構築し、ワンビルのコンセプトである「創造交差点」を体現していきます。

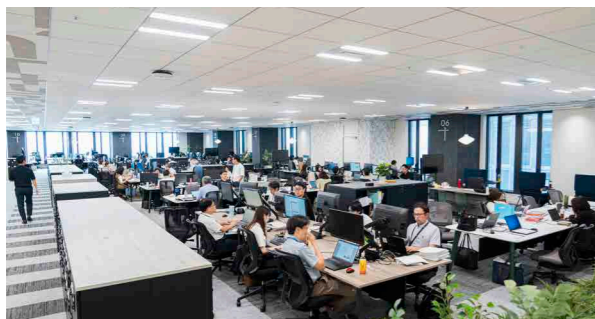
2025年6月、在福企業12社から総勢60名の社員が協力し、就職活動中の学生向けに九州で働く魅力を伝えるイベント『KYUSHU JOB FES!』を開催。自己理解の支援と一緒に働く仲間や先輩と出会う環境を創ることを目的に、対学生のイベントを実施し、交流を生み出した（290名の学生が参加）。

ワンビル、始動。

変わる！

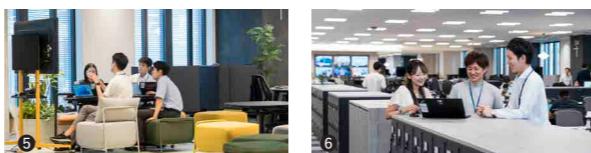
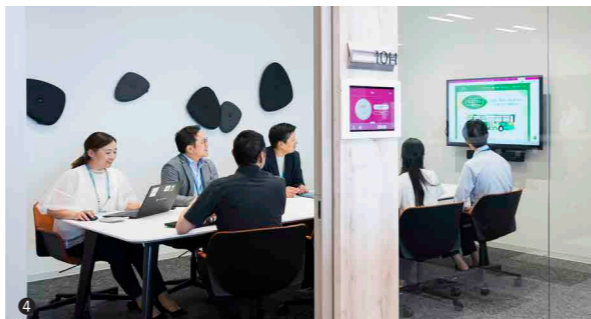
本社の創造交差点

多様な席で自在に働くABW



新しいオフィスでは、その時々の仕事内容に応じて自律的に働く場所を選択する働き方、ABW (Activity Based Working) を導入しました。執務エリアには、作業に合わせてデスクの高さ調整が可能な昇降デスク (①) やweb会議に対応したワークブース (②)、チームワークに適したスペースなど様々なシーンに応じた席を設け、パフォーマンスを最大化しています。座席は専用アプリで手軽に予約・チェックイン (③) することができ、従業員の居場所も容易に確認可能です。ABWに伴う「誰がどこにいるかわからない」という問題をアプリ導入によって解決しました。これらの多彩な座席の新設で、「働きやすくなった」という社員の声も多いです。

目的に応じた多彩な打ち合わせ空間



チームワークを高める多様な打ち合わせスペースを配置しています。内容に応じ、クロード (④) ・セミクロード・オープンスペース (⑤) を選択することができ、各所には大型モニターやweb会議対応のマイクスピーカーを設置しています。

執務席と通路を隔てるキャビネットの天板もミーティングデスク (⑥) として活用し、少人数・短時間で効率的に打ち合わせを実施しています。



癒しと集中を両立する空間



オフィスの一角に、高集中・リラックスが共存するスペースを配置しました。グリーンを多く取り入れ自然の癒しを感じられる空間 (⑨) で、集中ゾーン (⑦) は周囲の視線を遮り誰にも話しかけられず作業に没頭することができます。リラックスゾーン (⑧) はリラックスしながらアイデアを考える、次の仕事の生産性を高めるためにリチャージするといった場面で活用しています。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▼ 特集 ワンピル、始動。

Part 1 変わる！ まちの創造交差点

Part 2 変わる！ 本社の創造交差点

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

ワンピル、始動。

変わる！

本社の創造交差点

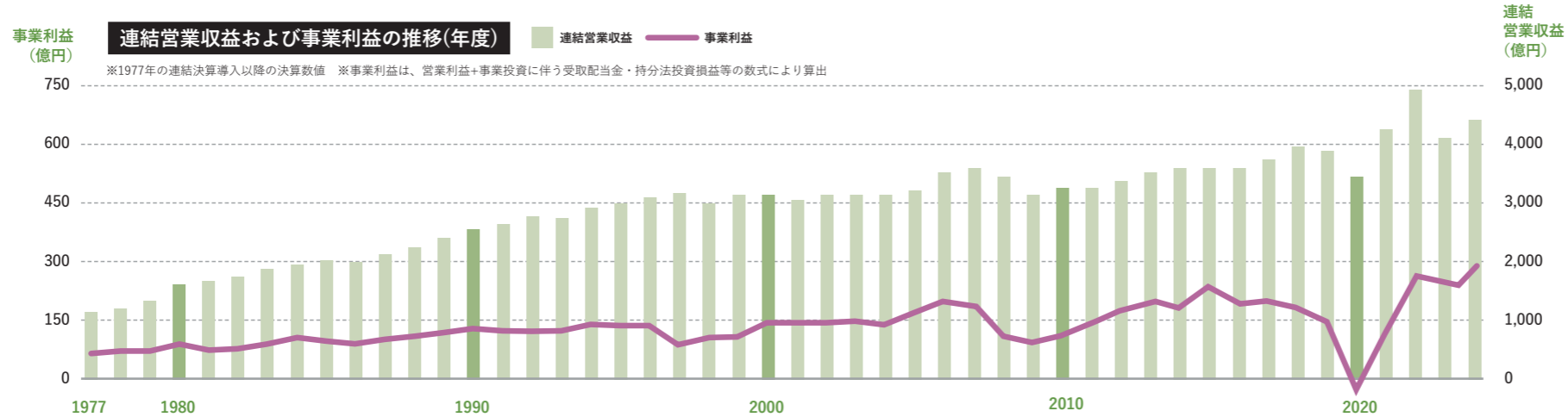
地域とともに歩み、ともに発展

1908年の創業以来、100年以上にわたって福岡を拠点として鉄道・バスの運輸業を中心に地域とともに歩み、ともに発展してきました。

また、地域で培ったブランドを基盤に域外への事業展開も進め、成長を図っています。

今後も、地域社会や人々が抱える様々な課題を自分事として受け止め、ステークホルダーと共創しながら解決を図り、

居心地のよい幸福感あふれる社会を創るべく、これからも挑戦を続けてまいります。



| 1908年 | 1942年 | 1950年代 | 1960～70年代 | 1980年代 | 1990～2000年代 | 2010年代～ | 2024年 |
|--|--|--|--|--|--|--|----------------------------|
| | | | | | | | |
| 創業 前身の九州電気軌道株式会社を北九州市に設立。軌道、電力、埋立事業などを通じて北九州の発展を支えた。 | 西鉄誕生 鉄軌道5社合併により、西日本鉄道が誕生。本店を北九州市から福岡市に移転し、福岡県下のバス会社を統合、現在の事業基盤を確立した。 | バス事業の発展 貸切バスの営業開始や高速バスの路線網拡充を実施。多様化するレジャー需要への対応や、福岡と近県主要都市を結ぶバス路線網を構築した。 | 不動産業・流通業の展開 戦後の経済発展に伴う人口増加や購買需要に応え、商業施設の経営や住宅の供給、流通の面から地域の発展に貢献した。 | 国際物流事業の成長 航空貨物の取扱量の急拡大に対し、積極的に国内外ネットワークを拡充することで需要に応えた。 | 天神のまちづくり 天神ソラリア計画により、天神のまちづくりを推進、デベロッパーとしての実績を積み上げた。 | グローバルビジネスの拡大 ホテル事業が初の海外に進出。住宅・収益不動産の開発においても国内で培ったノウハウを活かし海外展開を進めている。 | ONE FUKUOKA BLDG.竣工 |

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 **ワンビル、始動。**

▼ chapter 1 イントロダクション

01 価値創造の歩み

02 にしてつグループの事業概要

03 数字で見るにしてつグループ

04 にしてつグループの事業エリア

05 福岡・九州の強み

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

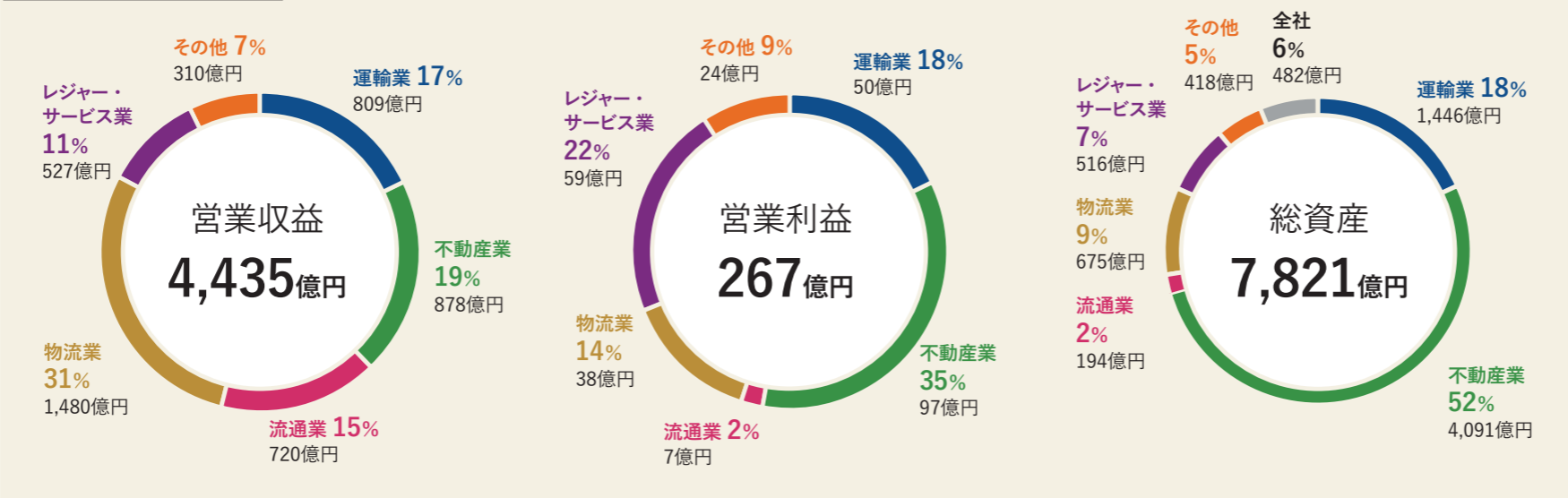
▶ chapter 5 会社データ

02

にしてつグループの事業概要

にしてつグループは、運輸業、不動産業、流通業、物流業、レジャー・サービス業、その他のセグメントで、当社、子会社81社、関連会社46社および学校法人1法人から構成されています。(2025年3月末)

2024年度セグメント別実績



運輸業 [19社]



- 鉄道事業
- バス事業
- タクシー事業
- 運輸関連事業

不動産業 [12社]



- 賃貸事業
- 住宅事業
- その他不動産事業

流通業 [2社]



- ストア事業
- 生活雑貨販売業

物流業 [26社]



- 国際物流事業
- 国内物流事業

レジャー・サービス業 [18社]



- ホテル事業
- 旅行事業
- 娯楽事業
- 飲食事業
- 広告事業
- その他サービス事業

その他 [9社]



- ICカード事業
- 車両整備関連事業
- 建設関連事業
- 金属リサイクル事業

主な関連会社



福岡国際空港株



ネクスト・モビリティ株



九州急行バス株



西鉄自然電力合同会社



株太宰府園

「運輸業、不動産業、物流業、レジャー・サービス業、その他」の会社数には当社が重複して含まれ、それぞれを1社として取り扱っています。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ^{西鉄}ワンピル、始動。

▼ chapter 1 イントロダクション

01 価値創造の歩み

02 **にしてつグループの事業概要**

03 数字で見るにしてつグループ

04 にしてつグループの事業エリア

05 福岡・九州の強み

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

1908年の創業以来、鉄道・バス事業のほか、賃貸・住宅・ストア・国際物流・ホテル事業など多様な事業を展開し、まちづくりを通して人々の生活を支援しています。

(2024年度実績・2024年度末時点)



創業

1908年



連結従業員数

18,956人



連結営業収益

443,495百万円



資本金(西鉄)

26,157百万円

モビリティサービス



鉄道

営業キロ・駅数(西鉄)※1

106.1km・73駅

車両数(西鉄)※1

298両

輸送人員(西鉄)※1

10,301万人



バス

車両数[乗合+貸切](西鉄グループ)※2

2,606台

実車走行キロ[乗合](西鉄グループ)※2

10,005万キロ

輸送人員[乗合](西鉄グループ)※2

20,747万人

BtoB物流サービス



国際物流・国内物流

事業展開国・地域

世界28カ国・地域119都市

航空貨物取扱量・件数

航空輸出10.3万t・航空輸入32.1万t※5

海運貨物取扱量

海運輸出11.2万TEU・海運輸入14.6万TEU※5

リアルな場提供サービス



賃貸事業

12オフィスビル賃貸可能面積※3 約6.5万㎡

主要6商業ビル賃貸可能面積※4

約7万㎡

主要6商業ビル売上高※4

523億円



住宅事業

分譲マンション販売数

695戸

戸建住宅販売区画数

175区



レジャー・サービス事業

賃貸マンション供給数

10棟937戸

シニアマンション供給数

11棟1,527室

ホテル出店数

23店舗

マリワールド年間来館者数

約113万人

BtoC物販サービス

スーパーマーケット店舗数

64店舗 福岡県内店舗数60店舗

生活雑貨販売業店舗数(インキューブ)

18店舗 福岡県内店舗数8店舗

その他



交通系ICカードnimoca累計発行枚数

約570万枚

※1 天神大牟田線および貝塚線の合計。 ※2 西鉄グループとは、西鉄およびグループバス会社10社(西鉄観光バス㈱、西鉄バス北九州㈱、西鉄バス久留米㈱、西鉄バス佐賀㈱、西鉄バス大牟田㈱、西鉄バス筑豊㈱、西鉄バス宗像㈱、西鉄バス二日市㈱、日田バス㈱、亀の井バス㈱)を指す。なお、[乗合]には西鉄観光バス㈱は含まない、西鉄バス二日市㈱と西鉄バス宗像㈱は2025年10月西日本鉄道㈱に吸収合併。 ※3 12オフィスビルとは、「NDビル、西鉄大手門ビル、西鉄薬院ビル、西鉄赤坂ビル、西鉄渡辺通二丁目ビル、西鉄渡辺通ビル、西鉄博多駅前ビル、西鉄今泉ビル、西鉄薬院駅ビル、西鉄千代田県庁ビル、西鉄天神ビル、毎日福岡会館」を指す。 ※4 主要6商業ビルとは、「ソラリアプラザ、ソラリアステージ、レイリア大橋、レイリア久留米、チャチャタウン小倉、高宮西鉄名店街」を指す。 ※5 TEUとは、20フィートの海上輸送コンテナを1単位とした換算個数。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 西鉄ワンビル、始動。

▼ chapter 1 イントロダクション

01 価値創造の歩み

02 にしてつグループの事業概要

03 数字で見るにしてつグループ

04 にしてつグループの事業エリア

05 福岡・九州の強み

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

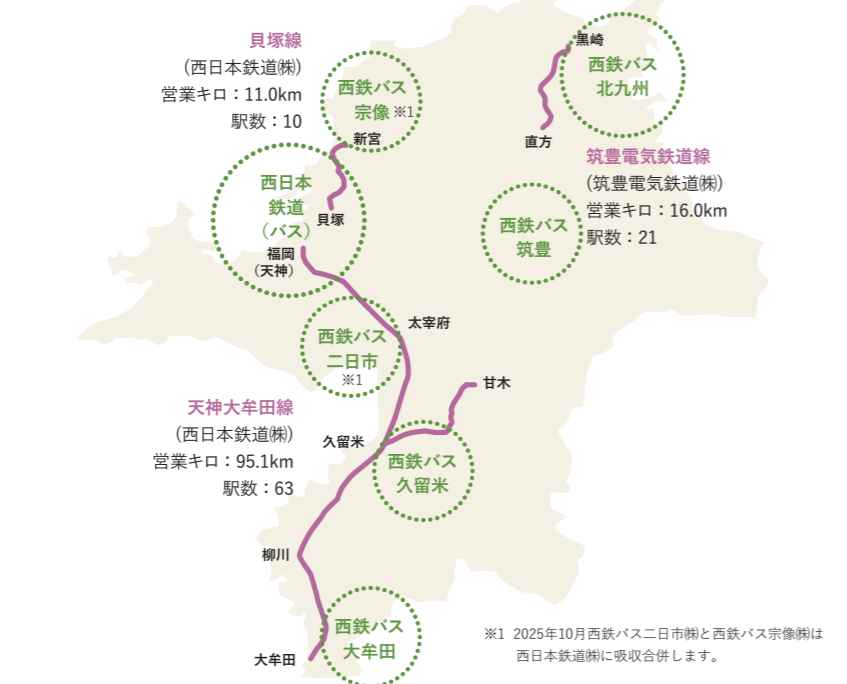
創業以来、沿線地域を中心に地域の生活に密着した事業を展開しており、現在では沿線地域で培ったノウハウや強みを活かし、グローバルに事業展開を進めています。



福岡・天神を中心とする、地域の生活に密着した幅広い事業展開

福岡県を拠点に、鉄道・バス等により形成される広範な交通ネットワークを事業の基盤とし、不動産業や流通業、レジャー・サービス業等、地域の生活に密着した幅広い事業を展開しています。

天神・沿線地域 国内 (福岡以外) 海外



沿線地域で培ったノウハウや強みを活かした事業展開 国際物流事業を中心にグローバルネットワークを活かした事業展開

沿線地域で培った西鉄ブランドを基盤に、国際物流事業や住宅事業、ホテル事業など、域外への事業展開を進め、グループの成長を図っております。

運輸業

バス事業
・AI活用型オンデマンドバス「のるーと」(全国54エリア/2025年4月時点)

不動産業

住宅事業 (首都圏・関西圏・九州等)

流通業

スーパーマーケット事業
・にしてつストア、あんくる夢市場 (佐賀/4店舗)
生活雑貨販売業
・インキューブ (関東・関西・九州等/10店舗)

物流業

国際・国内物流事業 (全国各地に営業拠点)

レジャー・サービス業

ホテル事業
・ソラリア西鉄ホテル札幌
・ソラリア西鉄ホテル銀座
・西鉄イン日本橋
・西鉄イン新宿
・西鉄ホテルクルーム名古屋
・ソラリア西鉄ホテル京都プレミア三条鴨川
・西鉄イン高知はりまや橋
・西鉄リゾートイン別府
・ソラリア西鉄ホテル鹿児島
・西鉄リゾートイン那覇
その他サービス事業
・航空地上ハンドリング業務 (新千歳、成田、松山、山口宇部、佐賀、熊本、宮崎)

その他

ICカード事業
・ニモカ (函館、佐賀、熊本、大分、宮崎、長崎)

国際物流事業における海外ネットワーク 28カ国・地域119都市



ホテル出店数 3カ国5店舗 (韓国・台湾・タイ)



海外不動産案件実績 [住宅・収益不動産] 5カ国25案件 (ベトナム・インドネシア・タイ・フィリピン・アメリカ)

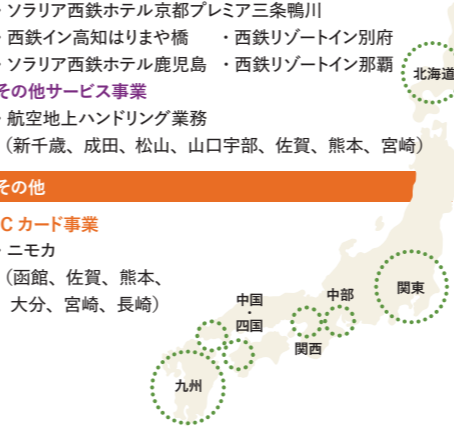
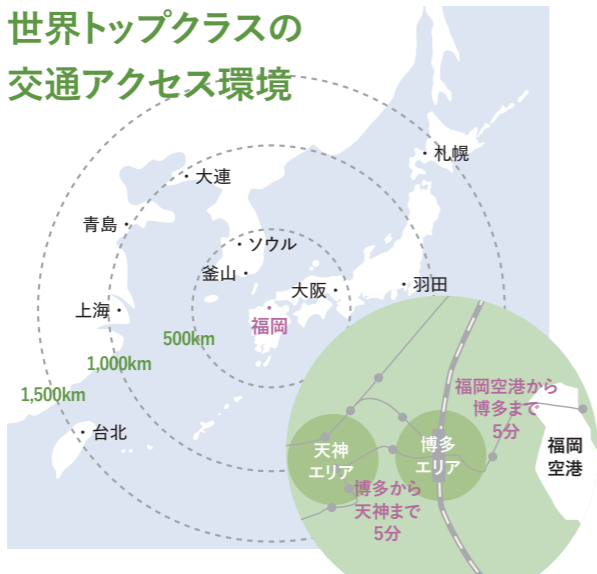


Table with 2 columns: Section Name and Content. Includes items like 'にしてつグループ企業理念', '企業メッセージ', 'コンテンツ', '特集 ワンビル、始動。', 'chapter 1 イントロダクション', '01 価値創造の歩み', '02 にしてつグループの事業概要', '03 数字で見るにしてつグループ', '04 にしてつグループの事業エリア', '05 福岡・九州の強み', 'chapter 2 価値創造ストーリー', 'chapter 3 サステナブル経営', 'chapter 4 事業別概要', 'chapter 5 会社データ'

福岡の強み

世界トップクラスの交通アクセス環境



空港から都心へのアクセス時間は世界トップの短さ

| | | |
|---------------|------------------|-------|
| 空港へのアクセス時間の短さ | 1位 福岡 | 【8分】 |
| | 2位 ポストン (アメリカ) | 【8分】 |
| 世界48都市中 | 3位 ジュネーブ(スイス) | 【10分】 |
| | 4位 チューリッヒ (スイス) | 【12分】 |
| | 5位 フランクフルト (ドイツ) | 【16分】 |

※出典:「Fukuoka Facts(GPCI 2024)」

国内外との充実した交通ネットワーク

国際航空路線(福岡空港発着) **906便/週**
※2024年度時点

国内航空路線 年間旅客数(2024年度)

| | | |
|------------|-------|-------|
| 福岡-東京(羽田)線 | 国内 2位 | 906万人 |
| 福岡-那覇線 | 国内 6位 | 218万人 |

新幹線発着本数 (博多駅発着)

| | |
|----------|--------|
| 東京・新大阪方面 | 166便/日 |
| 鹿児島方面 | 93便/日 |

※2024年7月(臨時増発便を除く平日運行数)

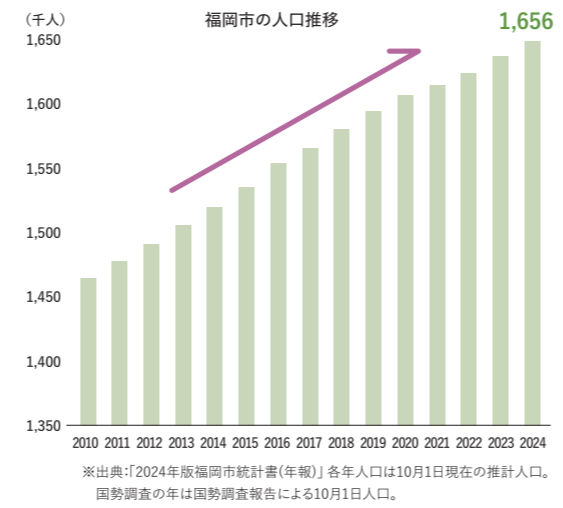
高速バス発着本数(天神BT)

857便/日

※2025年10月(日祝運行本数)

※出典:「航空輸送統計年報(2024年度)」
 ※出典「Fukuoka Facts(航空輸送統計年報[国土交通省]、九州経済調査協会調べ)」

人口が増加し活気あふれる福岡市



1985年以降一貫して人口増、2035年まで増加見込み

※2015.10～2020.10の増加数・率

人口増加数・人口増加率が高い都市

| 全政令指定都市中 | 増加数 | 増加率 |
|----------|---------|-----|
| 1位 福岡 | 1位 福岡 | |
| 2位 川崎 | 2位 さいたま | |
| 3位 大阪 | 3位 川崎 | |
| 4位 さいたま | 4位 大阪 | |
| 5位 横浜 | 5位 名古屋 | |

※1 国立社会保障・人口問題研究所の推計

※出典:「Fukuoka Facts (2020年国勢調査)」

活気溢れる、若者率トップの街

人口に占める若者(10代・20代)の割合

政令指定都市中

| 若者率 |
|--------------|
| 1位 福岡 22.08% |
| 2位 川崎 21.39% |
| 3位 仙台 20.92% |
| 4位 岡山 20.78% |
| 5位 京都 20.76% |

1位

※出典:「Fukuoka Facts (2020年国勢調査)」

住みよい街 福岡市

都市交通が充実したコンパクトなまち、通勤時間はアジアトップの短さ

通勤・通学時間の短さ

アジア13都市中

| |
|---------------------|
| 1位 福岡 |
| 2位 台北 (台湾) |
| 3位 大阪 |
| 4位 クアラルンプール (マレーシア) |
| 5位 香港 (中国) |

※出典:「Fukuoka Facts(GPCI 2024)」

交通アクセス・生活利便性の高さが評価

住みたい街ランキング

アジア13都市中

| |
|-------|
| 1位 福岡 |
| 2位 那覇 |
| 3位 横浜 |
| 4位 仙台 |
| 5位 札幌 |

※出典:「Fukuoka Facts (大東建託㈱「いい部屋 ネット住みたい街ランキング2025)」

豊かな観光資源を有する福岡

日本人・外国人を問わず、全ての人を惹きつける福岡

福岡県延べ宿泊者数

2024年 日本人:1,656万人泊 外国人:739万人泊 **2,395万人泊**

福岡県への外国人入国者数

2024年 福岡空港、博多港、北九州空港の合計 **396万人**

※出典:「宿泊旅行統計調査(観光庁)、九州への外国人入国者の推移(国土交通省九州運輸局)」

福岡市が海外メディアから世界のおすすめ観光地に選出

| | |
|---------------------|-------------------------|
| Lonely Planet | The New York Times |
| 2023年に行くべき旅行先[食] | -2023年に行くべき52カ所- |
| | |
| Best in Travel 2023 | 52 Places to Go in 2023 |

※出典:「Fukuoka Facts」

主たる事業エリアである福岡・九州は、更なる成長への期待が高まっています。

| |
|-----------------------|
| にしてつグループ企業理念 |
| 企業メッセージ |
| コンテンツ |
| ▶特集 ワンビル、始動。 |
| ▼ chapter 1 イントロダクション |
| 01 価値創造の歩み |
| 02 にしてつグループの事業概要 |
| 03 数字で見るにしてつグループ |
| 04 にしてつグループの事業エリア |
| 05 福岡・九州の強み |
| ▶ chapter 2 価値創造ストーリー |
| ▶ chapter 3 サステナブル経営 |
| ▶ chapter 4 事業別概要 |
| ▶ chapter 5 会社データ |

さらなる成長に向けた福岡市都心部における再開発プロジェクト



天神ビッグバン

2015年、福岡市は国家戦略特区による規制緩和等を活用し、新たな空間と雇用を創出するプロジェクト「天神ビッグバン」を始動しました。航空法の高さ制限エリア単位での特例承認と市独自の規制緩和等による耐震性の高い先進的なビルの建替えの促進とともに、地下ネットワークの強化など、天神の都市機能の大幅な向上を図っています。

博多コネクティッド

2019年、福岡市は九州新幹線の開業や地下鉄七隈線の延伸、はかた駅前通り再整備など交通基盤の拡充を契機に、プロジェクト「博多コネクティッド」を始動しました。耐震性の高い先進的なビルへの建替えや歩行者ネットワークを拡大するとともに、歴史ある博多旧市街地との回遊性を高め、博多駅を中心とした都市機能の向上を図っています。

●対象エリア 天神交差点から半径約 500m、約 80ha

●経済効果 (概算) 延床面積 約 1.7 倍 444,000㎡→757,000㎡ (+313,000㎡) 雇用者数 約 2.4 倍 39,900人→97,100人 (+57,200人)

建設投資効果 約 2,900 億円 建替完了後の経済活動波及効果(純増) 毎年約 8,500 億円

※福岡市リリースより(10年間で30棟の建替え誘導)

●対象エリア 博多駅から半径約 500m、約 80ha

●経済効果 (概算) 延床面積 約 1.5 倍 341,000㎡→498,000㎡ (+157,000㎡) 雇用者数 約 1.6 倍 32,000人→51,000人 (+19,000人)

建設投資効果 約 2,600 億円 建替完了後の経済活動波及効果(純増) 毎年約 5,000 億円

※福岡市リリースより(10年間で30棟の建替え誘導)

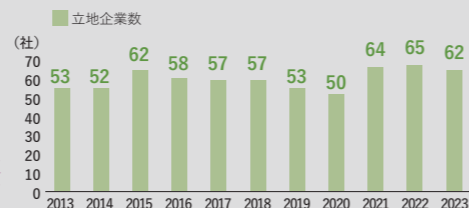
経済・産業分野における福岡市の強み

本社機能・成長分野の立地企業数

11年連続
50社突破

11年間で
630社超!!
雇用者数は
18,900人超!

福岡市への本社機能・成長分野の立地企業数推移



開業率の高い都市 6年連続 1位

| | |
|----|-------|
| 1位 | 福岡 |
| 2位 | 名古屋 |
| 3位 | さいたま |
| 4位 | 横浜 |
| 5位 | 東京23区 |
| | 千葉 |

※出典：「Fukuoka Facts」

九州の強み

自然・歴史・文化等が織りなす
魅力あふれる観光資源

魅力的な観光資源で観光客を惹きつける九州

九州延べ宿泊者数
2024年 日本人:5,020万人泊 外国人:1,213万人泊 **6,233万人泊**

九州への外国人入国者数
2024年 **501万人**

※出典：「宿泊旅行統計調査(観光庁)、九州への外国人入国者の推移 (国土交通省九州運輸局)」

新生シリコンアイランド“九州”

数多くの半導体関連設備投資により、
様々な産業への波及効果が期待

九州での半導体関連
設備投資
2021~2030年 201件

総額 **6.2兆円**

九州・山口・沖縄への
経済波及効果
2021~2030年

23.0兆円

(関連する財・サービスの生産[1次間接効果]および消費活動[2次間接効果])

※出典：公益財団法人九州経済調査協会「九州地域(九州・沖縄・山口)における半導体関連設備投資による経済波及効果の更新について」(2024年12月)

- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株
- ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング株
- 三菱電機株
- 株SUMCO
- ローム株
- ローム・アポロ株
- 株荏原製作所
- 東京エレクトロン九州株
- 株ジャパンセミコンダクター
- 京セラ株
- Japan Advanced Semiconductor Manufacturing 株



“ゼロイチ” マインド。

ゼロイチに、挑む人。



「ゼロイチ」とは、何もない状態（ゼロ）から新しいものを生み出す（イチ）を指す言葉。特にスタートアップや起業の世界でよく語られます。当社新領域事業開発部では、イントレプレナー育成制度に特化したプログラム『X-DREAM（クロスドリーム）』を展開しています。「社長直轄」という熱量で、社内起業家を目指す「卵」たちの挑戦と成長を支えています。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▼ chapter 2 価値創造ストーリー

01 トップメッセージ

02 にしてつグループが実現したい社会に向けて

03 にしてつグループ まち夢ビジョン2035

04 価値創造プロセス

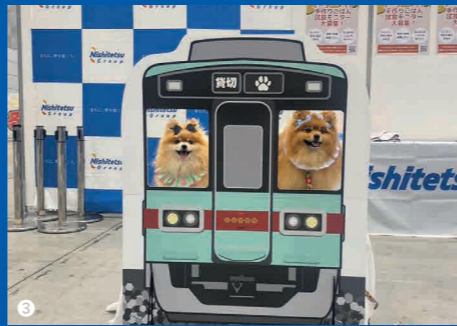
05 にしてつグループの強みと経営資源

06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ



- ①スーパーのバックヤードは宮野さんの“夢の小さなラボ”！
- ②出来たばかりの試作品！味は4種類（豚肉2種・魚2種）。モニターの声から何度も改良を重ね続けている。アレルギー物質の除去に苦労の連続だったとか。
- ③試食モニター集めのためドッグフェス『DOG EXPO FUKUOKA 2024』に出展。その際、会場をにぎわせたにしてつ電車・バス仕様の顔はめパネル

NISHITETSU side story

「食物アレルギーのワンちゃんを助けたい！」

新領域事業開発部

宮野 奈々さん

「社員の多様な価値観を活かし、社会や地域の課題解決に貢献することは企業理念の実践そのものです」。林田社長が語るように、2023年度には30件の事業案が集まり、そのうち2件が最終選考を通過しました。そのうちの一人が、宮野奈々さんです。

多彩な事業性が背景。“オール西鉄”の強み！

ここに立っているのは、『西鉄ストア花畑店』のバックヤードで手づくりフードの試作に取り組んできたイントレプレナー挑戦者・宮野奈々さんと、『西鉄ウィルアクト』のスタッフ4名です。彼らが作っているのは、食物アレルギーを持つ犬のための安心・安全なごはん。市販のペットフードに多く含まれる添加物や原材料を避け、ヒューマングレードの食材だけで調理しています。犬の体質に合わせたオーダーメイドの総合栄養食で、まさに“ゼロイチ”に挑むプロジェクトです。

「最初から“できる人”だったわけではなく、“できるようになった”だけなんです。チームの作り方も知らなかった私を支えたのは、数々のメンター

たちでした」と宮野さん。気持ちを共にする仲間、獣医師やモニター犬、社内外で協力者を集めながら、クラウドファンディングにも挑戦してきました。

宮野さんをはじめイントレプレナーへの挑戦者たちが、新事業に挑むために必要なこと、それは「世の中に何か課題がないか」「自分が何か課題を感じてないか」…普段からそんな視点を持つこと。西鉄が大切にしてきた視野です。ビジネスの“種”は日々の中にある、と。

4年目を迎えたクロスドリームプロジェクトでは、グループ会社従業員からの挑戦が増えていきます。社内外のサポートも拡がり、“オール西鉄”での挑戦の場となっています。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▼ chapter 2 価値創造ストーリー

01 トップメッセージ

02 にしてつグループが実現したい社会に向けて

03 にしてつグループ まち夢ビジョン2035

04 価値創造プロセス

05 にしてつグループの強みと経営資源

06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

「濃やかに、共に、創り支える ~Grow in harmony with you~」

西日本鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員

林田浩一

第16次中期経営計画(2023～2025)の進捗

2024年度は、ポストコロナ社会においても地域とともにサステナブルに成長する企業グループであり続けるための第16次中期経営計画の2年目でしたが、前年度に引き続きインバウンド需要をはじめとするコロナ禍以降の人や物の動きのトレンドを捉えた取り組みが良い影響をもたらし、営業利益および経常利益は過去最高となりました。

バス事業・鉄道事業の運賃改定

運輸業では、人口減少やオンライン会議、シェアモビリティの普及などによる生活様式の変化、さらに乗務員不足の状況やお客さまのご利用状況を踏まえたダイヤ改正にも努めていることから、日常使いの需要がコロナ前の水準に戻ることは難しいと考えています。加えて、燃料費高騰や人財確保のための人件費の増加、安全投資やカーボンニュートラルへの対応など、運営コストは増加傾向にあり、取り巻く環境は厳しさを増しています。公共交通の維持という使命を全うするため、バス事業では2024年1月に約25年ぶりとなる運賃改定を実施しました。また、同様の理由により2025年9月には鉄道事業の上限運賃の変更認可申請を行いました。これらは、安全・あんしんで持続可能

な公共交通事業の運営のために必要な運賃改定と考えており、何卒ご理解を頂ければと存じます。

ONE FUKUOKA BLDG.の開業

2024年12月にはONE FUKUOKA BLDG.(通称ワンビル)が竣工し、2025年4月に開業しました。ワンビルは先人・先輩方から受け継がれた福岡・天神のまちづくりにかける想いを未来へと託す象徴であり、その開業は、コンセプトとして掲げる「創造交差点」の実現、すなわち単なる再開発ビルの開業に留まらず、多様な価値観の人々が集い、語り合い、協業することで、社会が欲する多様な価値をまちの魅力として如何に発揮させるかという挑戦の始まりだと考えています。

当社の本社オフィスもワンビルに移転し、約6年ぶりに天神に本社を構えました。まちづくりに関わる多様な事業を営み、天神を誰よりも愛し、共に発展してきた企業グループとして、今こそグループ総合力を発揮し、天神の賑わいを最大限創出し、天神・福岡・九州の魅力の世界へ発信すべく、「まちに、夢を描こう。」という企業メッセージを体現してまいります。



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▼ chapter 2 価値創造ストーリー

01 トップメッセージ

02 にしてつグループが実現したい社会に向けて

03 にしてつグループ まち夢ビジョン2035

04 価値創造プロセス

05 にしてつグループの強みと経営資源

06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

長期ビジョン2035達成に向けた想い

2035年に提供していきたい価値

当社グループは、長期ビジョン「にしてつグループまち夢ビジョン2035」において、企業理念に照らして、ステークホルダーの皆さまへ2035年に提供していきたい価値をお示しました。お客さまや地域・社会に対しては、商品・サービスを通じて「サステナブルでウェルビーイングなまち・地域」と



「サステナブルでお客さまに寄り添うBtoB物流」、従業員や取引先に対しては「共創し共に成長できる関係構築」、「健全で対等なパートナーシップ」、株主・投資家に対しては「高い資本効率と安定した利益の還元」を掲げています。これらの価値の提供を通して、「居心地よい幸福感あふれる社会」の実現に貢献していくことを宣言しています。

これらの価値を提供していくための基本スタンスとして「濃やかに、共に、創り支える~Grow in harmony with you~」と定め、地域や社会、人々が抱える課題を自分事として受け止め、心を込めた情に厚い行動とステークホルダーとのパートナーシップの力で課題を解決する企業文化を磨き、グループ一丸となり、ベクトルを合わせてビジョン達成に向けて取り組んでまいります。

にしてつブランドを活かした基本戦略

長期ビジョン達成に向けた戦略を検討する上で、当社グループの強みは何かと考えたときに、私は、福岡の地域の方々にとっては、気軽に文句をいえるような、いつもすぐ近くにいる身近な存在として感じてもらえる、そうした福岡の人々の心の中にある一体感こそが、当社グループの最大のブランドだと思っています。鉄道やバスなどの交通手段は時代によって求められる役割が変化します。時には減便などの決断もしなければならず、今後も環境の変化に合わせた難しい舵取りが続くでしょう。しかし、だからといって当社が福岡の公共交通事業を諦めると、地域の身近な存在ではなくなってしまいます。当社グループのブランドの源泉である福岡の公共交通はしっかりと守り、

そのブランド力を活かして、他のビジネスとのシナジー効果を最大化するポートフォリオを構築し、企業価値の向上に努めることで、長期ビジョンに掲げる「居心地よい幸福感あふれる社会」の実現が見えてくるのだと考えています。

こうしたグループのブランド力を活かし、天神をはじめとした福岡におけるまちづくりには、これからもステークホルダーと共創し、パートナーシップの力を最大限に引き出しながら、まちづくり企業としてリードしていくことはもちろんですが、更なる成長への戦略として、長年の天神・福岡で培った、汗をかくことを厭わず地域に寄り添ってきたまちづくりに対する想いと高品質な商品を作り上げる技術・ノウハウを活かし、沿線域外の国内・海外におけるまちづくりソリューション事業の拡大にも注力してまいります。そして、沿線域外で獲得した収益と新たな知見をまた福岡のまちづくりにも還元する循環による成長を目指したいと考えています。

また、福岡では、ワンビル開業後も都心部における再開発プロジェクトの進捗や福岡空港の増設滑走路の供用開始など、国内外からの来訪客で賑わいは増し、新たな企業の立地や観光産業の成長が期待されます。さらに、九州は、従来の農水産業や自動車製造業に加え、最近では半導体関連産業の集積などもあり、国内外からの投資が集中する日本で最も元気な地域と言えます。このように他産業にも目を向ければ、100年以上に渡って事業を続けてきた当社グループのブランド力を活かせる沿線地域や九州でのビジネスチャンスを多く見出すことができ、サステナブルでウェルビーイングなまち・地域の実現に向けてともに成長していけると考えています。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▼ chapter 2 価値創造ストーリー

01 トップメッセージ

02 にしてつグループが実現したい社会に向けて

03 にしてつグループまち夢ビジョン2035

04 価値創造プロセス

05 にしてつグループの強みと経営資源

06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

サステナブル経営の推進

人財の育成と定着

長期ビジョン達成に向けて、企業に価値を生み出し、持続的な成長の基盤となるのは、他には容易に真似できないノウハウや知的財産であり、それを作り出すのは人財に他なりません。人財確保のための企業間での競争は激しさを増し、賃上げや待遇改善は加速していますが、雇用条件の改善だけではなく、人財をいかに育成し定着させるかが重要です。

人財の定着は、組織に対するエンゲージメントの向上にかかっており、それは健全で前向きなパートナーシップで支えられた職場環境や、キャリアを積み重ねて成長できるやりがいを感じられる仕事を提供できるかがポイントだと考えています。昨年度より「西鉄グループで働く従業員のありたい姿」を「西鉄グループの未来を自ら創る人財」として内容をアップデートし、1on1ミーティングの取り組みを強化するなど、コミュニケーションを重視しながらエンゲージメント向上に向けた人財戦略の検討と実施を進めてまいります。

カーボンニュートラル実現に向けた取り組み

環境分野については、長期ビジョンの中で明示している2050年のカーボンニュートラルを目指すロードマップに基づき、第16次中期経営計画における温室効果ガスの削減目標を設定しています。2025年度は、目標の2013年度比38%削減について概ね達成の目途がついている一方で、本年2月に国が定めた「地球温暖化対策計画」では、2035

年度、2040年度において、それぞれ2013年度比で60%、73%削減する新たな目標が設定されました。これに基づき、当社グループにおいてもロードマップの見直しを検討しております。

カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みとして、古いディーゼルバスを電気バスに改造した「レトロフィット電気バス」の導入を進めています。当社グループにおける温室効果ガス排出量の約半分を占めるバス事業において、電気バスの導入は重要な課題ですが、それだけに留まらず、最近ではその技術力を活かした他社への拡販による事業としての拡大も目指しています。環境に関する課題を解決しつつ、そこにビジネス機会を見出して収益を拡大させることで企業価値を向上させる、持続可能なまちづくりを推進する当社グループならではの取り組みの一つだと考えています。



次期第17次中期経営計画 (2026～2028)へ向けて

2025年度は、次期中期経営計画策定の年度となります。現在の中期経営計画では、ポストコロナ社会におけるサステナブルな成長への挑戦として構造改革を進めてまいりましたが、次期中期経営計画では、長期ビジョンの達成に向けて、より具体性をもった計画を策定し、実現に向けて取り組んでいく必要があると考えています。

魅力あるまちづくりの着実な推進

次期中期経営計画では、ワンビル開業後も予定されている天神都心部の再開発事業や九州大学箱崎キャンパス跡地、福岡家庭裁判所跡地における複合開発など、現在進行している大型プロジェクトを着実に進めてまいります。その他にも、アジアの中の福岡をさらに魅力あるまちへと成長させる鍵となるが、当社が事業参画している福岡空港です。2025年3月の増設滑走路供用開始により、さらなる旅客数の増加が期待されます。空港機能を高めることで福岡に多くの人を引き寄せ、福岡域内での移動や生活する人口を増やすことが出来れば、生活に密着した事業を展開する当社グループの成長にもつながります。また、当社グループとしては運輸業でのノウハウを活かし、二次交通の連携による貢献ができると考えています。福岡空港から天神や博多駅への都心へのアクセスは非常に良いのですが、福岡県内や九州各地への交通網にはまだ拡充の余地があります。当社だけでなく、他の交通事業者とも様々なモードをうまく連

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▼ chapter 2 価値創造ストーリー

01 トップメッセージ

02 にしてつグループが実現したい社会に向けて

03 にしてつグループ まち夢ビジョン2035

04 価値創造プロセス

05 にしてつグループの強みと経営資源

06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

携させ、福岡に来られた海外の方々もビジネスでも観光でも九州の隅々にまで行ける「MaaS」の取り組みも進めています。

福岡のまちづくり事業で培った ノウハウを活かした成長戦略の推進

さらなる成長への戦略として、福岡を基盤として培ってきたノウハウを活かした沿線域外での事業も競争力を見極めながら推進してまいります。海外の不動産開発事業では、ベトナムを皮切りに東南アジアやアメリカにおいて現地デベロッパーとの共同事業として約10年程度の経験と実績を積み重ねてきました。パートナー企業からは日系企業としての資金力だけでなく、地域に寄り添った濃やかで信頼のおける高品質な商品・サービスの創出力を期待され、徐々にそうした企業としての認知も広がってきていると感じています。こうした当社グループならではのまちづくりにおけるノウハウを活かしたソリューション事業を拡大させていきます。

福岡・九州を軸とした産業のサポート

長期ビジョンに掲げる新領域への挑戦の一つとして、農水産領域への取り組みを進めています。2025年度の取り組み事例になりますが、今年の10月には九州を主たる事業エリアとして農業分野に特化した卸売事業などを営むヒノマルホールディングス(株)を株式取得により子会社化しました。農業に関する豊富な知識や高い技術力で九州内のリレーションを構築している企業が当社グループに加わることで、物流サービスやスーパーマーケッ

トなどの物販サービスをはじめとする多様な事業と連携し、当社グループの更なる成長が期待できます。九州の主要産業である農業を支えることで、沿線地域や九州経済の活性化と持続可能なまちづくりへとつなげていきたいと考えています。

また、産業を支える事業の代表格である国際物流事業については、グローバルネットワークのさらなる拡充を推進するなどサービスの強化を図りつつ、九州の産業活性化に一層お役に立てればと考えています。

以上は一例ですが、当社グループならではの強

みやノウハウを活かした成長戦略については、いずれもシナジー効果による収益力の向上とともに、効率を高める事業ポートフォリオマネジメントをより強化する必要があり、経営資源をどの事業、どの分野へ注力させるのか、株主還元方針も含めたキャピタルアロケーションの明確化、財務数値目標、非財務情報の開示など、ステークホルダーの皆さまの期待に応えるサステナブルな企業価値向上に資する次期中期経営計画の策定に取り組んでまいります。



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▼ chapter 2 価値創造ストーリー

01 トップメッセージ

02 にしてつグループが実現したい社会に向けて

03 にしてつグループ まち夢ビジョン2035

04 価値創造プロセス

05 にしてつグループの強みと経営資源

06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ

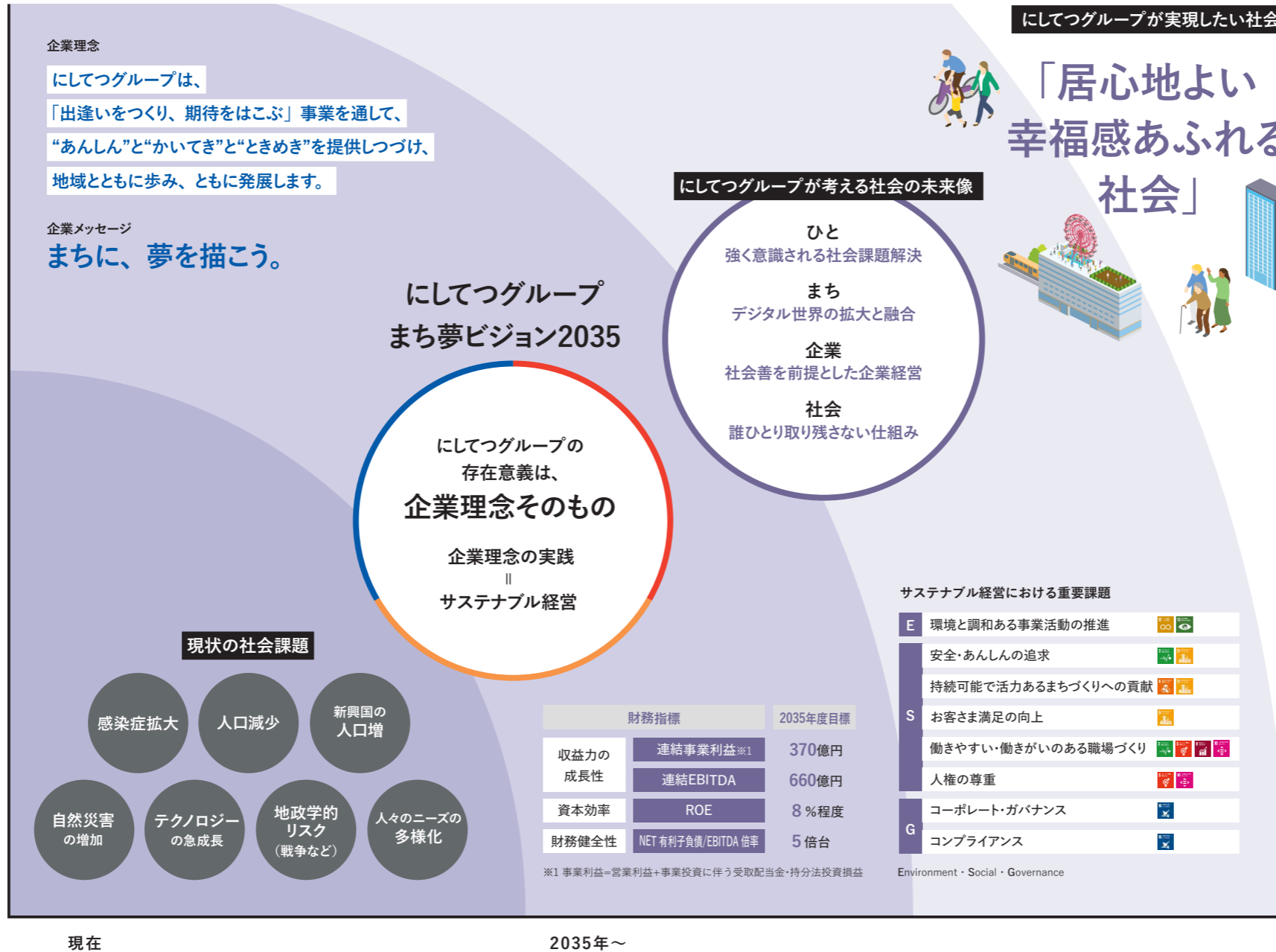
▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

価値創造プロセス

企業の成長



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▼ chapter 2 価値創造ストーリー

01 トップメッセージ

02 にしてつグループが実現したい社会に向けて

03 にしてつグループ まち夢ビジョン2035

04 価値創造プロセス

05 にしてつグループの強みと経営資源

06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

長期ビジョン策定方針

にしてつグループの存在意義と実現したい社会

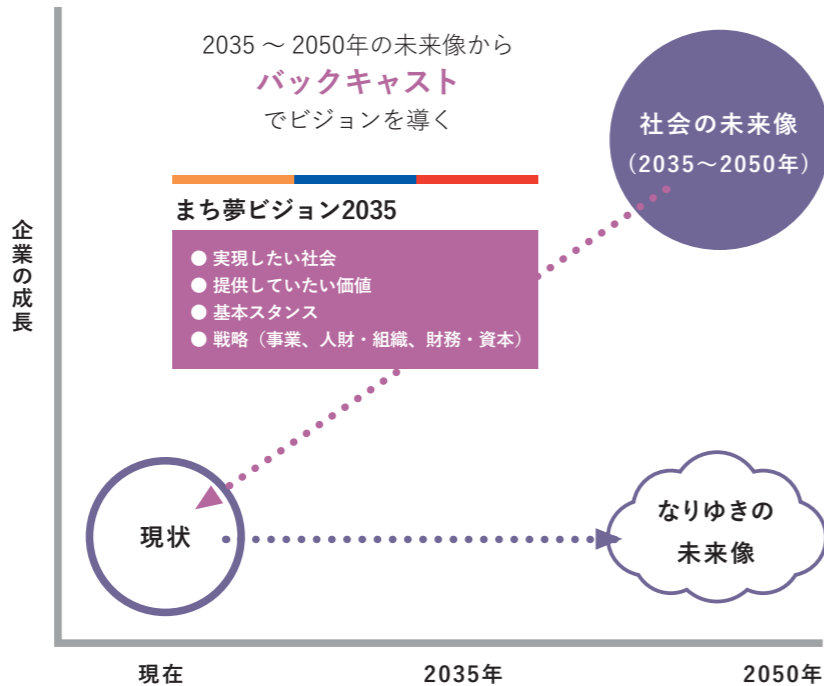
長期的な経営環境

国内人口減少、新興国を中心とした世界の人口増加、テクノロジーの急激な進歩、グローバル化に伴う社会の仕組みや顧客ニーズの変化、気候変動・温暖化、といったトレンドが加速的に進行していくと考えております。

まち夢ビジョン2035

(2022年11月10日公表)

先行き不透明な時代においてもサステナブルに成長していくため、事業モデルの延長線ではなく、想定した未来像からのバックキャストによる長期ビジョンを策定いたしました。



にしてつグループの存在意義は、企業理念そのものであると再認識いたしました。

企業理念
||
存在意義

「出逢いをつくり、期待をはこぶ」事業を通して、「あんしん」と「かいてき」と「ときめき」を提供しつづけて、地域とともに歩み、ともに発展します。

企業理念の実践
||
サステナブル経営

- E ● 環境と調和ある事業活動の推進
- S ● 安全・あんしんの追求
- S ● 持続可能で活力あるまちづくりへの貢献
- S ● お客さま満足の向上
- S ● 働きやすい・働きがいのある職場づくり
- S ● 人権の尊重
- G ● コーポレート・ガバナンス
- G ● コンプライアンス

「居心地よい幸福感あふれる社会」

社会の未来像 (4つの変化)

ひと 強く意識される社会課題解決

気候変動や生物多様性などの社会課題がこれまで以上に身近なものとなり、社会の持続可能性について、人それぞれが「自分」とのかかわりの中でより深く考え、選択・行動するようになる。

まち デジタル世界の拡大と融合

リアル世界とデジタル世界の融合が進出し、合理化・最適化された世界が広がる一方、変化への欲求、新たな出逢いへの期待も生まれる。偶発性のある出逢いを提供することが生活に新たなときめきを生み出す。

企業 社会善を前提とした企業経営

企業経営は、社会善につながるかどうかで意思決定の大きな基準となり、ソーシャル・グッドな社会へ導いていくことが重要な役割となる。

社会 誰ひとり取り残さない仕組み

社会全体として豊かな暮らしを営むことができるように、人々に寄り添い、誰ひとり取り残さない仕組みが必要になっている。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▼ chapter 2 価値創造ストーリー

01 トップメッセージ

02 にしてつグループが実現したい社会に向けて

03 にしてつグループ まち夢ビジョン2035

04 価値創造プロセス

05 にしてつグループの強みと経営資源

06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

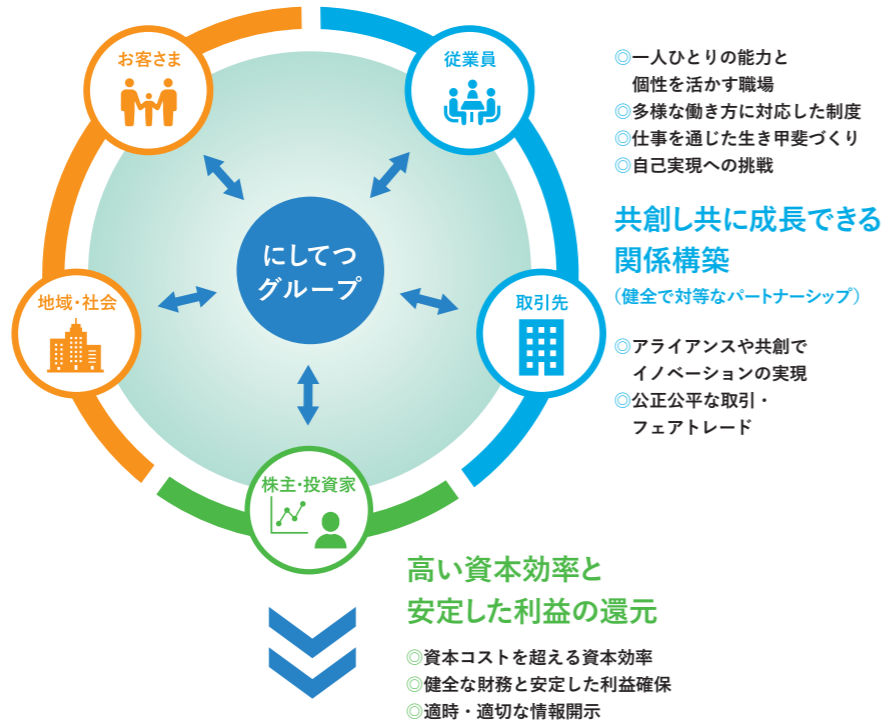
▶ chapter 5 会社データ

2035年に提供していきたい価値

価値提供の基本スタンス

商品・サービスを通じて提供する価値

- サステナブルでウェルビーイングな「まち・地域」
- サステナブルでお客さまに寄り添う「BtoB物流」



「^{こま}濃やかに、共に、創り支える」
～Grow in harmony with you～

「濃やかに」の意味は、心をこめた、情が厚い行動。地域や人々が抱える課題を自分事として受け止め行動していく。

「共に」の意味は、社内外のパートナーシップの力で、ステークホルダーと共創して課題を解決していく。

「濃やかに、共に、創り支える」ことで、居心地よい幸福感あふれる社会を創っていく。

誰よりも
地域・一人ひとりに寄り添う

- それぞれの地域・人に向き合い、抱える課題を発見する。
- 課題解決に向けて、デジタル技術活用等によるパーソナライズされたサービスを提供する。

異文化を受容する
オープンなマインドを持つ

- パートナー企業との連携を拡大し、新たな技術・仕組み・考え方を取り込む。
- 社員それぞれが縦、横、斜めでコミュニケーションをとり、好きなことを楽しみながらできる、アイデアにあふれる企業風土を実現する。

コミュニティづくりを
リードする

- 課題解決のためのコミュニティを構築し、自らがリードしていく存在となる。
- 自らが主体となり、積極的に情報を発信し、地域ごとのコンセプトをもったコミュニティづくりを実行する。

チャレンジし
失敗を受け入れる

- 自らが意思をもって決断し、挑戦する企業となる。
- 結果としてうまくいかなかった取り組みにおいても、挑戦自体を称賛し、次の取り組みに活かしていく企業文化を醸成する。

「居心地よい幸福感あふれる社会」への貢献

2035年に提供していきたい価値 ~サステナブルでウェルビーイングな「まち・地域」~

天神

多種多様な人が集い交わり、ビジネス・文化・アート・学術などの創造性あふれるまちへ!

どうやって?!

人と人、人と企業を繋いでいく!



▲ 交流・創造機能



▲ 誰もが使いやすい交通サービス



▲ グローバル水準の建物と環境



▲ まちを彩る刺激とにぎわい



▲ 歴史や文化など地域性を活かした個性的なまちづくり

鉄道バス沿線

コンパクトな都市機能集積と持続可能なモビリティ体系を備え、ローカルな魅力を活かした個性あふれるまちへ!

どうやって?!

地域や多様なパートナーとの共創とDXでまちづくりをリード!



▲ メタバース・観光DX



▲ コンパクトな都市機能集積とモビリティが一体となったまちづくり



▲ パーソナライズされた住まいと地域体験型ホテル・ワーケーション



▲ 自然と共生するファームレストラン

九州

域内連携やアジアの活力を取り込み、持続的に成長する元気な九州の発展へ!

どうやって?!

九州内連携強化のためのネットワーク構築と九州活性化へのソリューションを提供!



▲ 九州内の各空港と連携した福岡空港の機能強化



▲ 九州一体となったスマート化の推進



▲ 環境・脱炭素社会への貢献



▲ 産業の活性化



▲ 地域資源の発掘と磨き上げ

東南アジア

沿線開発ノウハウを詰め込んだ日本品質のあんしん・かいてきなまちを海の向こう、東南アジアでの持続可能なまちづくりに挑戦!

どうやって?!

高付加価値な住環境開発(ハード)と、事業や施設の運営管理(ソフト)マネジメント!



▲ ホテル・サービスアパートメント



▲ ゼロカーボンビルやIoT住宅の提供



▲ 太陽光発電等の電源開発



▲ シニア事業の運営



▲ シームレスなモビリティネットワーク



▲ ウェルネス分野のサービス展開

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ^{西暦}ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▼ chapter 2 価値創造ストーリー

01 トップメッセージ

02 にしてつグループが実現したい社会に向けて

03 にしてつグループ まち夢ビジョン2035

04 価値創造プロセス

05 にしてつグループの強みと経営資源

06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

「出逢いをつくり、期待をはこぶ」事業を通して、「居心地よい幸福感あふれる社会」を実現

企業理念 にしてつグループは、「出逢いをつくり、期待をはこぶ」事業を通して、「あんしん」と「かいてき」と「ときめき」を提供しつづけ、地域とともに歩み、ともに発展します。

企業メッセージ まちに、夢を描こう。

本プロセスの継続的な循環により
「居心地よい幸福感あふれる社会」を実現

インプット

人的資本

- モビリティ、まちづくり、国際物流事業などの専門性の高い人財
- 地域やお客さまの思いを汲み、寄り添うことのできる人財
- 地元やにしてつへの愛着あふれる人財

財務資本

- 安定した財務基盤
- 広範かつバランスの取れた事業ポートフォリオ

設備資本

- 安全性の高い交通インフラ資産
- 安定的なキャッシュを生む、天神を中心とした不動産資産
- 積極的な挑戦で培ってきた物流業のグローバルネットワーク

知的資本

- 100年超の運営で培った安全・あんしんへの高い意識と技術力
- 国際物流事業のグローバルネットワーク構築で培ったノウハウ
- まちづくり事業を通じて築いた福岡におけるにしてつブランド

社会・関係資本

- 沿線地域・自治体・企業等との信頼関係
- 国内外とのビジネス・観光交流が増加基調にある九州

自然資本

- 自然と都市部がコンパクトに調和した福岡
- 魅力ある観光資源と自然由来のエネルギー資源を豊富に有する九州

✕

にしてつグループの強み

- まちづくり企業として、「天神」をはじめ、地域に寄り添い、まちの魅力や価値を高める力
- 国際物流事業、ホテル事業、不動産業など、新たな場所で挑戦する力
- モビリティ事業で培った、安全・あんしんを背景とした信用力

ビジネスモデル・アウトプット

サステナブル経営における重要課題 (P37)

環境と調和ある事業活動の推進 | 安全・あんしんの追求 | 持続可能で活力あるまちづくりへの貢献

お客さま満足の向上 | 働きやすい・働きがいのある職場づくり | 人権の尊重 | コーポレート・ガバナンス

コンプライアンス

「出逢いをつくり、期待をはこぶ」事業の進化

「出逢いをつくり、期待をはこぶ」新領域への挑戦

モビリティサービス (鉄道/バス/タクシー)
安全・安心で持続可能な次世代モビリティネットワークの実現

「リアルな場」提供サービス (オフィス/SC/住宅/ホテル/レジャー)
ウェルビーイングな場づくりを提案するまちづくりソリューションの構築

BtoC物販サービス (ストア/生活雑貨)
地域コミュニティのハブとなり新しい出逢い・購買体験を提供

BtoB物流サービス (国際物流/国内物流)
世界で戦える事業規模への展開と高度な専門性で濃やかなロジスティクスを構築

競争優位性・成長マーケットの追求

環境資源
再生可能エネルギーの活用とサーキュラーエコノミーで持続可能なまちづくりを実現

農水産
食のビジネスで地域産業の活性化とブランド化を実現

ウェルネス
健康寿命の延伸に関わる新事業で自分らしく健康に生きられる社会を実現

地域ソリューション
地域の課題や環境、地域資源に応じたソリューションでローカルの新たな価値を創出

パートナー共創
圧倒的に使いやすいサービスの追求と体験価値の向上

ソリューション推進

DX・新技術活用

人財・組織のトランスフォーメーション

数値目標 (2035年度)

| | |
|--------------------|-------|
| 連結事業利益 | 370億円 |
| 連結EBITDA | 660億円 |
| ROE | 8%程度 |
| NET有利子負債/EBITDA 倍率 | 5倍台 |

〔価値提供スタンス〕
濃やかに、共に、創り支える
～ Grow in harmony with you ～

アウトカム

お客さま | 地域・社会

サステナブルでウェルビーイングな「まち・地域」

サステナブルでお客さまに寄り添う「グローバルサプライチェーン」

従業員 | 取引先

共創し共に成長できる関係構築 (健全で対等なパートナーシップ)

株主・投資家

高い資本効率と安定した利益の還元

| |
|-------------------------|
| にしてつグループ企業理念 |
| 企業メッセージ |
| コンテンツ |
| ▶ 特集 ウィンピル、始動。 |
| ▶ chapter 1 イントロダクション |
| ▼ chapter 2 価値創造ストーリー |
| 01 トップメッセージ |
| 02 にしてつグループが実現したい社会に向けて |
| 03 にしてつグループ まち夢ビジョン2035 |
| 04 価値創造プロセス |
| 05 にしてつグループの強みと経営資源 |
| 06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ |
| ▶ chapter 3 サステナブル経営 |
| ▶ chapter 4 事業別概要 |
| ▶ chapter 5 会社データ |

にしてつグループの強みを活かし、「出逢いをつくり、期待をはこぶ」事業の進化と新領域への挑戦により、地域・社会における価値創造を加速してまいります。

にしてつグループの強み



強み

1

まちづくり企業として、「天神」をはじめ、地域に寄り添い、
まちの魅力や価値を高める力

にしてつグループは、鉄道・バス等により形成される広範な交通ネットワークを基盤として、沿線地域を中心に商業・オフィスビル、マンション・戸建住宅、スーパーマーケット、レジャー施設等の地域の生活に密着した事業を展開しています。

企業メッセージ「まちに、夢を描こう。」をスローガンに、人々の生活を支える多様な事業が、地域に寄り添うまちづくりやにぎわいの創出に取り組むことで相乗効果を発揮し、ステークホルダーとの信頼関係を築きながら、まちの魅力や価値を高めてきました。

中でも「天神」は、天神ソラリア計画、福ビル街区建替プロジェクト等を通して、交通結節点としての強みを最大限活かしつつ、九州一の商都としての成長を支えてきました。

これからも、地域に寄り添い、それぞれの特性を活かしたまちづくりを行うことで、地域とともに成長してまいります。



強み

2

国際物流事業、ホテル事業、不動産業など、
新たな場所で挑戦する力

1948年の航空代理店業の開始以来、国際物流事業は「送る人の想いを受け取る人へつなぐ」という物流における使命の下、お客さまのご要望に寄り添うサービスの提供を徹底し、安心・安全・確実に品物が届くというサービスに全ての人が当たり前にアクセスできる社会の実現に取り組んできました。

現在、世界28ヵ国・地域、119都市までに拡大しているネットワークは、単に事務所を構え、従業員を配置してきたというわけではなく、それぞれの国・地域に深く根付いたビジネスを展開するよう、その土地や暮らす人々に濃やかに寄り添ってきたチャレンジの積み重ねによるものです。

本事業で培った“挑戦力”は、福岡域外での住宅・ホテル店舗の開発、モビリティツール・ノウハウの展開等、各事業の域外進出を後押ししてきました。



強み

3

モビリティ事業で培った、
安全・あんしんを背景とした信用力

創業以来、天神・福岡を基盤としてモビリティ事業を中心に営んできたノウハウにより築き上げてきた「安全・あんしん」は、にしてつグループの全ての事業の根幹であり、企業風土として人財に息づき、にしてつブランドの源泉であるとも考えています。その安全・あんしんを背景とした信用力が、これまでのにしてつグループとしてのまちづくり事業の展開を推進してきました。

運輸部門をはじめ、グループ事業の全般にわたり、安全に関する様々な取り組みに工夫を重ね、安全マネジメント体制の構築やPDCAサイクルの確立によるスパイラルアップを着実に進めてきました。

これからも、お客さまに選ばれる企業グループであり続けるために、私たちは、「安全・あんしん」の更なる追求・徹底に取り組んでまいります。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▼ chapter 2 価値創造ストーリー

01 トップメッセージ

02 にしてつグループが実現したい社会に向けて

03 にしてつグループ まち夢ビジョン2035

04 価値創造プロセス

05 にしてつグループの強みと経営資源

06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

主要な経営資源 (インプット/2024年度実績・2024年度末時点)

人的資本

- モビリティやまちづくり、国際物流事業などの専門性の高い人材
- 地域やお客さまの思いを汲み、寄り添うことのできる人材
- 地元やにしてつへの愛着あふれる人材

連結従業員数 18,956人

[内訳]

| | |
|--------------------------|------------------------|
| 運輸(19社) | 6,460人 |
| 不動産(12社) | 2,140人 |
| 物流(26社、うち海外子会社23社) | 4,111人 [内、海外従業員2,276人] |
| 流通(2社) | 2,296人 |
| レジャー・サービス(18社、うち海外子会社3社) | 2,704人 [内、海外従業員283人] |
| その他(9社) | 1,245人 |

〔運輸業、不動産業、物流業、レジャー・サービス業、その他〕の会社数には当社が重複して含まれ、それぞれを1社として取り扱っています。

財務資本

- 安定した財務基盤
- 広範かつバランスの取れた事業ポートフォリオ

総資産 7,821億円、自己資本比率 31.8%

EBITDA 486億円 EBITDA = 事業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

[(構成比)運輸24%、不動産38%、流通3%、物流13%、レジャー・サービス15%、その他7%]

まち夢ビジョン2035最終年度(2035年度) 660億円

NET有利子負債/EBITDA倍率 6.5倍

まち夢ビジョン2035最終年度(2035年度) 5倍台

設備資本

- 安全性の高い交通インフラ資産
- 安定的なキャッシュを生む、天神を中心とした不動産資産
- 積極的な挑戦で培ってきた物流業のグローバルネットワーク

第16次中期経営計画期間の投資総額 3,325億円 (2023～2025年度)

[主要な設備資本]

| | |
|----------------------|----------------------|
| 駅数・営業キロ・車両数(鉄道※1) | 73駅・106.1km・298両 |
| 実車走行キロ・車両数(バス※2) | 10,005万km・2,606台 |
| 賃貸マンション | 10棟 |
| シニアマンション・サービス付き高齢者住宅 | 11施設 |
| 主要商業施設 | 6施設 [福岡県] |
| オフィスビル | 12棟 [福岡県] |
| スーパーマーケット | 64店舗 [福岡県他] |
| ホテル | 23店舗 [福岡県8、県外10、海外5] |
| 事業展開国・地域(国際物流) | 28ヵ国・地域 119都市 |

※1 鉄道は西鉄単体 ※2 バスはグループ計。走行キロは乗合、車両数は乗合+貸切

知的資本

- 100年超の運営で培った安全・あんしんへの高い意識と技術力
- 国際物流事業のグローバルネットワーク構築で培ったノウハウ
- まちづくり事業を通じて築いた福岡におけるにしてつブランド

創業以来培ってきた、安全に裏付けされたあんしんを提供する西鉄ブランド

[主要事業の歴史]

| | |
|-----------|--------------------------------|
| 鉄道 | 1924年「天神大牟田線・貝塚線」開業(101周年) |
| バス | 1927年「バス運輸営業」開始(98周年) |
| 国際物流 | 1948年「航空代理店業」開始(77周年) |
| 住宅 | 1954年「本格的な宅地分譲事業(西鉄不動産株)」開始 |
| 賃貸(商業) | 1961年「西鉄名店街(西鉄として初の本格的商業施設)」開業 |
| ホテル | 1969年「西鉄グランドホテル」開業(56周年) |
| スーパーマーケット | 1969年「にしてつストア朝倉街道店」開業(56周年) |

社会・関係資本

- 沿線地域・自治体・企業等との信頼関係
- 国内外とのビジネス・観光交流が増加基調にある九州

[地域とにしてつグループのつながり]

| | |
|---------------------|---------------------------------|
| 福岡県人口 | 5,090千人 ※1 |
| 福岡市人口 | 1,668千人 ※1 |
| 年間輸送人員 | (鉄道※2) 10,301万人 (バス※2) 20,747万人 |
| 年間入館者数(天神地区商業施設) | 約4,523万人 |
| 累計販売戸数 | (マンション) 16,529戸 (戸建) 14,849区画 |
| nimocaカード発行枚数 | 約570万枚 |
| ユナイテッドカード会員数(西鉄ストア) | 約48.1万枚 |
| ポイント会員数(西鉄ホテルズ) | 約6.7万人 ※3 |
| 福岡空港旅客数 | 2,712万人 [国内線1,861万人、国際線851万人] |
| 九州への外国人入国者数 | 501万人 ※4 |

※1 2025年7月1日時点 ※2 鉄道は西鉄単体、バスはグループ計 ※3 2025年9月末現在 ※4 2024年実績(1～12月)

自然資本

- 自然と都市部がコンパクトに調和した福岡
- 魅力ある観光資源と自然由来のエネルギー資源を豊富に有する九州

福岡・九州の魅力ある自然・歴史・風土

| |
|------------------------------------|
| 太宰府・柳川などの自然と歴史ある沿線地域 |
| 温泉や景観など、多くの観光客を魅了する九州の豊かな自然資源 |
| 発電電力量に占めるカーボンフリー電源比率(九州電力):約60% |
| 今後30年間で震度6強以上の揺れに見舞われる確率(福岡市):2.6% |

(地震調査研究本部「全国地震動予測地図2020年度版」)

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 西鉄ホテル ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▼ chapter 2 価値創造ストーリー

01 トップメッセージ

02 にしてつグループが実現したい社会に向けて

03 にしてつグループ まち夢ビジョン2035

04 価値創造プロセス

05 にしてつグループの強みと経営資源

06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

おおく すなわ
大格 淳専務執行役員
経営企画部、
DX・ICT推進部担当第16次中期経営計画
(2023～2025)の進捗

2024年度の業績は、インバウンド需要の増加などによるホテル事業での客室単価上昇や2024年1月に実施したバス事業での運賃改定による効果などにより、連結事業利益は284億円で過去最高となりました。セグメント別にみると、不動産業ではワンビル竣工に伴う費用の発生などにより減益となるなど、一部の事業では減益となったものの、事業環境の変化に対応すべくグループ一体となって取り組んできた成果が表れた業績であったと考えています。

2025年度の計画では、住宅事業での販売区画数の増加やワンビル開業などにより増収となる見込みの一方で、待遇改善などの人財投資や安全・維持更新の費用など事業の成長・維持に必要なコストによって対前年で減益の見込みではありますが、連結事業利益は、中期経営計画で掲げていた目標数値250億円を上回る、263億円を予想しています。(2025年9月現在)

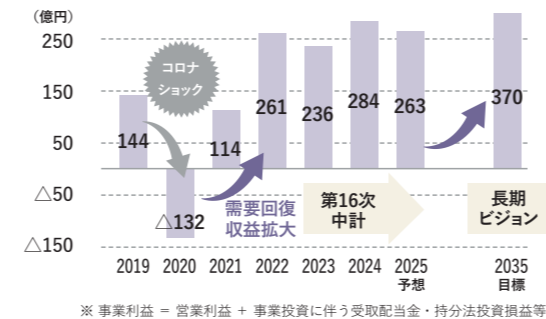
2025年度は第16次中期経営計画の最終年度となります。物価の上昇や米国の関税政策の影響など先行き不透明な状況ではありますが、着実に中計目標を達成し、さらなる成長を目指して取り組んでまいります。

資本コストや株価を意識した
経営の実現

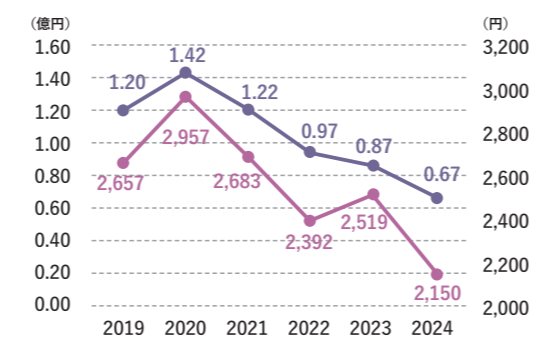
第16次中期経営計画に掲げる「サステナブルな成長への挑戦」のテーマのもと、構造改革と成長戦略を推し進めたことでコロナ禍以降、利益は目標を上回る水準で順調に回復しROEは拡大傾向にあります。その一方で、PERは低水準で推移しておりPBRは1倍を割っている状況です。

このような状況を踏まえ、次期中期経営計画の策定にあたっては、より一層の資本効率を重視したマネジメントを実施し、当社グループの今後の成長に対する株式市場の評価を高めていく必要があると考えています。

事業利益推移



PBRと株価の推移

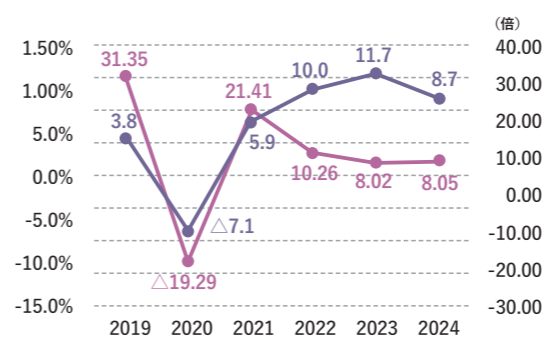


収益拡大と生産性向上

PBRを高めるために、まずはROE向上のための収益拡大が重要だと考えています。福岡都心部では再開発の進捗に伴ってインバウンドを中心に商業施設等への来街者やオフィスの集積による就労者が増加しています。2025年4月開業のワンビル来館者数は8月には500万人を突破し賑わいを見せており、当社の鉄道・バス事業における天神地区の利用人員も前年対比で増加傾向が加速しています。こうした需要を収益拡大に繋げられるようグループ一体となって取り組んでまいります。

また、将来の収益拡大のための成長投資も継続して実施します。今後も当社が関与する天神再開発の大型プロジェクトや、福岡家庭裁判所跡地の開発、九州大学箱崎キャンパス跡地地区土地利用事業などが予定されており、いずれも2030年代の開業となる中長期的なプロジェクトですが、さらなる福岡のまちの発展とともに収益拡大を目指してまいります。同時に、当社グループ全体の取り組みとして、生成AIやロボティクス等のDX・ICT技術の活用による生産性の向上、業務プロセスの効率化を推進してまいります。

ROEとPERの推移



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▼ chapter 2 価値創造ストーリー

01 トップメッセージ

02 にしてつグループが実現したい社会に向けて

03 にしてつグループ まち夢ビジョン2035

04 価値創造プロセス

05 にしてつグループの強みと経営資源

06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

設備投資計画と財務の健全性

設備投資計画は、中計期間の3カ年(2023～2025)の合計で、1,745億円を計画しており、そのうちワンビルに係る投資が約645億円を占めています。その結果、有利子負債残高は約3,600億円まで増加しました。ワンビル竣工によって2025年度の設備投資は前年度より減少する見込みですが、次期中計期間では次の大型プロジェクトの投資も必要になってきます。今後予定される大型プロジェクトは他の事業者等との共同プロジェクトになるため、独資で行ったワンビル程の投資規模にはならない想定ではあるものの、不動産流動化による外部資本の活用や回転型スキームによる早期の資金回収を図るなど、財務の健全性にも留意していく必要があります。成長投資による収益拡大には今後も継続的に取り組むと同時に、有利子負債残高をうまくコントロールしてまいります。

また、不動産流動化に関しては、私募ファンドを2024年3月の第1号から2025年8月の第3号までの累計で約220億円の資産規模で組成しました。次期中計期間における私募REIT組成を目指して取り組むとともに、アセットマネジメント業務のノウハウ獲得にも努めているところです。

資本効率の向上

資本効率向上の取り組みのひとつとして、事業ポートフォリオの見直しを推進しています。例えば、投資案件については事業別に目標ROICを設定し投資判断を行い、事業存続の評価においては継続的に目標を上回るキャッシュフローを生み出せるかどうかを判断し、目標に満たない場合は改善策を立案、それでも改善が見込まれない場合には事業の撤退も含め検討しています。バス事業のグループ会社において乗務員不足や郊外路線における利用減少等、様々な課題に対し迅速に対応すべく、組織を一本化することで効率よい運営ができるよう本体への吸収合併を決定いたしました。

また、従来のアセット保有重視の事業のあり方を見直し、ソリューションビジネスの強化にも力を入れるなど、資本効率を高めてROEの向上に努めてまいります。長期ビジョンではROE 8%を目標として掲げていますが、足元の事業環境の変化

などに鑑み、さらなるROEの向上に向けて取り組んでまいります。

第16次中計期間の投資計画

(単位：億円)

| | 2023年度実績 | 2024年度実績 | 2025年度予想 | 合計(2023-2025年) |
|------------|------------|------------|------------|----------------|
| 設備投資 | 681 | 618 | 446 | 1,745 |
| 成長 | 525 | 458 | 240 | 1,223 |
| 安全 | 69 | 57 | 48 | 174 |
| 維持更新 | 87 | 103 | 157 | 347 |
| 分譲投資※1 | 342(33) | 416(119) | 470(48) | 1,227(199) |
| 投融資 | 122(101) | 34(7) | 197(149) | 353(258) |
| うち海外開発事業※2 | 50(37) | 22(2) | 84(37) | 156(76) |
| 投資総額※3 | 1,144(815) | 1,068(743) | 1,113(643) | 3,325(2,201) |

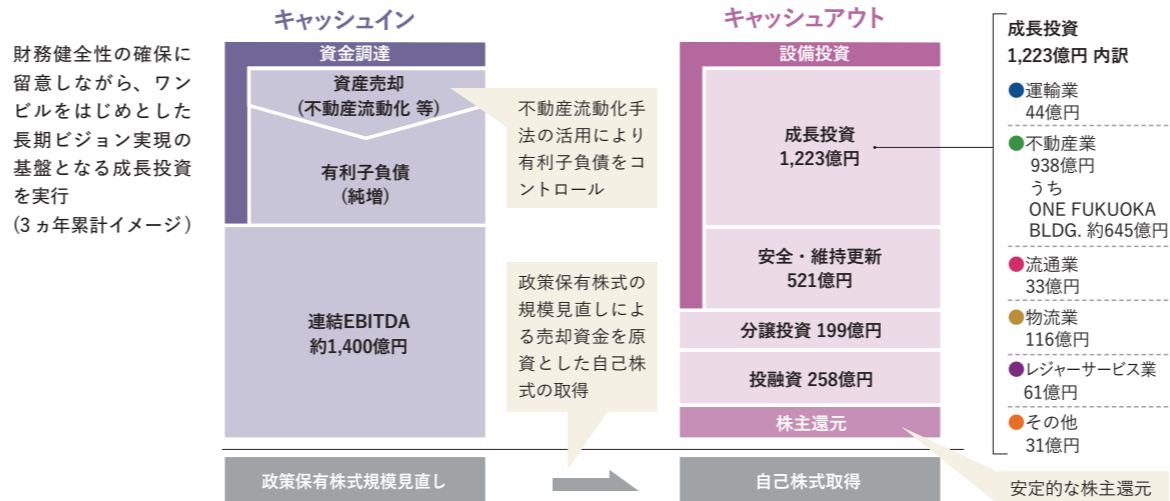
・単純合算、億円未満を四捨五入

※1…()内は分譲原価回収を考慮した純投資額

※2…()内は資本回収を考慮した純投資額。海外開発事業は海外住宅・収益不動産開発

※3…()内は分譲原価回収・資本回収を考慮した純投資額

(参考) 資金配分の考え方

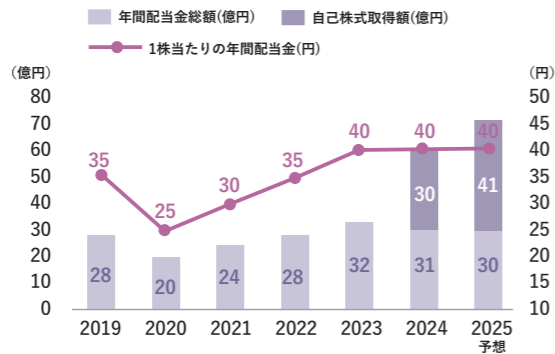


| |
|-------------------------|
| にしてつグループ企業理念 |
| 企業メッセージ |
| コンテンツ |
| ▶ 特集 ワンビル、始動。 |
| ▶ chapter 1 イントロダクション |
| ▼ chapter 2 価値創造ストーリー |
| 01 トップメッセージ |
| 02 にしてつグループが実現したい社会に向けて |
| 03 にしてつグループ まち夢ビジョン2035 |
| 04 価値創造プロセス |
| 05 にしてつグループの強みと経営資源 |
| 06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ |
| ▶ chapter 3 サステナブル経営 |
| ▶ chapter 4 事業別概要 |
| ▶ chapter 5 会社データ |

株主還元の方針

株主還元については、株主の皆さまへの安定した利益還元を重視し、適切な内部留保の確保による財務体質、経営基盤の強化を図りつつ、安定的・継続的な配当を実施することを方針としています。2024年度は、当初は年間35円の配当を予想しておりましたが、足元の業績動向などを勘案して年間40円の配当を実施いたしました。また、2025年度も年間40円の配当を予定しており、昨年度に引き続き、政策保有株式の保有規模見直しによる売却資金を原資として自己株式の取得を実施しております。

配当方針については、財務指標の導入などによる明確化に向けて検討を進めてまいります。



サステナブル経営の取り組み

企業価値向上に向けたサステナビリティに係る取り組みとして、カーボンニュートラル達成に向け、省エネ推進に加えて化石燃料からの脱却を促し、エネルギー使用量の削減を図るとともに、再生エネルギーへの切り替えに取り組んでいます。省エネ鉄道車両の購入や、オフィスビルのZEB化、ホテル事業の非化石証書活用などに取り組んでいます。また、サプライチェーン全体の排出量となる「Scope 3」についても、2025年度より一部開示を開始いたしました。今後も開示拡大に向けて体制整備等を進めてまいります。

また、サステナブル経営の重要課題として8つの課題を掲げておりますが、それぞれの目指す姿に向けたモニタリングができるよう事業戦略と紐づくKPIの設定について社内で議論を進めており、ステークホルダーの皆さまの理解を深め、企業価値の向上へつなげていきたいと考えております。

ステークホルダーとのエンゲージメント強化

株主や投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまとの対話は、当社グループの持続的な成長や企業価値向上のための重要な場であると考え、頂戴した様々なご意見等は経営層に共有し経営に活かしております。今後も、経営トップの対話機会の増加など、より一層の情報開示や対話活動を実施し、当社グループの成長期待を醸成できるよう努めてまいります。



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウィンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▼ chapter 2 価値創造ストーリー

01 トップメッセージ

02 にしてつグループが実現したい社会に向けて

03 にしてつグループ まち夢ビジョン2035

04 価値創造プロセス

05 にしてつグループの強みと経営資源

06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

吉田 哲治

人事部担当執行役員
人事部長

当社の人的資本経営

当社グループでは「まち夢ビジョン2035」の実現に向けて、経営戦略と人財戦略との連動をより強化するため、経営戦略を担当する部門と人事部門が協働して戦略を立案する「人的資本経営プロジェクト」を2023年度より発足させ、ビジョン達成に向けた人財ポートフォリオの策定や人的課題の特定に取り組んできました。2024年度には人財に関する4つの重要課題を人財マテリアリティとしてまとめ、メンバーの活躍と成長を引き出し、組織の目標を達成するマネージャーの育成やビジョン実現に向けた事業の変革、事業横断での価値創出を実現する高度マネジメント人財の計画的な創出などを経営層に提言してきました。2025年度からは各事業領域と人事部門で人財に関する課題や解決策をより具体的に協議する「人財戦略協議会」を設置し、にしてつグループの未来を自ら創る人財を育成する環境整備や、エンゲージメントの高い組織づくりについてアイデアを出し合っています。また、2035年以降も価値を創出し続けるにしてつグループを牽引する人財を計画的に育成するサクセッションプランの検討もおこなっています。

従業員の自律的成長

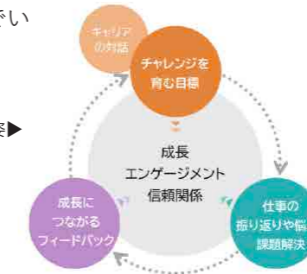
企業価値の源泉は「人」であり、サステナブルな成長への原動力となるのは、従業員一人ひとりの知恵と向上心、そして行動力です。当社グループには、モビリティ、まちづくり、国際物流事業などの専門性を持つ人財、地域の発展に貢献したいと願う人財や地元への愛着が強い人財など様々な人財が集まっています。これら従業員一人ひとりの能力をさらに伸ばさせるための社内研修、外部派遣プログラム、自学支援、資格取得支援に力をいれています。これまでは、内部公平性を意識した画一的な人財マネジメントを主としていましたが、近年は画一的に行うべきものは継続したうえで、自律的な成長を積極的かつ優先的に支援するとともに、従業員が自律的に成長したくなるような仕組みづくりに力をいれています。

マネジメント人財の強化

個の力を束ね、組織目標の達成に導いていくなかで欠かせない存在となるのが管理職です。従業員一人ひとりに対しビジョンを自分の言葉で語り、企業と従業員をつなぐ橋渡し役を担うとともに、従業員の自律的な成長を支援する重要な役割を担っています。当社では年間6回以上のきめ細かい1on1ミーティングを通して、目標設定の支援、進捗の確認、職場での実践、フィードバックを好循環させるために管理職に対する研修も定期的実施しています。また2025年度より上司、同僚、部下からマネジメントスタイルのフィードバックをもらう360度サーベイを導入し、周囲とのギャッ

プを認識し行動変容を促すとともにハラスメントの予防にも取り組んでいます。

1on1ミーティングで目指す姿▶



多様性のある組織づくり

世界28ヶ国・地域に事業拠点を有する当社グループにとって「多様性」とは単に人種や性別、年齢にとどまらず、価値観や経験、スキルの違いも含んでいます。異なるバックグラウンドや価値観を持つ人が集まり、自由に意見を出し合い、失敗を恐れるのではなく挑戦を称えあう職場風土こそがイノベーションを生み新たな事業価値の創出につながります。当社グループでは女性活躍推進や経験者採用の強化に取り組むほか、中核人財の登用においても、性別や国籍、新卒または中途等の区別なく、個々の能力に応じて行い、多様な人財の確保に努めています。

多様な人財がいきいきと働ける環境整備のために、キャリア志向や人事異動の範囲など自己選択の多様性を受容する取り組みを拡充していくことが重要だと考えています。



◀人財戦略に関する対話会の様子

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶特集 ウンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▼ chapter 2 価値創造ストーリー

01 トップメッセージ

02 にしてつグループが実現したい社会に向けて

03 にしてつグループ まち夢ビジョン2035

04 価値創造プロセス

05 にしてつグループの強みと経営資源

06 経営企画担当役員・人事担当役員メッセージ

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

走り続けて、 伝説になる。

夜行バスのパイオニア、35年の軌跡



その名は『はかた号』。

1990年10月12日、

『はかた号』初便が東京へ向けて発車しました。

総走行距離1161.8kmを

15時間15分で結び、1日2往復という、

当時としては破格のスケールに加え、

23席のサロン付きデラックスバスには

各座席に個室空間をつくるカーテン付きシートや

軽食サービスまで備えたという豪華さで

“キング・オブ・深夜バス”と呼ばれました。

2025年、35周年を迎えた

『はかた号』は、今日も走り続けています。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウィンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

- 01 にしてつグループにおけるサステナブル経営
- 02 環境と調和ある事業活動の推進
- 03 安全・あんしんの追求
- 04 持続可能で活力あるまちづくりの推進
- 05 お客さま満足の向上
- 06 働きやすい・働きがいのある職場づくり
- 07 人権の尊重
- 08 コーポレート・ガバナンス
- 09 コンプライアンス
- 10 リスクマネジメント
- 11 社外取締役 一座談会
- 12 新任社外取締役メッセージ
- 13 有識者メッセージ
- 14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

「眠れる安心感」を大事に



博多自動車営業所
騎馬 覚さん
運転歴：21年



「無事故で必ず帰る」を胸に



博多自動車営業所
山内 翔伍さん
運転歴：10年

NISHITETSU side story

日本最高峰の“ハンドル”、 今日も日本を駆ける！

1973年、福岡～熊本線『ひのくに号』から始まった高速バスへの挑戦。
最盛期には国内50路線を展開するまでに成長しました。
年間輸送人員は605万人超。
それを支えるのが、選び抜かれた精鋭の運転士たちです。

エースにして先駆者！『はかた号』の誕生と軌跡

「バカじゃないか！」。深夜高速バス『はかた号』の構想が語られ始めた当初、社内外からはそんな冷笑の声が上がりました。採算性、運転士の体力、安全性——数々の課題に立ち向かいながら、久留米大学と連携して運転士の疲労度を科学的に測定し、運輸省（当時）への陳情を重ね続けました。実現までに2年。その情熱が、やがて日本の移動文化を変えていきます。

デビュー後、はかた号は瞬く間に人気を集め、週末には続行便が常態化。1996年には1日平均120名が利用し、ゴールデンウィークやお盆には発券開始30分で完売という盛況ぶり。「コンサートのチケットじゃないんだから！」という苦情が

届くほどでした。

福岡を深夜に発ち、東京の朝に着く。その一夜の旅は、快適と効率を兼ね備えた新たな移動体験として、多くの人々の心をつかみました。航空・鉄道・マイカーという強敵に囲まれながらも、はかた号は進化を止めません。2010年にはプレミアムシート付き2階建て車両、2014年には日本初の個室型シートを導入し、“眠る旅”を極めていきます。

コロナ禍で一時運休となった2020年も、「それでも乗りたい」と願う声は絶えませんでした。単なる移動手段ではなく、乗ることそのものが旅になる——はかた号は、今もなお人の想いを乗せて、夜を駆け続けています。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

- 01 にしてつグループにおけるサステナブル経営
- 02 環境と調和ある事業活動の推進
- 03 安全・あんしんの追求
- 04 持続可能で活力あるまちづくりの推進
- 05 お客さま満足の向上
- 06 働きやすい・働きがいのある職場づくり
- 07 人権の尊重
- 08 コーポレート・ガバナンス
- 09 コンプライアンス
- 10 リスクマネジメント
- 11 社外取締役 一座談会
- 12 新任社外取締役メッセージ
- 13 有識者メッセージ
- 14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

にしてつグループは企業理念のもと、地域とともに持続的に成長・発展するために、サステナブル経営に取り組んでいます。

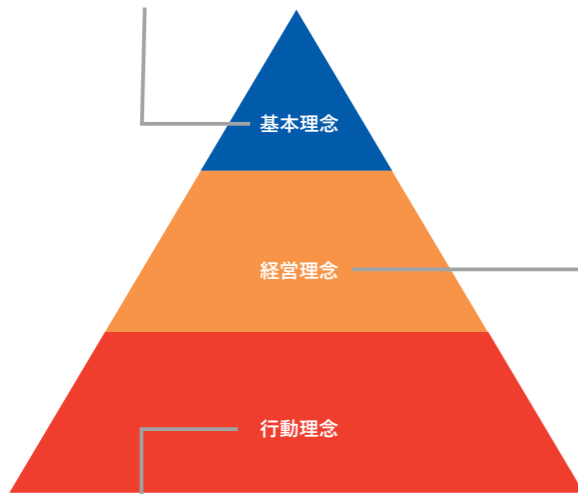
サステナブル経営の方針

当社グループにとってサステナブル経営とは、「企業理念の実践」です。企業理念のもと、社会の役に立ち、社会から信頼される企業であり続けること、つまり「良い企業市民」として、地域の持続的な発展に貢献していくことだと考えています。

事業活動を行っていく中においては、地域社会、お客さま、従業員等多くのステークホルダーの期待に応え続けていくことであり、グループ全従業員の行動規範(準則)を「にしてつグループコンプライアンス方針」に定め、その他の重要なテーマについても、それぞれ方針を定めて事業活動の中で実践しています。

にしてつグループの企業理念

にしてつグループは、
「出逢いをつくり、期待をはこぶ」事業を通して、
“あんしん”と“かいてき”と“ときめき”を提供しつづけて、
地域とともに歩み、ともに発展します。



- **人を活かす経営**
人間性を尊重し、人を活かす育み、活力あふれる企業風土をつくります。
- **お客さまの期待の創造**
お客さまの視点に立ち、期待にこたえ、期待をつくる商品・サービスを提供します。
- **新しい事業価値の創造**
時代の要請を的確にとらえ、社会の共感を得られる、新しい事業価値を創造します。
- **グループ総合力の発揮**
たがいに自立性と個性を尊重し、協力しあい、グループの総合力を発揮します。

- **お客さまの喜びが私たちの喜びです** お客さまの立場で考え実践しよう。
- **「やればできる」を大切にします** 創意と工夫で積極的に行動しよう。
- **にしてつグループの良き一員です** 自己を高め役割と責任をはたそう。
- **いきいき職場をつくります** 対話をひろげ信頼と協力を深めよう。

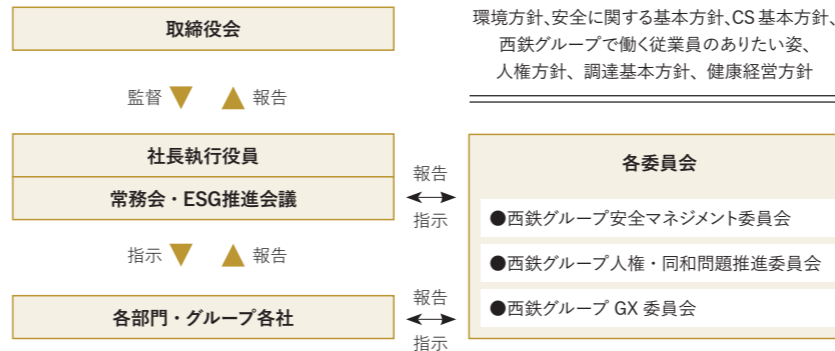
サステナブル経営の推進体制

当社グループでは、サステナブル経営の基本となる方針として「コンプライアンス方針」を定め、その中で、「法令や社会規範等の順守」「安全・安心な商品やサービスの提供」「環境問題への取り組み」等グループにおける行動指針を定めており、その他重要なテーマについても、「にしてつグループ環境方針」「西鉄グループ安全に関する基本方針」等の方針をそれぞれ定めて事業活動の中で実践しています。

また、ESG重要課題(マテリアリティ)の一つである気候変動問題を含む「環境対応」等、サステナブル経営における重要な方針・方向性を協議し、社長執行役員的意思決定を補佐する ESG推進会議や常務会および各委員会を設置するなどサステナブル経営の推進体制を構築しています。

「ESG推進会議」は、社長執行役員が議長となり、各委員会や各部・各社からサステナブル経営に関する活動報告を受け実施状況を確認しています。なお、必要に応じ、ESG推進会議で協議した重要な事項は、取締役会が報告を受けることとし、適切な監督を行うことにしています。

サステナブル経営推進体制



サステナブル経営の基本方針

コンプライアンス方針

環境方針、安全に関する基本方針、CS基本方針、西鉄グループで働く従業員のありたい姿、人権方針、調達基本方針、健康経営方針

| |
|-------------------------|
| にしてつグループ企業理念 |
| 企業メッセージ |
| コンテンツ |
| ▶ 特集 ウンピル、始動。 |
| ▶ chapter 1 イントロダクション |
| ▶ chapter 2 価値創造ストーリー |
| ▼ chapter 3 サステナブル経営 |
| 01 にしてつグループにおけるサステナブル経営 |
| 02 環境と調和ある事業活動の推進 |
| 03 安全・あんしんの追求 |
| 04 持続可能で活力あるまちづくりの推進 |
| 05 お客さま満足の向上 |
| 06 働きやすい・働きがいのある職場づくり |
| 07 人権の尊重 |
| 08 コーポレート・ガバナンス |
| 09 コンプライアンス |
| 10 リスクマネジメント |
| 11 社外取締役 一席談会 |
| 12 新任社外取締役メッセージ |
| 13 有識者メッセージ |
| 14 社会貢献活動 |
| ▶ chapter 4 事業別概要 |
| ▶ chapter 5 会社データ |

サステナブル経営における重要課題の特定プロセス

当社グループは、企業理念のもと、社会の役に立ち、社会から信頼される企業であり続けるよう地域の持続的な発展に貢献してきました。

今後当社グループが、社会課題に取り組み、地域とともに持続的に成長・発展するために、社会的に貢献度が高く、企業価値に大きく影響を与える重要課題について、ESG推進会議等での議論を経て、以下のとおり特定しました。重要課題に取り組むことで、「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成にも貢献していきたいと考えています。

重要課題の特定プロセス

STEP 1

世界のメガトレンドや、社会経済情勢、SDGs、国際機関のガイドライン、またESG評価機関の評価項目、業界トレンド、各事業の特性、他社の動向等を分析し、重要課題候補を検討。

STEP 2

当社グループの置かれている状況や、企業理念、にしてつグループまち夢ビジョン2025、第15次中期経営計画を踏まえた自社にとっての重要度、ステークホルダーにとっての重要度を踏まえ、自社の重要課題を評価し選定。

STEP 3

経営会議、ESG推進会議での議論を経て、特定。

サステナブル経営における重要課題

| | 重要課題 | 詳細 | 関連するSDGs | 重視する指標 |
|---|--------------------|--|---|---|
| E | 環境と調和ある事業活動の推進 | 環境との調和ある事業活動を通じて、環境負荷を低減するとともに、循環型社会の実現と地球温暖化の抑制に寄与します。 |   | ・CO2排出量の削減 [Scope 1 + 2] |
| | 安全・あんしんの追求 | 「安全の確保」を最優先し、全てのお客さまに“あんしん”してご利用いただける商品・サービスを提供します。 |   | ・重大責任事故件数 [事故報告規則に基づく当社グループに責任がある事故] ・インシデント件数 [鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態] |
| S | 持続可能で活力あるまちづくりへの貢献 | 地域との関係を大切にし、事業活動を通して地域の持続可能な発展に寄与します。 |   | ・沿線自治体の人口動向 [自然増減・社会増減の度合い] |
| | お客さま満足の向上 | お客様の声に積極的に耳を傾け、潜在的なニーズに応える商品・サービスの提供や改善活動をし、お客さまに選ばれ続ける西鉄グループを目指していきます。 |  | ・お客さまの声の分析・活用 |
| | 働きやすい・働きがいのある職場づくり | 社員の多様性を尊重し、働く喜びや生きがいを実感できる「人を活かす経営」を行います。一人ひとりが意欲を高め、能力を発揮して新たな価値や革新を生み出せるよう、人材の育成・活躍推進に取り組みます。 |     | |
| | 人権の尊重 | 人権課題の正しい理解と企業の果たすべき責任への理解を深め、様々なステークホルダーとの対話と社員への人権研修の実施により、人権を尊重した事業活動を推進していきます。 |   | ・女性管理職比率 ・男女の賃金差異・男性社員の育休取得率 ・人的資本への投資額 ・取締役、執行役員構成 ・従業員エンゲージメント、コンプライアンス意識に関する調査 |
| G | コーポレート・ガバナンス | 当社は、「にしてつグループの企業理念」のもと、安全、安心な「交通サービスの提供」と地域の発展に貢献する「まちづくり」を中核とする事業特性を踏まえながら、お客さま、地域社会、株主等のステークホルダーの期待に応える経営を行っていくため、透明・公正かつ迅速・果敢な経営の意思決定を行うための実効的な仕組みの確保・充実に努め、持続的な成長および中長期的な企業価値の向上を目指していきます。 |  | |
| | コンプライアンス | | | |

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 **ワンピル、始動。**

▶ chapter 1 **イントロダクション**

▶ chapter 2 **価値創造ストーリー**

▼ chapter 3 **サステナブル経営**

01 **にしてつグループにおけるサステナブル経営**

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 **事業別概要**

▶ chapter 5 **会社データ**

環境マネジメント体制

当社グループは、持続可能な社会の実現に貢献し、社会から信頼され長期的にわたり発展し続ける企業であるために、地球環境の保全を重要課題と認識し、環境負荷低減活動を実践しています。

当社およびグループ会社の環境責任者・推進者は、環境負荷低減計画に基づいた取り組みを推進する一方で、グループ全体の環境経営に関わる事項については、社長を議長とするESG推進会議において協議・審議・進捗管理を行うこととしています。

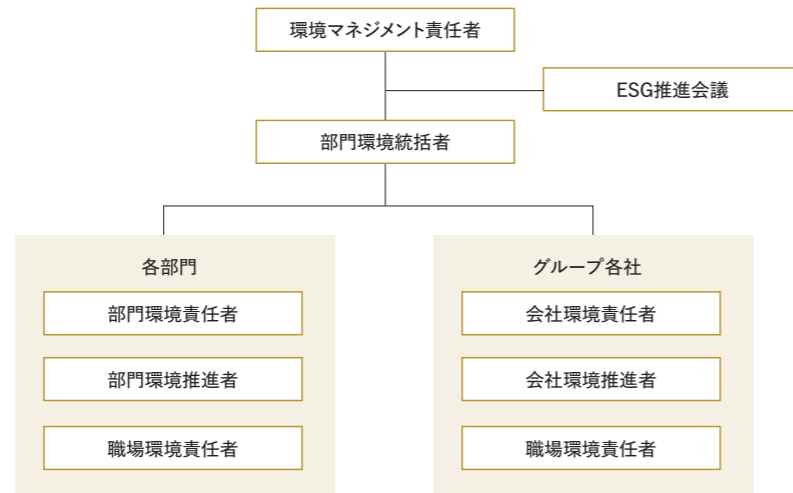
● にしてつグループ環境方針 (2005年4月28日制定)

わたしたちは、地球環境の保全を重要課題と認識し、環境との調和ある事業活動を通じて、環境負荷を低減するとともに、循環型社会の実現と地球温暖化の抑制に寄与してまいります。

- (1) 環境意識の向上
- (2) 法令・規制の正しい理解と遵守
- (3) 資源およびエネルギーの効率的利用と排出物の削減
- (4) エネルギー効率の高い公共交通の利用促進
- (5) 環境品質を備えた商品・サービスの提供

以上の方針に基づき、環境への取り組みを継続的に改善してまいります。

にしてつグループマネジメント体制



2005年4月に「にしてつグループ環境方針」を制定し、環境との調和ある事業活動を通じて、環境負荷を低減するとともに、循環型社会の実現と地球温暖化の抑制に寄与してまいります。

各種法令への対応

省エネ法への対応

当社および一部のグループ会社は、省エネ法における特定事業者または特定輸送事業者指定されており、中長期計画書、定期報告書を毎年度作成し、各地域の経済産業局等に提出しています。

フロン排出抑制法への対応

2015年4月に施行されたフロン排出抑制法では、業務用冷凍・空調機器の点検、整備履歴の記録、フロン漏洩量の報告が義務化されました。当社およびグループ会社では確実な法対応を進め、フロン漏洩を未然に防ぎ、環境負荷低減に努めています。

GX委員会設立

2025年4月、当社グループにおけるGX（グリーントランスフォーメーション）の取り組みを加速・推進するため、「西鉄グループGX委員会」を新設しました。

イニシアチブ等への参画



TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース)

TCFD提言へ賛同表明 (2022年3月)



CDP

2021年度より回答



GXリーグ

2024年度に参画

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 **ワンピル**、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

TCFD提言に基づく情報開示①

当社グループは、重要課題の一つである気候変動問題をESG推進会議の重要議題の一つと位置付けており、ESG推進会議では社長執行役員が議長となり、気候変動問題解決に向けた自主的目標の設定や環境負荷低減活動を取りまとめた「環境負荷低減計画」の進捗状況を確認し、対応策の検討等を指示しています。また、2022年3月にTCFD提言へ賛同し、これまで鉄道事業、バス事業、賃貸事業、住宅事業、ストア事業、国際物流事業、ホテル事業におけるTCFD提言に基づくシナリオ分析を実施し、当社グループのCO2排出量の約90%を占める部門・グループ会社においてシナリオ分析を実施しました。

シナリオ分析の実施対象会社

| 事業の内容 | | 会社名 |
|------------|--------|----------------------|
| 運輸業 | 鉄道事業 | 当社 |
| | バス事業 | 当社、バス事業を営む子会社および関連会社 |
| 不動産業 | 賃貸事業 | 当社 |
| | 住宅事業 | 当社 |
| 流通業 | ストア事業 | ㈱西鉄ストア |
| 物流業 | 国際物流事業 | 当社 |
| レジャー・サービス業 | ホテル事業 | ㈱西鉄ホテルズ |

戦略

リスクと機会

気候変動がもたらすリスクは、脱炭素社会への移行に伴うリスク(移行リスク)と物理的な影響に伴うリスク(物理的リスク)の二つの側面があり、また、当社グループにとって成長の「機会」としての側面もあります。

これらリスクと機会の影響度を定量評価できるものについては定量的に評価し、発生可能性と影響度の二軸の視点から重要度を評価して対策の必要性を判断する材料としています。

なお、評価の時間軸については、短期(中期経営計画と同じ3年程度)、中期(日本政府の目標と同じ2030年)、長期(脱炭素目標の設定年である2050年)を設定して評価を実施しました。

にしてつグループ共通の移行リスク

| 種類 | 内容 | 事業 | 重要度(中期～長期) | 対策(方向性) |
|--------|-------------------------------------|-----|------------|-------------------------------|
| 政策・法規制 | 炭素税の導入・強化に伴うエネルギー調達コストの増加(Scope1,2) | 鉄道 | 大 | 環境配慮型車両・設備の導入によるエネルギー使用量の減少 |
| | | バス | 大 | EVバス等の導入による燃料調達コスト削減 |
| | | 賃貸 | 大 | 省エネ推進(高効率機器への更新等省エネ設備導入) |
| | | ホテル | 大 | |
| | | ストア | 大 | |
| 市場 | 再エネ導入拡大に伴う電力調達コストの増加 | 全事業 | 大 | 電力価格の推移を確認し、再エネ電力の導入時期や比率等を検討 |

にしてつグループ共通の物理リスク

| 種類 | 内容 | 事業 | 重要度(中期～長期) | 対策(方向性) |
|----|-----------------------------------|------|------------|--|
| 慢性 | 降水パターン等の変化に伴う損害保険料の上昇 | 全事業 | 大 | ・全社的BCPの棚卸し ・保険額の上昇状況を確認し、必要により保険内容の見直し検討 |
| | | 賃貸 | 中 | ・省エネの推進によるコスト削減(設備更新時に高効率な空調機への更新) |
| | | 住宅 | 中 | ・省エネの推進によるコスト削減(設備更新時に高効率な空調機への更新) |
| 慢性 | 平均気温等の上昇に伴う冷房コスト、設備投資コストの増加 | ストア | 小 | ・AI予測によるエネルギーマネジメントシステムの活用推進 |
| | | 鉄道 | 中 | ・風水害に強い車両・施設の整備 |
| 急性 | 異常気象激化に伴う施設被害の増加及び売上の減少(修繕費、営業停止) | バス | 中 | ・道路・トンネル等での通行停止発生に備え、う回路を複数想定するなど災害に強い運営体制の整備 |
| | | 賃貸 | 中 | ・ハード・ソフトからなるBCPの定期的な見直しおよび運用を実施(ハード) |
| | | 住宅 | 中 | |
| | | ストア | 小 | ・防災設備の点検の継続実施 ・防災、減災設備設置の検討 等 |
| | | 国際物流 | 中 | ・BCPマニュアルの定期的な見直し ・関係者に対する情報共有強化 ・災害時に備えた代替要員の確保、体制整備 ・代替ルートの選定 等 |

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

TCFD提言に基づく情報開示②

にしてつグループ共通の機会

| 種類 | 内容 | 対策（方向性） |
|----|-------------------------|--|
| 市場 | 環境への取り組みの積極的な開示による人財の確保 | <ul style="list-style-type: none"> 長期ビジョン「にしてつグループまち夢ビジョン2035」の推進 HP、統合報告書を活用した効果的なアピールの検討と実施 時代に応じた効果的なアピール方法の検討 |
| | グリーン投資の拡大 | <ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルの進捗状況の情報開示 グリーンボンドの発行 TCFD提言への賛同および情報開示 |

シナリオ分析

IPCC（気候変動に関する政府間パネル）やIEA（国際エネルギー機関）等の専門機関が描く産業革命前と比較した世界の平均気温の上昇幅を示すシナリオの中から、パリ協定を踏まえたシステム移行により1.5°C未満に抑えられる1.5°Cの外部シナリオ（1.5°Cシナリオ）と、新たな政策・制度が導入されずに21世紀末には4.0°C前後上昇する4°Cの外部シナリオ（4°Cシナリオ）に基づき、中期（2030年）を目安に実施しました。

にしてつグループ共通のシナリオ分析

シナリオ分析の結果から、当社グループへの共通事項として、移行リスクでは、炭素税の導入による大幅なコストの増加が懸念され、省エネ対策や環境配慮型車両への更新を継続的に実施しているものの、再エネ導入拡大に伴う電力調達コストが増加することが判明しました。

また、物理的リスクでは、降水パターンの変化に伴う豪雨等による施設や車両の被害の増加により損害保険料が上昇することが判明しました。1.5°Cシナリオと4°Cシナリオを比較すると、1.5°Cシナリオにおける炭素税の影響が非常に大きいことから、炭素税の影響が最大のリスクであり、脱炭素社会の実現に向け最優先で対応する必要があることが判明しました。

当社グループが社会から信頼され長期にわたり発展し続ける企業グループであり続け、誰ひとり取り残さない持続可能な社会が実現出来るよう、脱炭素社会を目指し、カーボンニュートラルへの取り組みに関する情報を積極的に開示し、1.5°Cの世界の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

使用パラメーター一覧

| 重要項目 | 想定パラメータ | パラメータ対象地域 | 単位 | BAU | 2030年 | | 出所 |
|-----------------|-----------------|-----------|---------|-----|--------|--------|------------------------------------|
| | | | | | 4°C | 1.5°C | |
| 各国の炭素排出目標/政策 | 炭素税 | 先進国 | 円/t CO2 | - | 5,880 | 19,600 | ・IEA WEO2023 |
| | 環境配慮型車両 | 世界 | % | - | 2 | 23 | ・IEA WEO2020 ・IEA NZE2050 |
| 日本のエネルギー削減目標/政策 | 省エネ目標 | 日本 | % | - | 13 | 16.5 | ・2030年エネルギーミックスにおける省エネ対策の状況と今後について |
| エネルギーミックスの変化 | 燃料の価格増減率 | 世界 | % | - | 21 | -5 | ・IEA WEO2020 ・IEA NZE2050 |
| | 電力価格 | 日本 | 円/MWh | - | 29,120 | 32,340 | ・IEA WEO2018 |
| 次世代技術の進展 | 自家用車・バス間の利用者数変化 | 世界 | % | - | - | - | ・IEA NZE2050 ・4°Cシナリオ現状と同等水準 |
| 平均気温の上昇 | 平均気温 | 福岡県 | °C | 0°C | +0.3 | +0.2 | ・Climate Impact Explorer, "Japan" |
| 水害 | 浸水深 | 日本(各拠点) | m | - | - | - | ・自治体が公表するハザードマップ |

※為替レートは、140円/ドルで算出しています。

にしてつグループ共通の財務影響評価(1年あたりの予想コストの増減 2030年)

| リスク項目 | 想定される事象 | 影響度 | | |
|--------|----------------------|--|-------|-----|
| | | 4°C | 1.5°C | |
| 移行リスク | 炭素税の導入・強化 (Scope1,2) | (4°C) 炭素税が導入される [税額は低い] (1.5°C) 炭素税が導入される [税額が高い] | ▲▲▲ | ▲▲▲ |
| | 再エネ導入拡大 | (4°C) 電力価格が上昇 [上昇率は低い] (1.5°C) 電力価格が上昇 [上昇率が高い] | ▲▲ | ▲▲▲ |
| 物理的リスク | 降水パターン変化 | (4°C) 豪雨等による営業施設・車両等の被害が増加し、損害保険料が上昇 (1.5°C) 豪雨等による営業施設・車両等の被害がやや増加し、損害保険料が上昇 | ▲ | ▲ |

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一座談会

12 新任社外取締役メッセージ

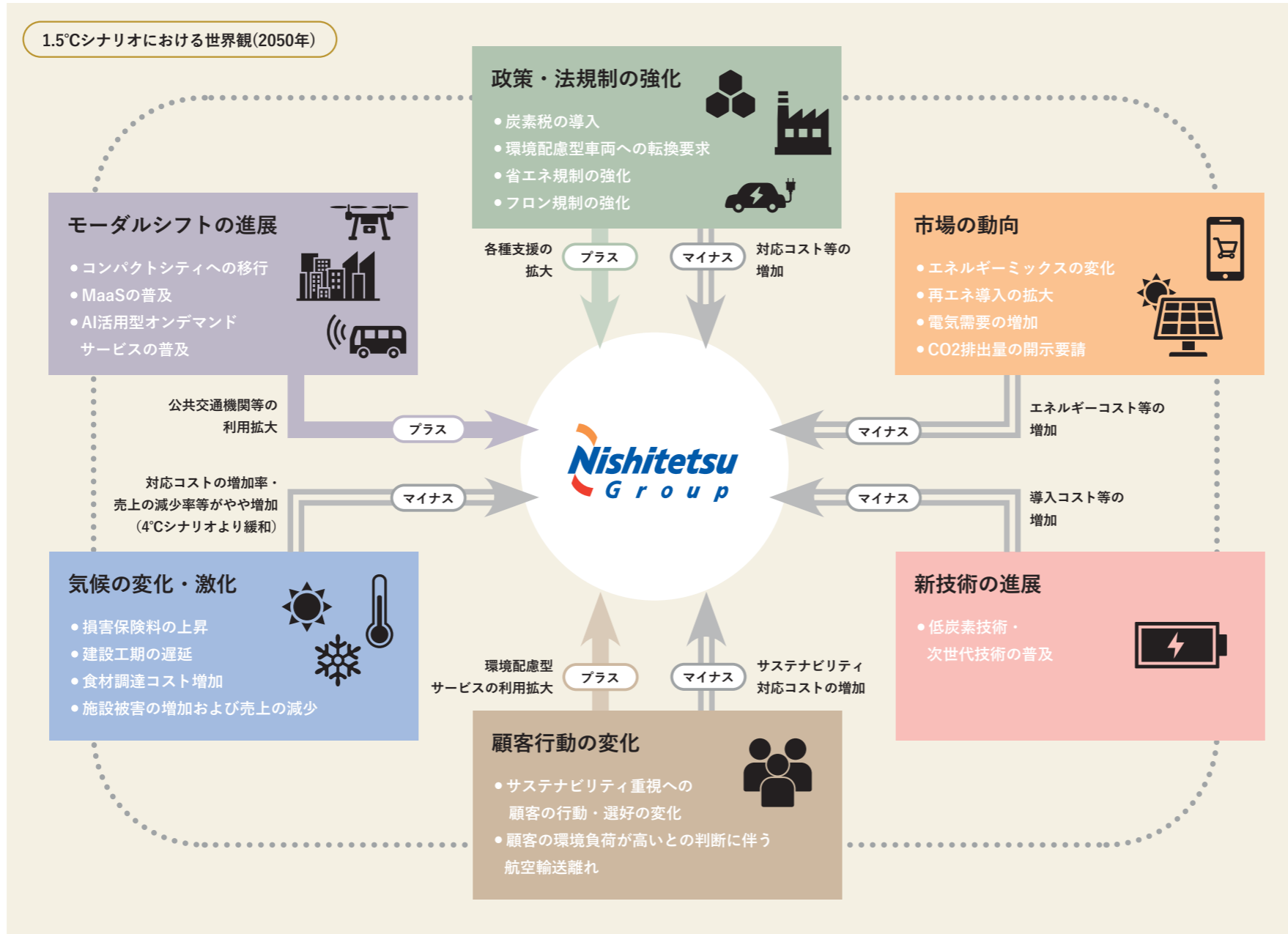
13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

TCFD提言に基づく情報開示③



環境と調和ある事業活動の推進

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

TCFD提言に基づく情報開示④

リスク管理

当社グループでは、社長執行役員を議長とするESG推進会議において、各部門・グループ各社が作成したCO2排出量の削減目標を含む「環境負荷低減計画」をベースに、グループ全体計画を策定しています。当社は、計画の進捗状況をモニタリングし、リスクと機会に対する優先順位も考慮しながら、目標達成に向け、各部門・グループ各社に計画内容の修正等を指示するなど、リスクマネジメントのPDCAサイクルを実施しています。なお、当社グループでは、GHGプロトコルに基づく Scope 1、Scope 2 のCO2排出量を対象として削減目標を設定しています。Scope 3については、一部の事業において把握しており、今後はグループ全体での把握を進めてまいります。

※Scope1：事業者自らによる燃料を使用して直接排出する量、Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気を使用して間接的に排出する量、Scope3：Scope1、Scope2以外の事業者の活動に関連して排出する量。

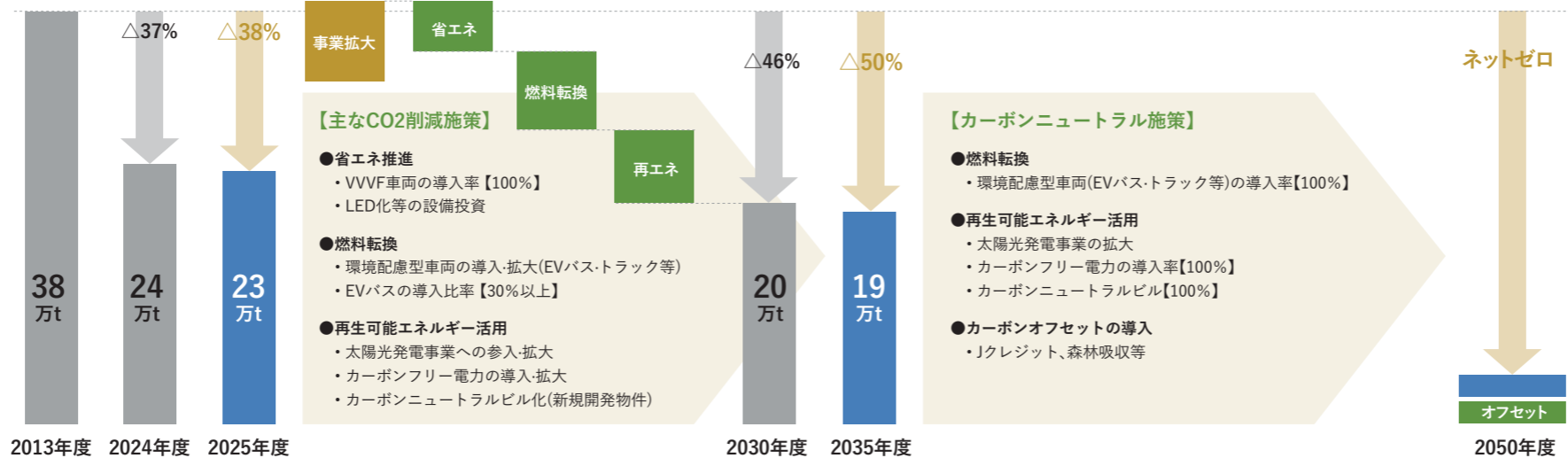
指標および目標

当社グループは、2022年11月に2035年度を目標年次とする長期ビジョン「にしてつグループまち夢ビジョン2035」を策定し、ロードマップである「カーボンニュートラル(2050年)を目指して」を明示しています(下図参照)。また、第16次中期経営計画(2023年度～2025年度)における削減目標をロードマップに合わせ設定しています。

CO2削減目標を・2025年度 2013年度比38%削減(第16次中期経営計画)
・2035年度 2013年度比50%削減(長期ビジョン)

とし、国の目標であるCO2排出量2030年度 2013年度比46%削減を達成し、2050年カーボンニュートラルをグループ全体で目指します。なお、「GX2040ビジョン」で示された国の新たな目標に対する当社グループの削減目標については、次期中期経営計画で検討します。

カーボンニュートラル(2050年)を目指して



環境と調和ある事業活動の推進

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶特集 **ワンビル、始動。**

▶chapter 1 イントロダクション

▶chapter 2 価値創造ストーリー

▼chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶chapter 4 事業別概要

▶chapter 5 会社データ

環境負荷低減計画

環境負荷低減計画において、2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップに基づく第16次中期経営計画期間（2023～2025年度）の削減目標を設定し、目標の達成に向けて、各部門・各社で具体策を実行しています。

なお、目標に対する評価と具体策の実施状況について、半年ごとにその進捗状況をESG推進会議で確認しています。

第16次中期経営計画期間における環境負荷低減計画の概要

部門・会社別目標に対する達成状況は、当社グループホームページにおけるサステナブル経営の推進ページ掲載の「環境負荷低減計画」をご覧ください。

第16次中期経営計画期間における環境負荷低減計画の詳細内容はこちらから



第16次中期経営計画における当社グループ目標の達成状況

(◎：目標達成、○：目標は未達成だが基準年より削減)

| にしてつグループ全体目標 | 2025年度目標値（第16次中計最終年度） | 2024年度実績 | 結果 |
|---------------------|-----------------------|----------|----|
| CO2排出量(総量)の削減(※1,2) | ▲25%(2013年度比) | ▲26.3% | ◎ |
| コピー用紙使用量の削減(※3) | ▲25%(2014年度比) | ▲30.4% | ◎ |
| 水使用量の削減 | ▲15%(2014年度比) | ▲10.0% | ○ |

※1 電力によるCO2排出量の算定にあたっては、電気事業連合会等が2015年7月に「電気事業における低炭素社会実行計画」で公表した排出係数【0.37kg-CO2/kWh】を管理値として使用 ※2 電力以外のエネルギーによるCO2排出量の算定にあたっては、基準年度(2013年度)の環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」を参照 ※3 コピー用紙の使用枚数は、購入ベース(サイズによる区別なし)で集計

Scope1, 2の第三者検証実施

当社グループにおける温室効果ガス(GHG)排出量データの信頼性向上を目的として、2024年度におけるGHG排出量(Scope 1, 2)に対する第三者検証を実施しました。検証は国際規格「JIS Q 14064-3:2023(ISO 14064-3:2019)」に準拠し、ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン(株)によって行われました。

- 検証対象
 - ・対象: 当社および連結子会社、一部関連会社の国内拠点
 - ・期間: 2024年4月1日から2025年3月31日まで
- GHG排出量
 - ・Scope 1 (直接排出): エネルギー起源CO2 130,681 t-CO2e
 - ・Scope 2 (間接排出): マーケット基準で 106,076 t-CO2e



脱炭素化社会実現に向けた取り組み①

鉄道事業における取り組み

電力使用量の削減に向けた取り組み

天神大牟田線では、電力効率に優れたVVVFインバータ制御装置や電力回生ブレーキ等を搭載した新型車両(VVVF車)の導入を推進し、運転電力の削減に努めています。付帯電力については、駅構内の照明や信号機、踏切警報灯のLED化等省エネ化を進めています。天神大牟田線については、2025年3月末で、全車両282両に対してVVVF車が168両であり、電力使用量は減少傾向にあります。



▲9000形車両(VVVF車)

バス事業における取り組み

環境対応車両等の導入、燃費向上の取り組み

最新の排ガス規制に適合し、窒素酸化物や粒子状物質などの有害物質をほとんど排出しない低公害車である新車に加え、CO2排出量削減のため電気バスやレトロフィット電気バスなどの導入を進めています。

また、エコドライブの徹底やデジタルタコグラフを活用した運行管理により、2024年度の一般路線バスの燃費は、デジタルタコグラフ導入前の2004年度に比べ、2.0%向上しています。

レトロフィット電気バス

48台※
導入

車齢13～15年の中古バスを改造し電動化した「レトロフィット電気バス」の導入を進めています。ディーゼルバスと比較して、CO2排出量を33～57%（想定値）削減できるだけでなく、災害時の非常電源としての活用も見込んでいます。

ハイブリッドバス

20台※
導入

ディーゼルエンジンと電気モーターを組み合わせ、減速時に蓄えたエネルギーを、負荷の大きい発進・加速時に活用する「ハイブリッドバス」を導入しています。

アイドリングストップシステム

1,319台※
導入

燃料節約や排ガス削減のため、アイドリングストップを推進しておりますが、アイドリングストップ中も冷房送風が可能な装置（自動アイドリングストップシステム）を搭載しています。

※導入台数は2024年度末時点の当社グループ合計

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶特集 ワンピル、始動。

▶chapter 1 イントロダクション

▶chapter 2 価値創造ストーリー

▼chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶chapter 4 事業別概要

▶chapter 5 会社データ

脱炭素化社会実現に向けた取り組み②

流通業における取り組み

(株)西鉄ストアでは、2024年度までに55店舗の冷蔵陳列ケース内照明をLEDに変更し、1,385,441kwh (578t-CO2相当) を削減いたしました。またスーパーマーケット51店舗において電力使用量の見える化システムを導入し、デマンド管理を行うなど、省エネ活動を実施しています。

ホテル事業における取り組み

CO2フリーの再生可能エネルギー由来電力へ切り替え

(株)西鉄ホテルズでは、2024年4月よりCO2フリー電力の活用を進めています。2024年4月からは、西鉄自然電力会社と連携し、FIT非化石証書を活用するなどして、日本国内の全18ホテルにおいてCO2フリーの再生可能エネルギーの導入を完了しています。電力のグリーン化によるCO2削減効果は、年間約12,900t-CO2となり、一般家庭の約7,500世帯分※に相当します。

※ 世帯当たりの年間CO2排出量(電気)1.72(t-CO2)で算定

エコ清掃、プラスチックアメニティ削減の取り組み

西鉄ホテルグループでは、連泊のお客さまにエコ清掃の協力をお願いしています。お客さまご理解のもと、滞在中の清掃を原則2日に1回とすることで、ベッドシーツやナイトウェアといったリネン類の洗剤排水等の削減に努めています。

また、ソラリア、クルーム、インブランドの国内17ホテルでは、アメニティの客室常備をやめ、フロントスペースにアメニティバーを設置しました。アメニティの素材を環境にやさしい素材(竹・藁を一部配合等)へ変更し、一部客室に設置していたバスアメニティのミニボトルをポンプボトルへ変更、ストローやグラスキャップの紙製切り替え、歯ブラシセットなどのご持参を呼びかけることで、プラスチックごみの削減を推進しています。



▲アメニティバー

物流業における取り組み①

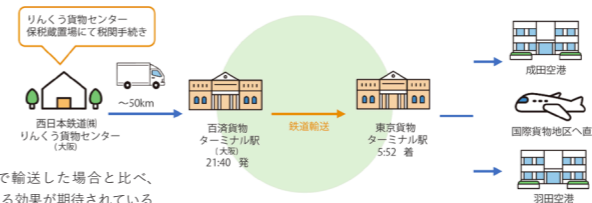
近年、物流業界においては、従来の輸送方法よりも環境への負荷を減らした“地球にやさしい輸送”=「グリーンロジスティクス」の取り組みが注目を集めています。国際物流事業本部では、鉄道輸送へのモーダルシフトやコンテナラウンドユース、トラックの集約配送、リユース可能な梱包資材の活用などの「グリーンロジスティクス」の提供を通じて、環境負荷の低減や物流の生産性向上などを進め、持続可能な物流体系の構築にお客さまと共に取り組んでいます。

モーダルシフトの取り組み

国内輸送、特に長距離輸送において、トラック輸送から鉄道輸送※への変更をお客さまにご提案しています。2024年度の実績では、トラックのみの輸送から鉄道輸送を組み合わせることで、CO2排出量を約7割削減することができました。今後も引き続きモーダルシフトを進め、CO2排出量の削減に貢献していきます。

モーダルシフトによる 鉄道輸送併用のイメージ (一例)

※ 鉄道輸送は、同一区間をトラックで輸送した場合と比べ、CO2排出量を約11分の1以下に削減できる効果が期待されている(国土交通省・2023年度試算による)



太陽光発電の導入

国際物流事業では、自社施設の屋根を利用した太陽光発電の導入を進めています。2022年度には、NNR GLOBAL LOGISTICS (M) SDN.BHD. (マレーシア) のペナンオフィス及び倉庫で太陽光発電を開始しました。これを皮切りに、2024年度は関東ロジスティクスセンター、りんくうロジスティクスセンター、成田ロジスティクスセンター、NNR GLOBAL LOGISTICS (THAILAND) CO.,LTD. (タイ) のバンコク倉庫でも太陽光発電を導入しました。また、再生可能エネルギーを利用した電力の導入も行っており、2024年度は国際物流事業本部電力使用量の約12%を再生可能エネルギーに切り替えました。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

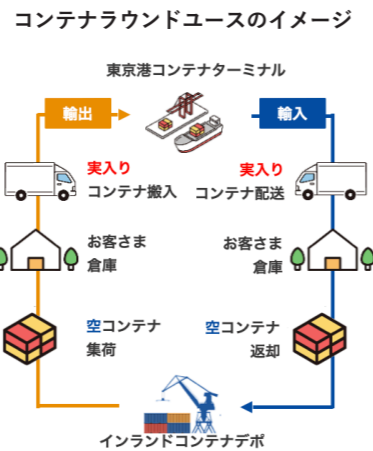
▶ chapter 5 会社データ

脱炭素化社会実現に向けた取り組み③

物流業における取り組み②

インランドコンテナデポを利用したコンテナラウンドユースの取り組み

輸入貨物の配送後、空コンテナを港に返却せずに最寄りのインランドコンテナデポ（輸送基地）までの返却とすることで、空コンテナの輸送距離を短くすることが可能です。さらに、輸出においても空コンテナをインランドコンテナデポから集荷することで輸入と同様に空コンテナの輸送距離を短縮することができ、これを「コンテナラウンドユース」と呼んでいます。この取り組みにより輸出入におけるCO2排出量の削減や労働力不足の緩和、2024年問題への対応などが期待されています。2024年度は前年度実績を4割上回る1,718TEUのコンテナラウンドユースを実施しました。2025年度以降もさらに取扱量を増やす見込みです。



SAFの導入推進

航空業界では、2050年のカーボンニュートラルを目指した取り組みの1つとして、持続可能な航空燃料「SAF※」の導入が進められています。現状は運輸の安全性の観点から、SAFは従来の燃料と上限50%までの範囲で混合するよう規定されていますが、各航空機メーカーは2030年までに100% SAFを使用可能とする目標を公表しています。日本政府は2030年に国内SAF10%供給を目標として掲げており、世界各国においてもSAFの需要は高まっています。国際物流事業本部では、2023年7月より全日本空輸(株)のSAF利用プログラム「SAF Flight Initiativeプログラム」に参加し、航空貨物輸送におけるCO2排出量の削減に取り組んでいます。2023年8月には、中国・上海向けの出荷において、同プログラムを利用しました。同プログラム利用により、第三者機関の認定を受けたCO2削減証書を受領しました。

※SAF (Sustainable Aviation Fuel)：植物や廃油などから作られた持続可能な航空燃料。既存のジェット燃料と比べ、CO2排出量を80%程度まで削減可能

再生可能エネルギー活用の取り組み

電源開発事業(オンサイトPPA)への参入

西鉄自然電力合同会社では、オンサイトPPA事業を通して、太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用による脱炭素化や防災力強化のさらなる推進を図るとともに、再生可能エネルギーによる地域振興策に連携して取り組んでいます。



▲直方市におけるオンサイトPPA

系統用蓄電池事業への参入

西鉄自然電力合同会社では、増加する再生可能エネルギーに対する調整力の供給を目的に系統用蓄電池事業に参入しました。2024年度に蓄電所「バッテリーハブ宇美」、「バッテリーハブ飯塚」2箇所の運用を開始しました。同蓄電所は、蓄電容量：4.659MWh（出力：1.92MW）と一般家庭約400世帯の1日の使用量に相当する電力量の需給バランスを保つ能力を供給しています。蓄電池を活用したエネルギーマネジメントの取り組みを通じ、再生可能エネルギーの効率的な活用と安定供給に寄与し、サステナブルな脱炭素社会の実現に貢献します。



▲バッテリーハブ宇美

Topics エネルギー領域におけるロードマップ(イメージ)



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

循環型社会実現に向けた取り組み

九州メタル産業㈱における取り組み

自動車リサイクル事業

当社グループの九州メタル産業㈱では、自動車メーカーよりASR※ 再資源化事業者として認定を受け、2012年10月1日より自動車リサイクル事業を開始しました。これまで行っていた廃自動車リサイクル事業（破碎業務等）を発展させ、ASRに含まれる金属類のほぼ全てを回収し、製品・再資源化するなど、国内でも屈指の高度な選別技術を確立しています。

また、ASRから金属類を回収した後のダストはセメント会社で燃料やセメント原料として全量使用されており、取り扱う廃自動車は100%リサイクルされています。

2024年3月から2025年1月まで、自動車リサイクルにおける再生材利用拡大を目指し、環境省が推進する自動車部品解体プロセス等の技術実証事業に参画しました。

引き続き、自動車産業におけるサーキュラーエコノミー実現に貢献してまいります。

※ASR (Automobile Shredder Residue) : 使用済み自動車を破碎し金属類を回収した後に残る廃棄物 (シュレッダーダスト)



▲ミックスメタル連続選別機によるアルミ選別



▲廃自動車を破碎し再利用される鉄



実証事業に関する詳しい情報は
こちらをご覧ください

商業施設での取り組み

衣料品回収ボックス「PASSTO (パスト)」導入

当社商業施設（ソラリアプラザ、ソラリアステージ、レイリア大橋、レイリア久留米、チャチャタウン小倉）では、2023年12月より衣料品回収ボックス「PASSTO (パスト)」を導入しています。

パストは、不要品を回収し、最適な使い道を選別、不要品を再活躍させる「リユース・リサイクル」の仕組みで、回収された衣料品や雑貨は仕分けされたのち、約1割は国内でリユースされる他、約8割は海外へ輸出されています。

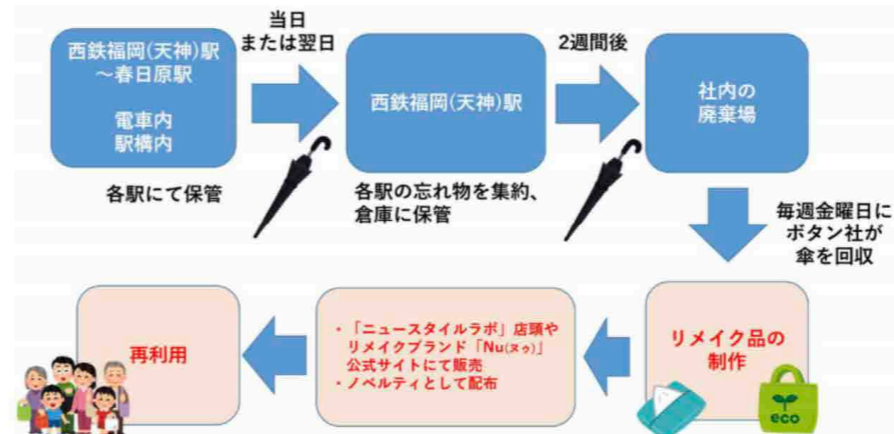


▲PASSTO (パスト)

西鉄電車の取り組み

電車のお忘れ物（傘）を活用したリメイク品制作

2024年7月より、合同会社ボタンと共同して環境負荷の低減ならびに障がいのある方の就労機会創出の一環として、当社鉄道施設や電車内で拾得され、持ち主が見つからず保管期間が過ぎた忘れ物の傘を活用してエコバックなどのリメイク品を制作し、再流通させる取り組みを行っています。



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶特集 ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一座談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

安全マネジメント体制

横断組織である西鉄グループ安全マネジメント委員会を設置し、「西鉄グループ安全に関する基本方針」に基づき、当社グループの安全に関する事項を審議・決定し、事業全体の安全性向上を図っています。

委員会の下部組織として分野ごとに3部会と、各部会を組織横断的に機能させる総合安全部会、さらにその下に10専門部会を設けています。

このほか、社長執行役員をはじめ、各部門・各グループ会社の代表者が参加する「西鉄グループ安全推進大会」を毎年開催し、全従業員の安全意識の高揚および安全に関する情報共有の深化を図っています。

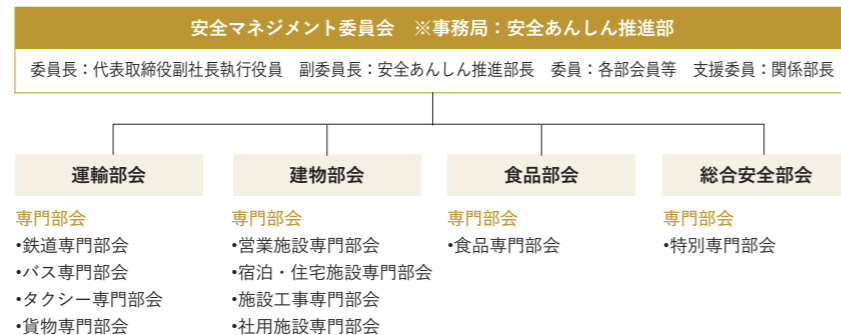
● 西鉄グループ安全に関する基本方針 (2006年9月21日制定)

私たちは、西鉄グループ企業理念において「安全の確保」を第一の使命としています。私たち一人ひとりが、自らの責任と役割を自覚し、お客さまからの信頼に応え、社会的責務を果たしてまいります。

- (1)安全を何より最優先する組織・風土の構築
- (2)安全マネジメント体制の確立と継続的改善
- (3)安全を支える従業員の能力向上と健康の確保
- (4)お客さまの安全を第一に考えた商品・サービスの提供
- (5)お客さまとの安全に関するコミュニケーションの推進
- (6)基本方針に基づく施策の確実な実施と法令の遵守

以上の方針に基づき、「安全の確保」に向けた不断の努力を重ねてまいります。

西鉄グループ安全マネジメント体制

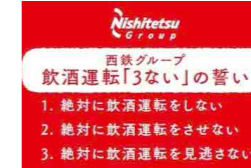


にしてつグループにとって「安全の確保」は、最も優先される事項です。すべてのステークホルダーの皆さまに“あんしん”していただくために、その取り組みを継続していかねばならないと考えています。

飲酒運転の撲滅に向けた取り組み

バス・鉄道をはじめとする公共交通を担う当社グループにとって、お客さまの安全確保は第一の使命です。

交通のプロとして、自ら飲酒運転をしないだけでなく、周囲で飲酒運転が発生しないよう、積極的に働きかけていくという意識を持つため、『飲酒運転「3ない」の誓い』を定めています。毎月1日を飲酒運転撲滅強調の日と定め、就業中には当社グループのすべての職場で「3ない」の誓いの唱和を行っています。唱和にあたっては、各人の飲酒運転撲滅に向けた取り組みの紹介など、当事者意識を高める工夫もしています。



アルコールチェック体制

運輸部門の運転士および車掌に対して、出退勤点呼時に管理者立ち会いのもと、アルコールチェックを行い管理者が検知記録(顔写真・計測値)をチェックする体制をとっています。また、運輸部門以外の全事業所でも、業務で運転する前には、アルコールチェックを義務付けています。このほか、出勤時の酒気帯び運転を防ぐため、バス・鉄道部門の乗務員などには携帯型アルコール検知器を貸与し、自宅での自主検知を指導しています。



▲管理者によるアルコールチェック

社内教育・周知体制

社長執行役員をはじめ、各部門・各グループの代表者等が参加する「西鉄グループ飲酒運転撲滅大会」を毎年実施し、飲酒運転撲滅に向けた機運を高めています。

また、自社で作成した飲酒運転撲滅啓発のための映像や、飲酒運転に対する厳罰化や体内のアルコールの分解時間などを掲載したハンドブック等を活用し、意識の啓発に努めています。



▲西鉄グループ飲酒運転撲滅大会

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

安全を守る取り組み(鉄道)



鉄道事業における安全の取り組みの詳細な情報は
こちらから



2025年度安全目標・安全重点施策

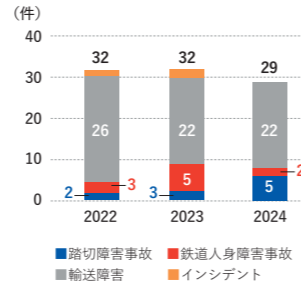
● 安全目標

1. 安全を最優先に考え、行動する
2. 責任事故ゼロ、責任インシデントゼロ
3. 鉄道係員に起因する輸送障害ゼロ
4. 車両・鉄道施設に起因する輸送障害の防止・減少

● 安全重点施策

1. 安全意識の浸透
2. ヒューマンエラーと事故・故障の防止
3. ヒヤリハット情報の収集・活用の強化
4. 安全を支えるための人材の育成
5. 災害・テロ等への備えと発生時の対応
6. 施設、設備による安全対策強化

鉄道運転事故・輸送障害等



安全管理

PDCAサイクルによる安全管理

安全重点施策の確実な実施と継続的な改善を図るため、PDCAサイクルによる安全管理を行っています。安全推進会議等の会議体での議論・情報共有のほか、安全管理規程で定める各責任者の安全監査を実施し、安全管理体制が適切に運営され、有効に機能しているか確認を行い、実効性を高めています。

社長執行役員・安全統括管理者による職場巡視

社長執行役員および安全統括管理者が職場を巡視し、関係法令等の遵守と安全最優先の徹底を図るとともに、各職場における安全に関する取り組みの実施状況を確認しています。



▲社長執行役員による職場巡視

運輸安全マネジメント評価

2022年9月に国土交通省による運輸安全マネジメント評価が実施されました。経営トップ(社長・安全統括管理者)を始め、社員が一丸となって取り組んでいることを評価いただきました。

安全教育

鉄道グループ全体での総合訓練の実施

異常時のすみやかな復旧と正確な情報収集および復旧に際しての指揮命令系統の確認と習熟を図るため、グループ会社を含む鉄道事業本部全体で、西鉄筑紫車両基地において総合訓練を実施しています。



▲大規模地震対応訓練(乗客避難誘導)

運転シミュレータによる教育

電車教習所では、運転シミュレータによる踏切内への自動車の進入や悪天候などを想定した訓練に加え、2024年度から新たに設置した車掌シミュレータを活用し、ホーム上での旅客と車両の接触等を想定した訓練を実施しています。



▲シミュレータによる訓練

安全投資

2024年度設備投資の状況

2024年度は約66億円の設備投資を行いました。車両購入(9000形)や車両再生工事(7000形、7050形)、西鉄福岡(天神)駅へのホームドア設置などの安全投資が約48億円、自動改札機の代替などのサービス向上投資が約6億円、連続立体交差事業が約3億円、その他としてロングレール化に伴う投資などが約8億円でした。

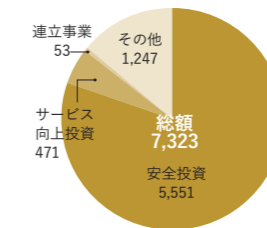


▲西鉄福岡(天神)駅ホームドア

2025年度設備投資計画

2025年度は約73億円の設備投資を計画しています。車両購入(9000形)や車両再生工事(7000形、7050形)、西鉄福岡(天神)駅へのホームドア設置などの安全投資約56億円を計画しています。

2025年度 投資計画 (百万円)



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

安全を守る取り組み(バス)



バス事業における
安全の取り組みの
詳しい情報は
こちらから



2025年度安全目標・安全重点施策

● 安全目標

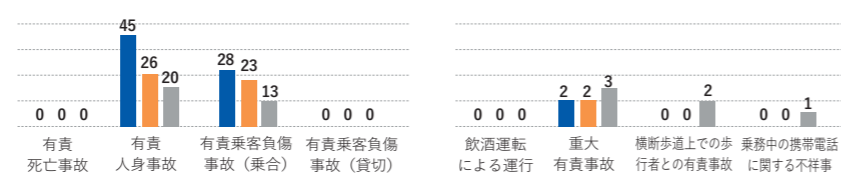
1. 有責事件数の削減（西鉄バスグループ全体：213件以下）
2. バス事業における総合安全プランに基づく目標の達成

| | |
|--------------------|------------------|
| 1 有責死亡事故 | ゼロ |
| 2 有責人身事故 | 37件以下 |
| 3 有責乗客負傷事故 | (乗合)10件以下 (貸切)ゼロ |
| 4 飲酒運転による運行 | ゼロ |
| 5 重大有責事故 | 6件以下(特に乗客負傷事故) |
| 6 横断歩道上での歩行者との有責事故 | ゼロ |
| 7 乗務中の携帯電話に関する不祥事 | ゼロ |

● 安全重点施策

1. 安全体質の底上げ
2. 完全輸送運動の積極的展開
3. 事業所の特性に基づいた管理者による継続的な指導・教育・改善確認
4. 乗務員の健康に起因する事故の防止

西鉄バスグループの総合安全プラン取り組み状況



安全管理

輸送の安全確保に係る年間スケジュールの策定および安全マネジメント体制の構築

西鉄バスグループ全体の輸送の安全性を向上するため、合同研修会・訓練等の年間スケジュールを策定し、各種取り組みを推進しています。また、バス専門部会の下部組織として、各種委員会や会議体を設けており、輸送の安全確保を図る体制を構築しています。

安全統括管理者による職場巡視

安全統括管理者がグループ会社、関連会社を含めた全職場を巡回し、コミュニケーションの向上および関係法令等の遵守と安全最優先の原則の徹底を図るとともに、各職場における安全に関する取り組みの実施状況を確認しています。

内部監査による運輸安全マネジメント実施状況確認

安全管理体制が効果的に機能しているか等、運輸安全マネジメントの実施状況を確認するため、安全統括管理者、全16営業所長等を対象に内部監査を実施しています。監査結果を各事業所へフィードバックし、さらなる安全管理体制の強化に繋げています。

安全教育

バスグループ全体での合同研修・訓練の実施

異常・緊急時の対応力向上および関係機関との連携強化を図るため、バスジャック対応訓練等、様々な研修会を実施しています。



▲バスジャック対応訓練

バス研修センターや営業所での指導・教育

乗務員の技術力向上のため、バス研修センターにおいて、各種研修等を実施しているほか、営業所においても、イエローストップ・交差点右左折時の一旦停車・3秒ルール等の実践状況を確認するため、ドライブレコーダー映像でのチェックや街頭指導の強化、個人の運転特性に応じた指導を行っています。

完全輸送運動の積極的展開

1969年から、事故ゼロを目標とした小集団活動「完全輸送運動」を実施しています。この運動は、小集団に分かれて討議を重ね、乗務員自らがお客さまへの対応や安全についての問題点を指摘し、その解決策を考え、実行し、自らチェックすることで、よりよい対策を考えていくというものです。また、完全輸送運動を通して、お客さまを「安全・確実・親切」に目的地までお送りするCS向上も目指しています。

安全投資

輸送の安全確保に向けた車両整備の状況

車両への各種安全装置の設置など、ハード面からも輸送の安全確保に向けた取り組みを推進しています。具体的には、「衝突被害軽減ブレーキ」、「ドライバーモニター」、「ドライバー異常時対応システム(EDSS)」等の導入を進めています。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

安全を守る取り組み(建物)

安全マネジメント委員会建物部会の取り組み

建物の火災や地震などの災害は起こってしまえば重大な被害が想定されます。安全マネジメント委員会の建物部会では、適切な建物管理を行えるよう点検や訓練、情報共有等を図り、建物の安全管理を徹底しています。

緊急時における安全管理意識向上への取り組み

多くのお客さまが集まる商業施設やオフィスビル、遊戯施設では、防火・防災訓練を実施しています。当社グループが所管する各施設では、テナントさまや従業員、ビル管理会社と共同して毎年訓練を実施し、火災や地震などの緊急事態に備えています。



▲消防訓練【西鉄イン天神】



▲停止した遊具からの脱出【だざいふ遊園地】



▲建物部会による安全巡視【マンション新築工事現場】(足場の設置やクレーン作業の状況確認)

施設巡回点検の実施

当社グループでは施設の管理に関する社内規則を制定し、これに基づき各施設において巡回点検を実施しています。グループの施設を中心とした過去の事故事例を教訓に、安全確保に日々取り組んでいます。また、各部・各社のトップが巡視を行い、施設の課題を把握し、施設の安全に関する風土づくりと改善に向けた取り組みを推進しています。

安全を守る取り組み(食品)

にしてつグループの「食の安全」を守るために

毎月の自主衛生点検を実施し、各事業所の衛生管理を強化しています。2021年に導入した「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」を全社で実施しています。また、外部の取引先や協力会社を訪問し、衛生管理状況の確認や責任者との情報交換を行うことで、安全意識の向上を図っています。



店舗での衛生管理

手洗いの徹底

衛生管理の基本である手洗いは、細菌除去を目的とした衛生的な手順をマニュアルに定め実施しています。さらに、食材や調理器具への二次汚染防止のため、こまめに手洗いを行っています。



調理器具の洗浄・消毒

食材を介した汚染防止のため、包丁やまな板、ダスター(ふきん)などは用途別に色を決め使い分けています。さらに包丁やまな板は、洗浄後のアルコール消毒を徹底しています。



食材の品質管理

使用食材の賞味・消費期限の確認を徹底するとともに、開封後の使用期限を独自に設定し管理することで、安全な食品の提供に努めています。



外部機関による厨房衛生点検の実施

専門家による厨房、食品工場の点検を行い、衛生状況の確認や改善指導を行っています。



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 **ワンピル、始動。**

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

アジアで最も創造的な都市「福岡」の実現

当社グループでは、天神地区をはじめ福岡都心部の価値向上のため、様々な開発プロジェクトに参画・推進しています。特に天神地区においては、エリアマネジメント団体「We Love 天神協議会」と協働し、「にぎわい」と「快適さ」の面からまちづくりを推進しています。

主な開発プロジェクト



1 福岡家庭裁判所跡地における複合開発プロジェクト

- 2030年開業予定
- 階数：地下1階、地上23階
- 延床面積：48,400㎡

※2024年1月18日、野村不動産、東京建物、九電不動産および当社で構成される企業グループが財務省福岡財務支局が行う「国有財産の二段階一般入札（福岡家庭裁判所跡地）」において落札



2 (仮称)天神二丁目南ブロック駅前東西街区プロジェクト

- 2030年度頃の開業を目指しプロジェクト推進
- 約2.2ha (東西街区区域面積)



3 (仮称)天神一丁目15・16番街区計画

- 2030年以降の実現を目標に検討
- 約2.5ha (敷地面積：約1.2ha)



4 九州大学箱崎キャンパス跡地地区土地利用事業

- 約28.5ha (一般定期借地含む)

※2024年4月18日、住友商事㈱を代表企業として当社含む8社で構成される企業グループが「九州大学箱崎キャンパス跡地地区土地利用事業者募集」において、優先交渉権者に選定

天神地区における「にぎわいづくり」、「快適さ追求」

天神憩いの時間と空間プロジェクト

大型の再開発が進む天神地区において、道路を歩行者専用道路にして開放感のある屋外で、ベンチやテーブルなどを使い、今後の屋外空間活用の可能性を検討しています。



TENJIN SHOWTIME

面的な広がりを持つ天神地区の特徴を活かし、街の様々な場所をステージに見立て、演奏やパフォーマンスを行い、出演者のみならず来街者も天神で非日常的な時間を過ごすことができます。



※国土地理院地図を基に当社加工

帰宅困難者対策一時滞在施設を活用した

避難所開設・運営訓練

天神地区で災害が発生した際の帰宅困難者を受け入れを想定し、ソラリアプラザ（商業施設）にて、「帰宅困難者対策一時滞在施設を活用した避難所開設・運営訓練」を実施しました。



天神おもてなしMAP

天神地区の商業施設に設置している「おもてなし交換台」や「ベビー休憩室」等の設置情報を掲載したデジタルマップ「天神おもてなしMAP」を作成しています。



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

にしてつグループは、地域との関係を大切にし、事業活動を通して地域の持続可能な発展に寄与しています。

地域特性に応じた個性あふれる 西鉄沿線のまちづくり

連続立体交差事業を機としたまちづくり (桜並木駅、春日原駅、白木原駅、高架下)

2003年の着工から約20年、2022年8月に雑餉隈駅から下大利駅までの5.2kmの区間が高架化され、沿線地域の一体的なまちづくりが可能となりました。また、2024年3月には新駅である桜並木駅が開業しました。今後も沿線地域の魅力向上に向け、活力あるまちづくりを推進します。



▲天神大牟田線路線図(国土地理院地図を基に加工)



▲桜並木駅店舗



▲春日原駅店舗イメージ

商業施設の開発

株式会社スピナでは、北九州市八幡東区に「皿倉テラス」をオープンいたしました。当施設は、「日々の生活の中で“楽しさ”“美味しさ”“くつろぎ”に出逢える場所」をコンセプトとし、日常的に足を運んでいただける店舗をラインナップしています。今後も北九州地区にお住まいの方々に快適な暮らしを提供し、地域の活性化や賑わい創出に貢献してまいります。

「鉄道バス沿線」におけるまちづくりイメージ (まち夢ビジョン2035)

都市機能のコンパクトな集積と持続可能なモビリティ体系を、地域や多様なパートナーと共創し、地域の文化や自然など独自性に価値を見出し、地域性（ローカライズ）を活かした地域のまちづくりをサポートします。



天神地区

多種多様な人々が集い交わり、ビジネス・文化・アート・学術等の創造性あふれるまち



鉄道バス沿線

コンパクトな都市機能集積と持続可能なモビリティ体系を備え、ローカルな魅力を活かした個性あふれるまち



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウィンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

沿線地域の観光資源発掘

観光列車の運行

地域を味わう旅列車「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」や太宰府観光列車「旅人-たびと-」、柳川観光列車「水都-すいと-」を運行しています。天神大牟田線沿線地域が持つ観光資源や魅力を、観光列車を通じて発掘・発信していくことで、沿線地域の活性化・価値向上を目指しています。



▲THE RAIL KITCHEN CHIKUGO



▲柳川観光列車「水都-すいと-」

Topics

THE RAIL KITCHEN CHIKUGOと地域の関わり

● 筑後川花火大会に合わせた特別コースの運行

毎年8月に開催される筑後川花火大会に合わせ、通常と異なる夜の時間帯に特別な運行を実施しています。筑後川橋梁上に停車し、快適な車内から料理を楽しみながら川面に映る花火を鑑賞いただきました。



FUKUOKA OPEN TOP BUSの運行

福岡市内の主要観光スポットや天神地区・博多地区・シーサイドエリアなどの都市間を周遊する屋根のない2階建てバスを運行しています。約3.2mからの眺望は、普段と異なる福岡の街並みを味わうことができ、自然や風を感じながら、都市観光を満喫できます。乗るだけで楽しめる、アトラクションのようなバスであり、新たな都市観光資源として福岡の魅力向上に取り組んでいます。



▲FUKUOKA OPEN TOP BUS

「株Good Local 九州」設立

当社、(株)ふくおかフィナンシャル・グループ、西日本電信電話(株)、三菱地所(株)、ラブエフエム国際放送(株)の5社は、2025年4月1日に『株Good Local 九州』を設立しました。「ひとと、まちとともに、希望が生まれ続ける地元をつくる。」ことを目的に異なるノウハウやリソースを持つ5社の共同出資により設立したまちづくり会社です。地域産業支援や住民のウェルビーイング向上等、地域課題解決に向けた伴走支援を行う交流創出事業と、地域の拠点施設の開発・運営を行う拠点運営事業の相乗効果により、地域をバリューアップし、持続可能なまちづくりをめざします。地域の活性化に取り組む自治体や関連団体、事業者、住民の皆さまとともに、地域に密着した事業を展開することで、九州各地の持続的な発展に貢献してまいります。

「株Good Local 九州」の
詳しい情報はこちらから



HOTEL CULTIA 太宰府(ホテル・カルティア太宰府)

太宰府天満宮周辺の古民家を改修・活用し、趣のある上質な飲食・宿泊施設とすることで、本施設を拠点としたまちの滞在時間の増加や回遊性の向上を図ることに加え、周辺施設等と連携した宿泊者限定の体験プログラムを実施することにより、太宰府ブランドの向上、更なる賑わいづくりを目指しています。

▲HOTEL CULTIA太宰府
(古香庵棟)

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一談話会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

持続可能な交通ネットワークの構築

MaaSの取り組み（Mobility as a Service）

MaaSとは、電車、バス、飛行機、船、あらゆる移動サービスを最適に組み合わせ検索・予約・決済等を一括で行うサービスです。当社グループは九州が一体となってMaaS施策を推進する「九州MaaS」に参画しています。官民や事業者など様々な枠組みを超え、お客さまの利用シーンに合わせたシームレスな移動サービスを持続的に提供することを目指しています。



▲九州MaaS

AI活用型オンデマンドバス「のるーと」の展開

「のるーと」は、お客さまのリクエストに応じ、人工知能（AI）がルート进行を計算することで、お客さまが“移動したいタイミング”で“移動したい区間”を素早く移動できる”新しい公共交通サービスです。AIが利用データを蓄積することで、効率的な運行ルートを学習するという特徴に加え、アプリ・電話等で配車できることやミーティングポイント（のりば）を細やかに設置できるなどの特徴を有しており、移動ニーズが分散したエリアにおいても利便性と運行効率性の両立が可能な新たな交通モードです。



▲AI活用型オンデマンドバス「のるーと」

自動運転バスの社会実装に向けた実証

乗務員不足への対応や将来にわたる移手段の確保に向け、2020年から、自動運転バスの実証実験を進めています。現在の自動走行機能のレベルは「レベル2※」ですが、福岡のまちを完全自動運転のバスが駆け巡っている未来に向け、研究を進めてまいります。



▲自動運転バス実証実験

※アクセルやブレーキなどを一定条件下で自動制御し、運転士が常時運転席にて安全確認を行い、適宜介入操作を行う

公共交通利用促進に向けた取り組み

持続可能な公共交通サービスの提供に向け、バス事業での「こども無料バス」や鉄道事業での「小児用nimoca限定 電車運賃100%ポイント還元キャンペーン」など、ご家族・お友達との外出機会の創出や将来のにしてつファンづくりに努めています。



▲小学生以下対象
こども無料バス

持続可能な事業運営体制の構築

駅集中管理方式の拡大

当社ではサポートセンターから駅の安全を見守り、駅係員が巡回しお客さまをサポートする体制である、駅集中管理方式を導入しています。

2025年4月より、新たに天神大牟田線3駅、貝塚線5駅を駅集中管理方式の対象としました。これによって、天神大牟田線全63駅中37駅、貝塚線全10駅中5駅が対象となりました。

バス・タクシーグループ会社の再編

乗務員不足や輸送人員の減少、観光需要への柔軟な対応等、様々な課題に迅速に対応するため再編を実施しています。

| 実施時期 | 対象会社 | 協定再編内容名 |
|------------|-------------------------|------------|
| 2025.6 | 北九西鉄交通(株)[旧北九西鉄タクシー(株)] | タクシー事業等の廃止 |
| 2025.10 | 西鉄バス宗像(株)、西鉄バス二日市(株) | 西鉄本体への吸収合併 |
| 2026.4(予定) | 西鉄観光バス(株) | 西鉄本体への吸収合併 |

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶特集 ウンピル、始動。

▶chapter 1 イントロダクション

▶chapter 2 価値創造ストーリー

▼chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶chapter 4 事業別概要

▶chapter 5 会社データ

沿線自治体との連携強化

沿線自治体と包括連携協定やまちづくり協定を締結し、まちづくりに資する取り組みを推進しています。

協定締結先

| 自治体 | 締結日 | 協定名 |
|-------------|------------|--------------------------|
| 佐賀県 | 2016年10月締結 | 包括連携協定 |
| 福岡県久留米市 | 2018年7月締結 | まちづくりに関する包括連携協定 |
| 福岡県太宰府市 | 2020年9月締結 | まちづくりに関する包括連携協定 |
| 福岡県春日市、大野城市 | 2021年5月締結 | 連続立体交差事業を機とした官民連携まちづくり協定 |
| 福岡県北九州市 | 2022年5月締結 | 包括連携協定 |

Topics 北九州市八幡東区における買い物困難者への支援の取り組み

● 移動スーパー「あっとスピナ」(株西鉄ストア)

北九州市八幡東区において、日々の暮らしに必要な生鮮品や惣菜などを含む食料品や日用雑貨など約300品目を、移動販売車に乗せて地域内の各拠点を巡回し販売しています。

1か所あたり週1回の頻度で、木曜日と日曜日を除き10時から16時頃まで、ご利用を希望されるお客さまのご自宅近くで停車販売します。

今後も地域スーパーとしての役割を果たし、買い物困難者への支援に取り組んでいきます。



▲移動販売スーパー「あっとスピナ」出発式

多様な世代が共生する地域づくり

交通、住宅開発、商業施設運営等のノウハウを活かし、様々な世代が繋がるまちづくりを進めています。

次世代コミュニティタウン「あすみ」

2015年11月、天神大牟田線三国が丘駅西側に新しいまち「あすみ」が誕生しました。天神まで急行で約30分という好立地の駅前に12.6haのまちが広がり、敷地には戸建住宅のほか、分譲マンション、シニアマンションがあり、子育て世代からミドル、シニアまで多世代が暮らしています。



▲あすみ

「つながるまち」をキーワードに、多世代コミュニティの活性化と安心・安全な生活環境の実現を両立し、維持・発展させていくタウンマネジメントを重視した一体的なまちづくりを住民と協働で推進しています。

多世代交流拠点の新しいかたちのシニアマンション (アイランドシティ サンカルナ香椎照葉)

福岡市が策定した“超高齢社会対応型”健康ネクスタウン計画に基づき、当社がアイランドシティにおいて進める商業・交通・住宅の一体開発を行うまちづくりプロジェクトです。

分譲マンション「センターマークスタワー」の竣工を皮切りに、西鉄バス「アイランドシティ自動車営業所」、賃貸マンション「ラクレイス香椎照葉」のほか、スーパーマーケット、飲食店などが続々とオープンしています。

なかでも、シニアマンション「サンカルナ香椎照葉」は、多世代交流のまちの拠点として、各マンションを繋ぐコミュニティガーデンやレストラン、ライブラリー等の共用施設を設置し、シニア世代とお子様連れのご家族等の多世代間で交流が生まれる場を目指しています。



▲サンカルナ香椎照葉 等

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

異国のまちに、夢を描こう。

当社『海外開発事業部』は2015年のベトナムでの第1号案件を皮切りに、各国の現地開発事業者とともに着実な実績を積み上げ10年が経過しました。「グローバル企業としての西鉄のブランド価値を高め、事業拡大につなげる」「現地での良質な不動産開発を通し、地域の持続的な発展に寄与する」というビジョンに基づき<新興国（ASEAN）>と<先進国（アメリカ）>でそれぞれの特性に応じた事業を展開しています。ASEANでは濃やかな関与・地域密着で分譲住宅事業を軸に、アメリカでは収益不動産事業を軸に展開中です。

海外開発事業部が創っているのは“建造物”ではありません。“まち（タウンシップ）”です。常に“地域”と共に成長してきた当社のノウハウを海外で活かし、「あんしん」と「信頼」そして「高品質」の西鉄（NNR）ブランドを提供し続け、さらなる“まちづくり”を推進していきます。



2025年3月時点

各国の主な開発プロジェクト（2025年3月現在）



●〈ベトナム〉ウォーターポイント

- 所在地：ロンアン
- 種 別：分譲マンション・分譲戸建
- 戸 数：6,224戸・2,615戸
- 竣 工：2020年～



●〈インドネシア〉ゾラ

- 所在地：南タンゲラン
- 種 別：分譲戸建
- 戸 数：582戸
- 竣 工：2020年～



●〈タイ〉ザクレスト

- 所在地：バンコク
- 種 別：分譲マンション
- 戸 数：418戸
- 竣 工：2022年



●〈フィリピン〉ミドリテラス

- 所在地：アンティポロ
- 種 別：分譲マンション
- 戸 数：462戸
- 竣 工：2024年～



●〈アメリカ〉シャーロット

- 所在地：ノースカロライナ州シャーロット
- 種 別：賃貸住宅
- 戸 数：389戸
- 竣 工：2026年～（予定）

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 **ワンピル、始動。**

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

にしてつグループでは、お客さまの声に積極的に耳を傾け、潜在的なニーズに応える商品・サービスの提供や改善活動をし、お客さまに選ばれ続ける企業グループを目指しています。

お客さま満足(CSの推進)

当社グループでは、「西鉄グループCS基本方針」をもとにグループ一丸となってCS向上に取り組んでいます。お客さまの声に積極的に耳を傾け、潜在的なニーズに応える商品・サービスの提供や改善活動をし続けることが、当社グループの目指す真の「お客さま満足」につながるものと考えています。

● 西鉄グループCS基本方針 (2008年10月30日制定)

私たちは、常にお客さまの視点に立ち、「お客さまの喜びを私たちの喜び」として「お客さまの期待の創造」を実践していくことにより、お客さまに選ばれ続ける西鉄グループを目指してまいります。

1. お客さま満足推進体制の構築と継続的な改善
2. お客さまとの積極的なコミュニケーションによる信頼関係の構築
3. お客さま満足の期待をこえた商品・サービスの創出
4. お客さま満足向上のための自主的な課題の発見と解決への取り組み

にしてつグループCS向上の取り組み

窓口・電話・メールによる案内サービスの拡充 お客さまの声に対する取り組み

1966年に総合案内所を設置して以来、お客さまの利便性向上に努めるだけでなく、お客さまからご意見・ご要望・お褒め等の貴重な声をいただく場として機能してきました。

お客さまから頂戴したご意見は「お客さまの声」として、受付後速やかに関係部署または関係するグループ会社へ連絡し、事実関係の調査を行います。必要に応じてお客さまへ回答するとともに、改善への取り組みや従業員への指導教育を行っています。また、特に周知すべきお客さまの声については毎月イントラネットで社内共有することでCS推進に向けた問題意識を啓発しています。



▲西鉄お客さまセンター



▲西鉄インフォメーションセンター

西鉄グループお客さま案内窓口CS調査の実施

主な旅客対応窓口の接遇レベル確認のため、年2回モニタリング調査を実施し、結果を数値化・順位付けし上位窓口を表彰しています。また調査結果を元に、グループ合同で教育担当者、窓口担当者など階層別に研修を行い、CS意識とスキルの向上を目指しグループ内で切磋琢磨しています。

西鉄ホテルグループ「全国おもてなしコンテスト」の実施

西鉄ホテルグループでは、各ホテルの代表者が“おもてなしの心”、“接客レベル”を競い合う「全国おもてなしコンテスト」を実施しています。上位入賞者を「おもてなしマイスター」に任命し、マイスターを中心にお客さまが快適にお過ごしいただける空間とサービスの提供ができるホテルを目指しています。

西鉄電車会員制モニター制度「モニたす」

Webモニターの方々にアンケート調査やイベント・座談会等を開催し、西鉄電車に対するニーズや要望をタイムリーに把握する制度を構築しています。また、電車教習所の見学会等のイベントを開催し、西鉄電車に対する理解を高めていただく機会創出にも努めています。



Topics

お忘れ物管理システムを更新

2025年1月よりLINEを活用した忘れ物管理システムを導入しました。

バスや電車の車内、商業施設(ワンピルは2025年4月導入)6施設にてお預かりした忘れ物を画像データで登録し管理しています。お客さまからの問い合わせに対しオペレーターは画像を見ながら忘れ物の照合をするため、問い合わせ時間の短縮や、返却率の改善が図られています。またお客さまはLINEからの問い合わせも可能となるなど、コミュニケーションチャンネルが増えたことでサービス向上にも繋がっています。



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

にしてつグループは、従業員の多様性を尊重し、働く喜びや生きがいを実感できる「人を活かす経営」を目指し、従業員の自律的な成長への支援と多様な人財がその能力を存分に発揮できる環境の整備を進めています。

人財育成方針

当社グループでは、「西鉄グループで働く従業員のありたい姿」を「西鉄グループの未来を自ら創る人財」として、その人財に求められる行動を定め、その人財の確保や育成に向けた取り組みを行っています。また、従業員が自律的に学び続ける姿を実現するため、制度の改革や各種人財育成の取り組みを行っています。

西鉄グループで働く従業員のありたい姿

● 西鉄グループの未来を自ら創る人財

自ら気づき、考え、行動する

事の本質は何か、ビジョン・目的・目標の達成のためになすべきことは何か、自分たちの成長に必要なことは何か、周囲に貢献できることは何か。自ら気づき、目指す未来から逆算して考え、主体的に行動する自律の姿勢。ありたい姿の礎として、日々実践しましょう。

気概と情熱をもって行動する

「昨日よりも今日、お客さまや周囲の人たちにとってより良い社会を実現したい」。目指す未来を意識した一日一日の小さな挑戦の積み重ねが、大きな挑戦を可能にします。互いを高めあいながら、失敗を恐れず前向きな気持ちで果敢に挑戦し、やり抜くことで、目指す未来を実現していきましょう。

多様な価値観と協働する

年齢、性別、部門内外また社外の異業種の方たちなど、自分と違う環境にいる人、異なる価値観や経験を持つ人達との交流は、新しい物の見方や考え方を発見するチャンスです。多様な人達との積極的な交流と対話を通じて、互いの多様性を尊重し、引き出し、活かしながら、ビジョンへの共感を増やし、新たな価値を創造していきましょう。

社会、お客さまが求める価値を追求する

社会、地域、お客さまに寄り添った濃やかなサービスを提供する。その実現のために、目指す姿を理解・共有し、日頃より情報感度を高め、社会、地域、お客さまそれぞれが抱える課題を発見し、自分事として受け止める。そして、粹にとらわれない発想・構想をすることで、課題の解決に取り組んでいきましょう。

しなやかに、スピード感をもって変化する

変化の激しい現代では、旧来の価値観が通用しなくなります。多様化する社会・お客さまのニーズを先読みして対応していくために、前例や慣習にとらわれず自らの考えや行動を変化させ、自立した成長をとげていくことで、環境の変化にしなやかに適合していきましょう。

社内環境整備方針

当社グループでは、サステナブルな成長を実現するため、多様な経験や価値観を尊重し、それらを積極的に活かしていくこととしています。多様な人財を持続的に確保するとともに、従業員の働きがい・満足度を向上させて、一人ひとりがいきいきと働き、最大のパフォーマンスを発揮できる環境の整備や、風土の醸成に取り組んでいます。

人財戦略の3つのPOINTと4つの重要課題①

「まち夢ビジョン2035」では、人財・組織戦略について3つのポイントを定めています。また、当社では、まち夢ビジョン2035実現に向けて、特に注力して取り組むべき4つの課題を重要課題として定めています。これらを実現する取り組みを着実にすすめてまいります。



当社の人的資本経営に関する4つの重要課題

- メンバーの活躍と成長を引き出し、組織の目標を達成するマネージャー（管理職）の創出
- ビジョンの実現に向けた事業の変革や、事業横断での価値創出を実現する、高度なマネジメント人財の計画的な創出
- まち夢ビジョン2035の実現や事業の継続・拡大に狙いを絞った、計画的な人財創出
- 従業員にとっての自律的なキャリア形成と、組織にとっての適所適材の両立

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

人財戦略の3つのPOINTと4つの重要課題②

POINT 1 (解説)

パフォーマンスを最大化させる最適な人財マネジメント

1on1ミーティング

当社では、上司とメンバーとの間で、年に6回以上、1on1ミーティングを実施しています。1on1ミーティングは、上司が組織ビジョンを伝え、メンバーと共に仕事の意義やキャリアを考える機会とすることや上司とメンバーの信頼と尊重の関係づくり等を目的として実施しています。

管理職の育成 (研修)

従業員の活躍と成長を引き出すためには、管理職は重要な役割を担います。当社では、新任時の研修をはじめ、毎年、管理職向けの研修を実施し、育成に取り組んでいます。2025年度は、1on1ミーティングにおける面談力を高めるための研修を継続的に実施しています。

タレントマネジメントシステムの導入

当社では、人財情報（能力・スキル・キャリア志向等）を一元管理し、従業員の育成や配置に活用するため、2024年9月よりタレントマネジメントシステムを導入しました。社員自身の登録した顔写真、自己紹介、職務経歴を社員同士で閲覧可能とすることで、社員同士のコミュニケーションの活性化にもつなげてまいります。

Topics

今後の取り組み

● 次世代経営人財育成プログラム（サクセッションプラン）の検討

将来の経営を担える人財を計画的に育成することを目的として、サクセッションプランの導入検討を進めて参ります。

POINT 2 (解説)

自己成長・チャレンジを実現する制度の改革

自律的なキャリア実現の仕組み整備や、自己啓発支援の具体的な取り組みは次の通りです。

| | |
|--|--|
| キャリア研修 キャリア面談 | 当社では大卒3年目および6年目社員を対象に、キャリア研修を行っています。これまでの経験を振り返り、自身の価値観・強みと会社から求められる役割を認識し、自己理解を深めるとともに、将来のありたい姿の実現に向けた行動計画を具体化し、自身の能力開発や意欲向上の動機付けを行うものです。そのうえでキャリアについて人事部の課長などと面談を行います。 |
| 自己啓発支援 ・eラーニング ・社外研修派遣 ・資格取得支援等 | 当社では社員に対し、動画コンテンツサービス(GLOBIS学び放題)の利用料全額補助や、外部公開研修(リクルートマネジメントスクール等)の授業料全額補助・通信講座受講料の補助等を行っています。さらに、公募制、あるいは推薦制で各種社外研修・プログラムへ派遣を行い、社外での学びを促進しています。また社員のキャリア形成支援の一つとして資格取得支援制度を導入し、資格取得費用の補助や取得時の祝金の支給を行っています。 |
| 公募制の イントレプレナー | 新たな事業を自ら提案し、主体的に取り組みその実現を目指す社内起業家育成制度です。専門的な知識のインプットや企業時の体制づくりなどを会社が支援しています。2025年9月現在、4件の案件が事業化に向けて準備をすすめています。 |
| ライフキャリア 休職制度 | 当社では2023年4月より、通学や資格取得、海外への留学を目的とした休職制度を導入しました。本休職制度は、配偶者の転勤による転居時や、不妊治療時にも取得できるものであり、多様な活躍を推進・支援するとともに、様々なライフイベントによらず、安心して会社で働き続けることを可能にすることも目的としています。 |
| キャリア開発 手当 | 自ら学び、幅広い知識を習得することは、自律的なキャリア形成につながると考えています。当社では、自律的にキャリアを描き、学び、成長する自律型人財の創出を目指しており、成長支援を目的としたキャリア開発手当を2025年度より導入いたしました。 |

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ^西ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

人財戦略の3つのPOINTと4つの重要課題③

POINT 3 (解説)

働きがい・満足度を向上させるいきいきと働ける環境整備

女性活躍推進や経験者採用の強化に取り組むほか、中核人財の登用においても、性別や国籍、新卒または中途等の別なく、個々の能力に応じて行い、多様性の確保に努めています。また、フレックスタイム制度や法定を上回る短時間勤務制度、育児・介護を目的とした休業・休暇制度等の導入、育児休業取得率向上に向けた施策の実施、年次有給休暇の取得促進等により、多様な働き方を支援しています。そのほか、多様な価値観、ライフステージに寄り添った施策の拡充に努めてまいります。

※2021年12月7日、厚生労働大臣より女性の活躍推進に関する取組の実施状況が優良である企業に対し認定される「えるぼし」の3段階目の認定を受けました。



女性活躍の推進

近年の女性従業員数の増加にともない、管理職を担う女性社員も増え、その活躍の場は拡大しています。当社では、2025年4月時点で、部長職2名、課長職24名、係長職59名、計85名の女性社員が管理職として活躍しています。引き続き、働きやすさを向上させ、女性社員が活躍できる環境を整えるため、行動計画を策定し取り組んでまいります。

西日本鉄道㈱第4次行動計画

| | | |
|------|----------------------------------|--------------------------|
| 計画期間 | 2023年4月1日から 2028年3月31日まで(5年間) | |
| 計画内容 | 女性労働者に対する職業生活に関する機会の提供 | 職業生活と家庭生活との両立に資する雇用環境の整備 |
| 目標 | 管理職(係長以上)に占める女性比率を10%以上とする | 勤続年数が3年以上の女性社員の人数を5%増やす |

女性の採用比率(単体)

| 年度 | 2022 | 2023 | 2024 |
|------------|-------|-------|-------|
| 全部門 | 40% | 38% | 35% |
| (うち乗務員を除く) | (49%) | (55%) | (54%) |
| 地域マーケット部門 | 24% | 23% | 20% |
| (うち乗務員を除く) | (34%) | (45%) | (40%) |
| 国際物流部門 | 57% | 64% | 66% |

2024年度管理職に占める女性労働者の割合および労働者の男女の賃金の差異(単体)

| 管理職に占める女性労働者の割合(※1) | 労働者の男女の賃金の差異(※2) | | |
|---------------------|------------------|---------|-----------|
| | 全労働者 | 正規雇用労働者 | パート・有期労働者 |
| 6.4% | 74.3% | 77.5% | 66.3% |

※1 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」(平成27年法律第64号)の規定に基づき算出したものです。

※2 労働者の男女の賃金差異は、労働者の勤続年数、短時間勤務制度の活用等の働き方、雇用形態別の人数構成等の差によるものであり、賃金制度上、性別による差はありません。

外国人の雇用

当社では、2005年より外国人の採用を積極的に進めております。2025年4月時点で、16名の外国人社員が活躍しており、係長職に5名登用しています。また、当社グループの海外拠点である海外現地法人では、現地にて採用を行い、経営者・管理職に外国人を積極的に登用しております。

障がい者の雇用

2011年1月に特例子会社「西鉄ウィルアクト㈱」を設立し、事務、各種印刷および製本加工、清掃業務などの受託業務を行っています。2025年6月時点の当社(西鉄ウィルアクト㈱を含む)の障がい者雇用率は、2.52%(法定雇用率2.5%)です。

多様な働き方の支援制度(当社における法定を上回る主な制度を抜粋)

| | |
|------------------------|--|
| コアタイムなしのフレックスタイム制度 | 業務の繁忙等にあわせて労働時間を柔軟に設定し、労働時間の短縮や私生活との調和を図る。 |
| 子育て・家族の介護のための短時間制度 | 子育て、介護など事情に合わせて短時間勤務、日数減勤務を選択可能。事由が子育ての場合、乗務職は中学校就学終期まで制度利用が可能(その他は小学校就学終期まで) |
| 子育て・家族の介護等を目的とした保存年休制度 | 妊娠中や中学校入学前の子どもを持つ社員、要介護状態の家族がいる社員等が、失効した年次有給休暇を最大50日保存し、妊娠婦健診や子育て、家族の介護のために取得可能。 |
| 介護休業制度 | 通算で1,095日(3年間)取得可能 |
| キャリア・リターン制度 | 結婚・子育て・介護などを理由に退職した従業員の再入社制度。 |
| ライフキャリア休職制度 | 勤続3年以上の社員が不妊治療をする場合、1年を上限に取得可能。その他資格取得等での取得も可能。 |

定年年齢の引き上げ

当社における60歳以上の社員のさらなる活躍を目的として、2025年4月より定年年齢を65歳に引き上げました。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶特集 ウンピル、始動。

▶chapter 1 イントロダクション

▶chapter 2 価値創造ストーリー

▼chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶chapter 4 事業別概要

▶chapter 5 会社データ

働きやすい職場づくり

エンゲージメント向上への取り組み

当社では、従業員のエンゲージメントの状況を把握してその向上へのPDCAに活用するために、2023年度よりエンゲージメントサーベイを実施しています。本結果は、社内で共有し、会社全体や各組織において、取り組む活動を計画・実施しております。エンゲージメントサーベイは、毎年実施し、エンゲージメント向上に向けた取り組みを継続してまいります。

賃金水準の引き上げ

事業拡大を見据え、当社の企業価値向上に資する多様な人材を継続的に確保していく必要があると考えています。2024年度は、大卒総合職の初任給を26万円(2025年度入社)に上げました。

また、バス・鉄道の乗務員においても初任給を引上げ、各種手当等の新設・改定を行い、バス乗務員は、受験者数・採用者数ともに対前年の2倍となり採用競争力の強化にもつながっています。

乗務員の働きやすさの向上

乗務中の負担軽減のため、バス運転士については、制帽着用を任意化や偏光サングラスの試験着用などを実施しています。また、鉄道車掌についても、業務に支障のない範囲で、乗務員室内で着席して乗務する取り組みを2024年度よりはじめています。その他、営業所や乗務所の建替えや休憩スペースの拡充など、施設面での環境整備も進めています。

健康経営推進計画の実施

従業員がいきいきと働き、企業理念を実践していくためには、従業員の健康が最も重要であるとの考えのもと、2022年9月に「西鉄グループ健康宣言」を制定し、最高責任者である社長執行役員以下推進体制を構築し、健康経営を推進しています。健康診断後の再検査受診の徹底や禁煙への動機づけ、ストレス関連疾病の発生予防・早期発見・治療、運動機会の増進、飲酒習慣および食生活の改善等に取り組んでいます。



従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取り組みが優良であると認められ、2024年3月、経済産業省および日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」の認定を受けました。

●西鉄グループ健康宣言（2022年9月制定）

西鉄グループが、事業の根幹である「安全・安心」を積み重ね、地域とともに持続的に成長・発展するためには、多様な能力と個性を持つ従業員が心身ともに健康ではつらつと働くことが何より大切です。

西鉄グループは、すべての従業員が自らの健康に高い関心を持って健康保持・増進に取り組むことを支援するとともに、従業員が働きやすい・働きがいのある職場づくりに努めることをここに宣言します。

当社の主な指標および目標（KPI）

| 指標 | 目標 | 2024年度実績 |
|-----------------|----------------------------|----------|
| 管理職に占める女性労働者の割合 | 2035年度までに10% | 6.4% |
| 男性労働者の育児休業取得率※ | 95%以上 | 98.6% |
| 年次有給休暇取得率 | 80%以上 | 88.5% |
| 健康診断後の再検査受診率 | 80%以上（2024年度）85%以上（2025年度） | 74% |

※男性労働者の育児休業等取得率について、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律施行規則」（平成3年労働省令第25号）第71条の6第2号における「育児休業等及び育児目的休暇」の取得割合にて算出しています。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

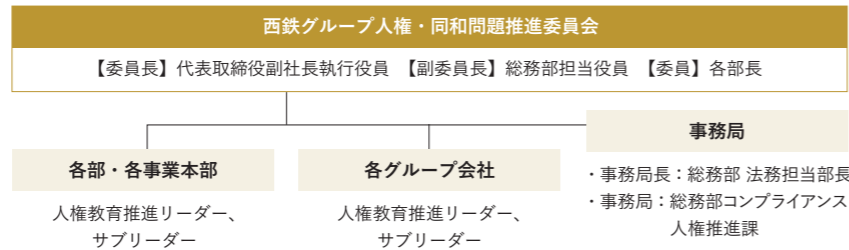
▶ chapter 5 会社データ

人権推進体制

当社グループでは、人権推進の取り組みを強化するため、2010年7月に「西鉄グループ人権・同和問題推進委員会」を発足し、これをESG推進会議の諮問機関と位置づけ、社員研修体制の再構築を行いました。人権・同和問題についての正しい理解と企業が果たすべき社会的責任に対する理解を深めるとともに、社員への教育、啓発を推進しています。

また、2022年3月に「西鉄グループ人権方針」を制定し、事業活動に関わる全ての人の人権を尊重し、また、あらゆる差別、あらゆる人権侵害につながる事業活動は一切行わないことを宣言しています。

西鉄グループ人権推進体制



西鉄グループ人権方針 (2022年3月1日制定)

西鉄グループは、社内外のすべての人々の人権を尊重します。また、あらゆる差別、あらゆる人権侵害につながる事業活動は一切行いません。西鉄グループは、事業活動に関わるすべての人の人権を尊重するために、「西鉄グループ人権方針」をここに定めます。

1. 基本的な考え方

- | | |
|-----------------|---|
| (1)人権の尊重 | 西鉄グループは、国際規範等を踏まえ、すべての事業活動において人権を尊重します。 |
| (2)適用範囲 | 本方針は、西鉄グループすべての役員と従業員に適用します。また、ステークホルダーに対しても、本方針を理解・遵守いただけるように努めます。 |
| (3)差別の禁止 | 西鉄グループは、人種、信条、宗教、性別、性的指向、性自認、年齢、国籍、社会的身分、門地、言語、民族、病気、外見、結婚、障がい等を理由とするあらゆる差別を認めません。 |
| (4)ハラスメントの禁止 | 西鉄グループは、性的又は妊娠・出産・育児・介護に関するハラスメントおよびパワーハラスメント等、人権を傷つける言動を認めません。 |
| (5)救済と是正 | 西鉄グループは、事業活動に関わるすべての人の人権を侵害しないことに努め、人権への負の影響が生じた場合は、当事者のプライバシーを守りつつ、再発防止を含め速やかにその救済と是正に向けて迅速かつ適切に対応します。 |
| (6)児童労働・強制労働の禁止 | 西鉄グループは、直接と間接を問わず、児童労働、強制労働その他不正な労働慣行を認めません。 |
| (7)労働基本権の尊重 | 西鉄グループは、労働関係法令を遵守し、従業員の基本的権利を尊重します。 |

にしてつグループでは、人権課題の正しい理解と企業の果たすべき責任への理解を深め、様々なステークホルダーとの対話と社員への人権研修の実施により、人権を尊重した事業活動を推進しています。

人権推進に向けた取り組み

人権教育推進リーダー研修および各種階層別研修の実施

人権・同和問題に関する研修の担い手を育成するために「人権教育推進リーダー研修」を実施しています。加えて、本研修を受講したリーダーによる研修を毎年各職場で展開し意識高揚を図っています。2024年度は各部・各社のリーダー・サブリーダー約800名が、グループ従業員2万人に対し、同和問題のほかハラスメント・障がい者・LGBTQ+等の人権課題について全職場研修を行いました。このほか、経営幹部研修・新入社員研修・階層別研修もあり、人権かわら版などの啓発活動と合わせて人権意識の醸成に努めています。

人権研修参加者数の推移

| 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 20,899名 | 19,816名 | 19,799名 | 20,548名 | 18,722名 | 19,178名 |

LGBTQ+への取り組み

当社は、2024年11月LGBTQ+を含むセクシュアル・マイノリティーへの取り組みが評価され、任意団体「work with Pride」が策定しているPRIDE指標において「シルバー」の認定を受けています。



2. 人権尊重の取り組み

- | | |
|------------------|---|
| (1)教育・研修 | 西鉄グループは、本方針が理解され、あらゆる人々の人権が尊重されるよう、すべての役員及び従業員に対して、適切な教育・研修を行います。また、人権尊重の責任を果たすため、同和問題やハラスメントをはじめとした人権問題に対する啓発活動に取り組み、認識と理解を深めます。 |
| (2)人権デュー・ディリジェンス | 西鉄グループは、人権尊重の責任を果たすため、人権デュー・ディリジェンスを継続的に実施し、人権への負の影響の回避・低減に努めます。 |
| (3)情報開示 | 西鉄グループは、人権尊重の取り組みについて、適切にウェブサイトなどで開示します。 |
| (4)ステークホルダーとの対話 | 西鉄グループは、事業活動が人権に及ぼす影響について、関連するステークホルダーとの対話を行います。 |
| (5)働きやすい職場環境 | 西鉄グループは、従業員が心身ともに健康で、安全かつ安心していきいきと働くことのできる職場環境を築くとともに、仕事と生活の調和の取れた働き方を推進します。 |
| (6)風通しの良い職場風土 | 西鉄グループは、多様性を尊重し、風通しの良い職場風土の醸成に努めます。また、西鉄グループ内の活発なコミュニケーションを通して、一体感のある協動的な関係を構築します。 |
| (7)挑戦と成長 | 西鉄グループは、従業員一人ひとりが仕事に誇りと責任を持ち、自ら目標に挑戦し、自身の成長を実現します。 |

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一 座談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

ガバナンス体制

当社は、重要な業務執行の決定を幅広く代表取締役社長執行役員に委任することを通じて、迅速な意思決定を実現するとともに業務執行に対する取締役会の監督機能を強化すること、取締役会において議決権を有する監査等委員が監査を行うことによる監査の実効性を高めることが、当社の企業価値向上のために有効であるとの考えのもと、2016年6月より監査等委員会設置会社を採用しています。

その上で、社外取締役の独立性に係る当社基準を満たす独立性の高い社外取締役の選任により監督機能を強化し、業務執行機能の適正性を確保しています。

取締役会

社外取締役6名を含む12名（うち、監査等委員である取締役5名）の取締役で構成されています。原則として毎月1回開催し、経営の基本方針、役付執行役員等の選任等、法令、定款および取締役会規程で定められた重要事項の決定を行うほか、業務執行状況の報告を受けるなど業務執行の監督を行っています。

取締役会は、当社の事業特性や経営戦略に照らし備えるべきスキル等を踏まえた、専門知識や経験等のバックグラウンドが異なる多様な取締役で構成するとともに、取締役会の機能が最も効果的・効率的に発揮できる適切な員数を維持することとしています。

また、取締役会の監督機能に資するよう、他社での経営経験を有する者を含む独立社外取締役を3分の1以上選任することとしています。

透明・公正かつ迅速・果敢な経営の意思決定を行うための実効的な仕組みの確保・充実に努め、持続的な成長および中長期的な企業価値の向上を目指すことをコーポレート・ガバナンスの基本的な考え方としています。

監査等委員会

監査等委員会は、5名の監査等委員で構成され、うち社外監査等委員が4名です。各監査等委員は、監査等委員会が定めた方針に従い、取締役会その他の重要な会議への出席、子会社を含む業務・財産状況の調査等を通じ、取締役の職務遂行の監査を行っています。

指名・報酬諮問委員会

取締役候補者の指名および役付執行役員等の選解任、取締役および役付執行役員等の報酬等に関する取締役会の機能の独立性・客観性を強化するとともに説明責任の向上を図るため、取締役会の諮問機関として指名・報酬諮問委員会を設置しています。社長執行役員、取締役会長および独立社外取締役で構成し、代表取締役の選定・解職、取締役候補者の指名、役付執行役員等の選解任および社長執行役員の後継者計画ならびに取締役および役付執行役員等の報酬の公正性と妥当性を審議しています。

指名・報酬諮問委員会の構成員（2025年7月1日現在）

| 役職名 | 氏名 |
|----------------------------|--------|
| 代表取締役 会長 | 倉富 純男 |
| 代表取締役 社長執行役員 指名・報酬諮問委員会委員長 | 林田 浩一 |
| 取締役(社外取締役) | 津野 喜久代 |
| 取締役 監査等委員(社外取締役) | 河原畑 徹 |
| 取締役 監査等委員(社外取締役) | 松岡 恭子 |

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一座談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

常務会等

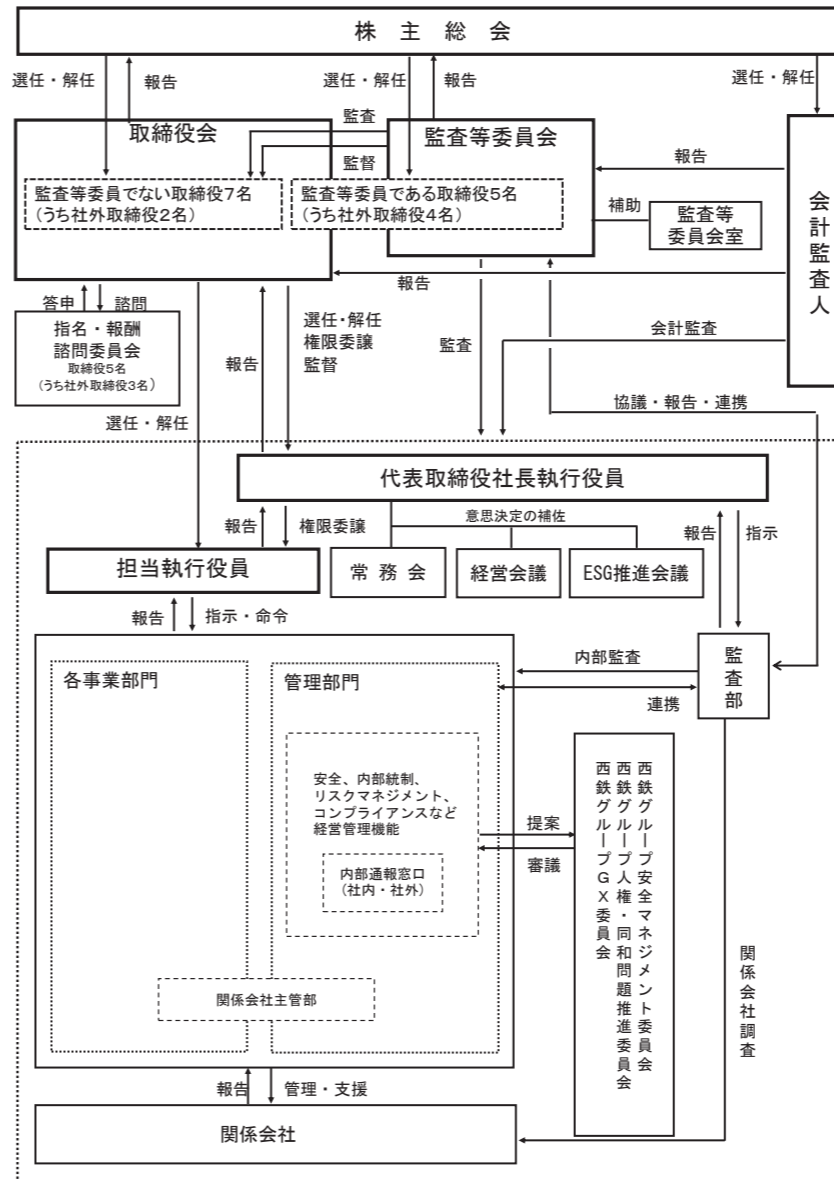
当社は、社長執行役員的意思決定を補佐する機関として、常務会、経営会議およびESG推進会議を設置しています。常務会は、社長執行役員、各部門の担当執行役員等で構成され、原則として毎週1回開催し、社長執行役員決裁事項や取締役会に提案する事項を審議するとともに、各部門の業務執行状況の把握、監督を行っています。

経営会議は、社長執行役員、関係部門の担当執行役員等で構成され、原則として毎週1回開催し、経営戦略や重要な執行案件等の方針や方向性を協議しています。

ESG推進会議は、社長執行役員をはじめとする執行役員等で構成され、必要に応じ開催し、西鉄グループのESGに関する方向性や重要テーマ設定のほか、重要テーマに係る施策等について協議しています。

なお、常勤の監査等委員が、社内情報の収集等のため、各会議に出席しています。

コーポレート・ガバナンス体制模式図 (2025年7月1日現在)



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

取締役会の実効性評価

毎年、取締役会の実効性について分析・評価を行うことを「コーポレートガバナンスに関する基本方針」に定めており、取締役会の監督機能および意思決定機能の向上に努めています。

これまでの取締役会の実効性評価において、取締役会は全体として概ね機能していると評価する一方、実効性のさらなる向上のため、審議の一層の活性化や事業理解の深化等の取り組みを継続する必要があると認識しています。

2024年度の分析・評価結果の概要

全取締役・担当執行役員を対象にアンケートを実施し、審議事項の範囲・内容や情報提供の妥当性等について分析・評価を行っており、その結果に基づいた改善案を取締役会において審議しています。

アンケート結果としては、取締役会は全体として概ね機能しており、2023年度に抽出された課題に関しても、改善に向けた取り組みが着実に進んでいるとの評価を得られました。

この結果をふまえ、事業理解を深めるための取り組みを継続するとともに2025年度に予定する第17次中期経営計画の策定に向けた全体戦略の方向性やサステナビリティ・ESGに関する議論のより一層充実を図るなど、引き続き運営等の見直しを行い実効性のさらなる向上を図ることを確認いたしました。

監査の状況

監査等委員会監査の状況

監査等委員会で定められた監査等委員会監査等基準、監査方針および職務の分担等に従い、取締役会等の重要な会議へ出席し、業務執行状況報告を適宜受領するなど取締役および使用人等の職務執行状況についての監査を行っています。

常勤の監査等委員は、常務会や経営会議等の重要な会議へ出席し、業務執行部門からの日常的な情報収集を行うとともに、当社およびグループ会社を対象とした往査において、取締役および使用人（グループ会社の取締役および使用人を含む）等の職務執行状況について報告受領・意見交換を適宜行う等の監査を行っています。さらに、内部監査部門から監査実施状況の報告聴取に加え、会計監査人から監査報告を適宜受領し、監査上の主要な検討項目（KAM）に関する協議を含め、意見交換等を行っています。

内部監査の状況

内部統制システムの妥当性・有効性の確保や業務諸活動の適法性・合理性の確立のため、監査部に19名のスタッフを配置し、内部監査のほか財務報告に係る内部統制の評価、グループ会社における内部統制および内部監査の支援ならびに内部統制部門と連携した内部統制の実効性向上の取り組みを行っています。また、グループ全体の監査の実効性向上を図るため、監査部スタッフがグループ会社の監査役を兼務することで各社における監査機能との連動に努めています。

内部監査では、監査計画に基づきグループ会社を含めた監査を実施し、発見事項について対象部門長に対し改善報告を求め、改善の進捗状況の確認を定期的に行っています。

なお、監査計画はリスクベースを基本に社長執行役員の指示ならびに監査等委員会および取締役会の要請を踏まえて立案し、取締役会およびESG推進会議に対して報告を行っており、監査結果についても社長執行役員、監査等委員会、取締役会、ESG推進会議に報告しています。また、毎月開催される監査連携会議の場で、内部監査・監査等委員会監査それぞれの監査結果についての情報交換を行うなど緊密な連携をとることにより、効率的な監査を行うよう努めています。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ











13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

ガバナンス体制の変遷

| 年度 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 |
|-------------------------|---|---|--|---|---|---|---|---|---|---|
| 機関設計 | 監査等委員会設置会社 | | | | | | | | | |
| 取締役会 社外/総数 | 5名/13名  社外取締役 38.5% | 5名/13名  社外取締役 38.5% | 5名/14名  社外取締役 35.7% | 5名/15名  社外取締役 33.3% | 6名/16名  社外取締役 37.5% | 5名/10名  社外取締役 50.0% | 5名/10名  社外取締役 50.0% | 6名/11名  社外取締役 54.5% | 5名/10名  社外取締役 50.0% | 6名/12名  社外取締役 50.0% |
| 取締役監査等委員 社外/総数 | 3名/4名 | 3名/4名 | 3名/4名 | 3名/4名 | 4名/5名 | 4名/5名 | 5名/6名 | 5名/6名 | 4名/5名 | 4名/5名 |
| 独立役員 | 3名 | 3名 | 3名 | 3名 | 5名 | 4名 | 4名 | 4名 | 4名 | 5名 |
| 女性取締役 | | | | | 1名 | 1名 | 1名 | 2名 | 2名 | 3名 |
| 任期 | 取締役 1年 取締役監査等委員 2年 | | | | | | | | | |
| 指名・報酬諮問委員会 | 設置 | | | | | | | | | |
| 取締役会実効性評価 | 2015年より実施 | | | | | | | | | |
| 役員報酬制度 | 制度改定※ | | | | | | | | | |
| 当社株式の大量取得 行為に関する対応方針 | 更新 | | | | | | | | | |

※業績連動賞与として短期業績に加え中期業績を組み込み、株式報酬制として株式交付信託としました。詳細はP67参照。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

役員報酬制度 ①

基本方針および水準

当社の取締役および役付執行役員に対する報酬は、以下の内容を基本方針とし、当該方針に基づいて報酬を支給します。

- ・「にしてつグループの企業理念」の実現を通じた企業価値の安定的かつ持続的な向上に資する内容であること
- ・優秀な人材を登用、確保するために相応しい内容であること
- ・透明性、公正性の高い報酬制度とし、ステークホルダーに対する説明責任を果たし得る内容であること

報酬水準については、経営環境、従業員給与や他社の水準等を考慮のうえ、業績向上に向けた適切なインセンティブとなるよう設定します。

監査等委員でない取締役(社外取締役を除く)および役付執行役員の報酬制度

| 区分 | 構成割合 ※1 | 概要・目的 | 支給額 | 支給率 |
|----------|------------|---|----------------------------------|--|
| 基本報酬 | 60% | 月例の固定報酬 | 役位および職責に応じて決定 | 固定 |
| 短期業績連動賞与 | 13% | ・各事業年度における業務執行に対する報酬 ・持続的な業績向上にむけて適正に動機づけすることを目的とする | 基準額×支給率 (変動幅) 0.00~2.00 | 各事業年度における以下の評価により変動 ①当社グループ業績の評価(全体評価) 中期経営計画の連結事業利益※2、連結ROAおよび連結ROEの目標値に対する達成率 ②担当部門または関係会社の業績評価(部門評価) 営業収益等の定量的評価および各施策の実施状況等の定性的評価を総合的に判断する業績評価制度※3に基づき決定 ③職務執行状況の評価 |
| 中期業績連動賞与 | 12% | ・3事業年度にわたる業務執行に対する報酬 ・中長期的な企業価値向上に寄与することを目的とする | 基準額×支給率 (変動幅) 0.75~1.35 | 3事業年度前と比較した連結EBITDA※4の上昇率に応じて変動 |
| 株式報酬 | 15% | ・信託を通じて、退任時に有するポイントを1ポイント当たり当社普通株式1株の割合で換算し株式を交付する制度 ・株主と利益意識を共有し、経営計画の実行を通じた企業価値向上および株価上昇への貢献意欲を一層高めることを目的とする | 基準ポイント×支給率 (変動幅) 0.75~1.35 | 中期経営計画の連結事業利益、連結ROAおよび連結ROEの目標値に対する達成率に応じて変動 ただし、判定は中期経営計画期間(原則3年間)終了時に行うため、中期経営計画期間のうち最終年を除く各年は基準ポイントを付与し、最終年は基準ポイントに加え、中期経営計画期間中の基準ポイントの合計に対する変動分を付与(マイナスは控除) |

※1 業績連動報酬の構成割合は、基準額(変動率1.00倍)の場合の割合 ※2 事業利益は、営業利益+事業投資に伴う受取配当金・持分法投資損益等により算出

※3 業績評価制度は、各部門および関係会社を対象に毎年実施しており、従業員の賞与等の査定にも適用 ※4 EBITDAは、事業利益+減価償却費+のれん償却費(営業費)により算出

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一談談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

役員報酬制度 ②

監査等委員である取締役および社外取締役の報酬

職務の性質を踏まえ基本報酬(月例の固定報酬)のみとします。

役員報酬に関する株主総会決議

第176期定時株主総会(2016年6月29日開催)において、監査等委員でない取締役の報酬額については年額4億7千万円以内(うち社外取締役4千万円以内)、監査等委員である取締役の報酬額については年額1億2千万円以内、また、第181期定時株主総会(2021年6月29日開催)において、監査等委員でない取締役(社外取締役を除く)および役付執行役員の株式報酬等については、当社が拠出する金銭として対象期間(各中期経営計画期間)ごとに5億8千万円以内、付与を受けることができるポイントの総数として1年あたり11万6千ポイント以内(ただし、各対象期間の最終年度を除く各年度において付与されるポイントは5万7千ポイント以内)と決議をいただいています。

報酬決定のプロセス

委員の過半数が社外取締役で構成される指名・報酬諮問委員会を設置し、報酬制度や報酬水準の妥当性、相当性等について定期的に確認するほか、必要に応じ審議することとしています。

取締役の報酬については、株主総会において承認された報酬枠の範囲内とし、次のプロセスにより決定します。

監査等委員でない取締役および役付執行役員の個人別の報酬等の内容については、指名・報酬諮問委員会の審議の結果を尊重し、取締役会において決定します。なお、個人別の各報酬の具体的な金額は、支給基準に基づき決定しますが、基本報酬の個人別支給額の決定、短期業績連動賞与における業務および職務執行状況の評価の決定については、取締役会の決議により社長執行役員へ一部権限を委任することがあります。これら委任された場合の権限の行使結果については、取締役会議長および代表取締役が確認するほか、取締役会が報告を受けています。

また、監査等委員である取締役の個人別の報酬等の内容については、監査等委員である取締役の協議により決定します。

2024年度役員区分ごとの報酬等

| 役員区分 | 報酬等の総額(百万円) | 報酬等の種類別の総額(百万円) | | | 対象役員数(名) | |
|-----------------------|-------------|-----------------|--------|----|----------|-------|
| | | 基本報酬 | 業績連動賞与 | | | 株式報酬※ |
| | | | 短期 | 中期 | | |
| 監査等委員でない取締役(社外取締役を除く) | 246 | 135 | 38 | 35 | 36 | 4 |
| 監査等委員である取締役(社外取締役を除く) | 35 | 35 | - | - | - | 2 |
| 社外役員 | 70 | 70 | - | - | - | 7 |

※株式報酬は、株式交付ポイント(1ポイントは当社株式1株)に対する株式報酬引当金繰入額

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウィンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

株式の保有状況

投資株式の区分の基準および考え方

当社では、専ら株式価値の変動または株式に係る配当によって利益を受ける「純投資目的である投資株式」と、「純投資目的以外の目的で保有している株式」に区分しています。

保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式（政策保有株式）

当社の事業特性を踏まえ、良好な取引関係の維持発展、安定的かつ継続的な金融取引関係の維持、地域経済活動における連携および地域社会における当社グループの使命や役割等の観点から当社の企業価値向上に資すると認められる場合には、政策的な目的により株式を保有します。

政策保有株式の保有の適否について、経営への影響を分析した上で個別銘柄毎にその保有目的や資本コストを考慮した便益とリスク、将来の見通し等を踏まえて総合的に検証し、毎年、取締役会において確認を行っています。

2024年度末における投資株式

| | 銘柄数(銘柄) | 貸借対照表計上額の合計(百万円) |
|-------------|---------|------------------|
| 非上場株式 | 65 | 2,585 |
| 非上場株式以外の株式 | 37 | 27,844 |
| (参考)みなし保有株式 | (5) | (12,524) |

(参考) 政策保有株式が連結純資産に占める割合11.9% (みなし保有株式含む16.8%)

(参考) 2023年度末における投資株式

| | 銘柄数(銘柄) | 貸借対照表計上額の合計(百万円) |
|-------------|---------|------------------|
| 非上場株式 | 65 | 2,834 |
| 非上場株式以外の株式 | 39 | 31,844 |
| (参考)みなし保有株式 | (5) | (11,324) |

(参考) 政策保有株式が連結純資産に占める割合14.7% (みなし保有株式含む19.5%)

株主・投資家とのコミュニケーション

当社グループの持続的な成長および中長期的な企業価値向上に資するよう株主・投資家との積極的なコミュニケーションを進めており、対話を通じて把握した有用な意見、要望等については、社長執行役員や取締役会にフィードバックしています。

| | |
|-------------------------|---|
| 個人投資家向けに定期的説明会を開催 | <ul style="list-style-type: none"> ●実施時期 2024年8月～2025年2月に年4回実施 ●実施内容 経営戦略および主要な取り組み、収支見込、株主還元・株主優待 ●参加者の属性 個人投資家 ●説明者 経営企画部長 <p>※スケジュールや資料については当社ホームページに記載しています。</p> |
| アナリスト・機関投資家向けに定期的説明会を開催 | <ul style="list-style-type: none"> ●実施時期 5月(年度決算)、11月(第2四半期決算)の年2回を定期的に実施 ●実施内容 決算概要、経営計画の進捗状況および収支見込 ●参加者の属性 アナリスト、ファンドマネージャー等 ●参加人員 合計112名 ●説明者 代表取締役社長執行役員 |
| IR資料のホームページ掲載 | <ul style="list-style-type: none"> ●URL https://www.nishitetsu.co.jp/ir/ ●掲載事項 決算情報、ニュースリリース(決算以外の適時開示事項)、IR説明会資料、にしてつレポート(事業報告書)、株主優待制度の概要等 |
| IRに関する部署の設置 | <ul style="list-style-type: none"> ●担当部署 経営企画部(経営計画・IR担当) ●担当役員 経営企画部担当執行役員 |



▲個人投資家向け決算説明会



▲決算説明会資料

決算説明会資料他、IR関係資料の詳細は、西鉄グループホームページ掲載の「IRライブラリ」をご覧ください。 <https://www.nishitetsu.co.jp/ja/ir/library.html>

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶特集 ウンピル、始動。

▶chapter 1 イントロダクション

▶chapter 2 価値創造ストーリー

▼chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶chapter 4 事業別概要

▶chapter 5 会社データ

当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針

基本方針の概要

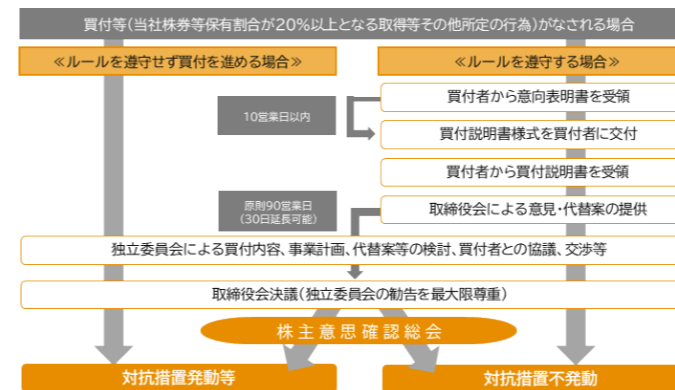
当社は、当社株式について大量買付がなされる場合、これが当社の企業価値ひいては株主共同の利益に資するものであれば、一概に否定するものではなく、最終的には株主の皆さま全体の意思に基づき判断されるべきものと考えています。外部者である買収者からの大量買付の提案を受けた際に、株主の皆さまが最善の選択を行うためには、当社の企業価値を構成する有形無形の要素を適切に把握するとともに、買収者の属性、大量買付の目的、買収後の当社の経営方針、既存株主との利益相反を回避する方法、従業員その他のステークホルダーに対する対応方針等の買収者の情報も把握した上で、大量買付が及ぼす影響を判断する必要があり、かかる情報が明らかにされないまま大量買付が強行される場合には、当社の企業価値ひいては株主共同の利益が毀損される可能性があります。当社は、このような当社の企業価値ひいては株主共同の利益に資さない大量買付を行う者は、当社の財務および事業の方針の決定を支配する者として不適切であり、このような者による大量買付に対しては、必要かつ相当な対抗措置を採ることにより、当社の企業価値ひいては株主共同の利益を確保する必要があると考えています。

具体的取り組みの概要

当社は、2024年5月10日開催の取締役会において、株主の皆さまの承認を条件として、「当社株式の大量取得行為に関する対応方針」を更新することを決議し、同年6月27日開催の第184期定時株主総会において、当該対応方針を更新することの承認を得ております。（以下、更新後の当該対応方針を「本プラン」といいます。）本プランは、当社の財務および事業の方針の決定を支配する者として不適切な者による大量買付を抑止するとともに、大量買付が行われる際に、当社取締役会による株主の皆さまへの代替案の提案や株主の皆さまによるかかる大量買付に応じるべきか否かの判断のために必要な情報や時間を確保すること、株主の皆さまのために交渉を行うこと等を可能とすることを目的としています。本プランは、当社株券等の20%以上を買収しようとする者等が現れた際に、買収者に事前の情報提供を求める等、上記の目的を実現するた

めに必要な手続を定めています。買収者は、本プランに係る手続に従い、当社取締役会において本プランを発動しない旨が決定された場合に、当該決定時以降に限り当社株券等の大量買付を行うことができるものとされています。買収者が本プランに定められた手続に従わない場合や当社株券等の大量買付が当社の企業価値ひいては株主共同の利益を毀損するおそれがある場合等で、本プラン所定の発動要件を満たす場合等には、当社は、買収者等による権利行使は原則として認められないとの行使条件および当社が買収者等以外の者から当社株式と引換えに新株予約権を取得できる旨の取得条項が付された新株予約権に係る新株予約権無償割当てその他の法令および当社定款の下でとりうる合理的な施策を実施します。本プランに従って新株予約権の無償割当てがなされ、その行使または当社による取得に伴って買収者以外の株主の皆さまに当社株式が交付された場合には、買収者の有する当社の議決権割合は、約2分の1まで希釈化される可能性があります。当社は、本プランに従った新株予約権の無償割当ての実施、不実施または取得等の判断については取締役の恣意的判断を排するため、当社経営陣から独立した社外取締役等のみから構成される独立委員会を設置し、その客観的な判断を経るものとしております。また、当社取締役会は、これに加えて、本プランに従い新株予約権の無償割当てを実施する場合には、原則として、株主総会を招集し、株主の皆さまの意思を確認することといたします。こうした手続の過程については、適宜株主の皆さまに対して情報開示がなされ、その透明性を確保することとしております。本プランの有効期間は、原則として、第184期定時株主総会終了後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までです。

本プランにおける手続の流れの概要



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

取締役

倉富 純男



代表取締役会長
取締役会議長

林田 浩一



代表取締役 社長執行役員
業務全般
監査部担当

松本 義人



代表取締役 副社長執行役員
社長補佐(業務全般)
自動車事業本部担当 自動車事業本部長

大格 淳



取締役 専務執行役員
経営企画部、
DX・ICT推進部担当

取締役会・監査等委員会出席回数

(2024年度)
16回/16回 (100%)

(2024年度)
16回/16回 (100%)

重要な兼職の状況

鳥越製粉(株) 社外取締役
㈱福岡銀行 社外取締役

㈱RKB毎日ホールディングス 社外取締役

黒崎播磨(株) 社外監査役

選任理由

2008年6月に取締役執行役員に就任して以来17年間にわたり当社の経営に参画し、経営に関する豊富な経験と知見を有しています。

また、2013年6月に代表取締役社長、2021年4月に代表取締役会長に就任し、当社の経営を担うとともに、取締役会議長として当社の経営全般を統括しています。

これらの豊富な経験と知見に基づき、取締役会議長として、取締役会の適切な議事運営にあたることにより、取締役会の監督機能および意思決定機能を強化することができるものと判断しています。

2018年6月に取締役に就任して以来7年間にわたり当社の経営に参画し、経営に関する豊富な経験と知見を有しています。また、2021年4月に代表取締役社長執行役員に就任し、当社の業務全般を統括しています。

これらの豊富な経験と知見に基づき、業務執行の最高責任者である社長執行役員として、激動する国際情勢やその他経営環境の大きな変化に対応するとともに、「ONE FUKUOKA BLDG.」の開業を契機とした価値創造や地域のにぎわい創出等の取り組みや、進行中の各大型プロジェクトを力強くけん引するなど、サステナブルな成長への挑戦を掲げる当社グループの持続的な成長および中長期的な企業価値向上を実現することができるものと判断しています。

1991年の入社以来、主に自動車事業に従事し、現在は副社長執行役員として自動車事業本部を担当するなど、当社における豊富な業務経験と実績を有しています。

これらの経験と知見に基づき、取締役会の監督機能および意思決定機能の強化が図られるほか、交通・まちづくり事業およびグローバル事業を率いる社長執行役員を副社長執行役員として補佐するとともに、引き続き自動車事業を統括することにより、サステナブルな成長への挑戦を掲げる当社グループの持続的な成長および中長期的な企業価値向上の実現に資することができるものと判断しています。

1985年の入社以来、主に経理業務に従事し、現在は専務執行役員として経営企画部およびDX・ICT推進部を担当するなど、当社における豊富な業務経験と実績を有しています。

また、2018年6月からの2年間、常任監査等委員として経営の監査・監督を行っています。これらの豊富な経験と知見に基づき、取締役会の監督機能および意思決定機能の強化が図られるほか、経営企画部およびDX・ICT推進部の統括に活かすことにより、経営陣幹部として、サステナブルな成長への挑戦を掲げる当社グループの持続的な成長および中長期的な企業価値向上の実現に資することができるものと判断しています。

略歴

1978.4 当社入社
2008.6 当社取締役執行役員
2011.6 当社取締役常務執行役員
2013.6 当社代表取締役社長
2016.6 当社代表取締役社長執行役員
2021.4 当社代表取締役会長(現)

1988.4 当社入社
2016.6 当社執行役員
2018.4 当社上席執行役員
2018.6 当社取締役上席執行役員
2020.4 当社取締役専務執行役員
2021.4 当社代表取締役社長執行役員(現)

1991.4 当社入社
2015.7 当社自動車事業本部営業企画部長
2017.7 当社まちづくり推進本部
まちづくり・交通企画部長
2019.4 当社執行役員都市開発事業本部
副本部長兼まちづくり推進部長
2020.4 当社常務執行役員
2024.4 当社専務執行役員
2025.4 当社副社長執行役員
2025.6 当社代表取締役副社長執行役員(現)

1985.4 当社入社
2006.7 当社経営企画本部CV経営室長
2009.6 当社経営管理部長
2012.6 当社経理部長
2015.6 当社取締役執行役員経理部長
2016.6 当社上席執行役員
2018.6 当社取締役常任監査等委員(常勤)
2020.6 当社取締役専務執行役員
2021.6 当社専務執行役員
2025.6 当社取締役専務執行役員(現)

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 **ワンピル**、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 **コーポレート・ガバナンス**

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

取締役

松藤 悟



取締役 常務執行役員

鉄道事業本部担当

鉄道事業本部長

取締役会・監査等委員会出席回数

(2024年度)

16回/16回 (100%)

重要な兼職の状況

(株)富士ビー・エス 社外取締役

選任理由

1987年の入社以来、鉄道事業に従事し、現在は常務執行役員として鉄道事業本部を担当するなど、鉄道事業における豊富な業務経験と実績を有しています。

これらの経験や知見に基づき、鉄道事業の安全統括管理者として交通サービスにおける安全の確保という観点から取締役会の監督機能および意思決定機能の強化が図られるとともに、鉄道事業の統括に活かすことにより、経営陣幹部として、サステナブルな成長への挑戦を掲げる当社グループの持続的な成長および中長期的な企業価値向上の実現に資することができるものと判断しています。

略歴

1987. 4 当社入社
 2012. 7 (株)西鉄ステーションサービス
 代表取締役社長
 2015. 7 当社鉄道事業本部副本部長
 兼営業企画部長
 2018. 4 当社執行役員鉄道事業本部副本部長
 兼営業企画部長
 2020. 6 当社取締役執行役員
 鉄道事業本部副本部長兼営業企画部長
 2021. 4 当社取締役執行役員
 鉄道事業本部副本部長兼計画部長
 2023. 4 当社取締役常務執行役員(現)

津野 喜久代



社外取締役(独立)

(2024年度)

12回/12回 (100%)

九州電力(株) 執行役員

九州電力(株)の執行役員人材活性化本部長を務めるほか、当社における業務経験を通じ、人事労務や経営企画に関する豊富な経験や見識を有しています。また、2023年6月より当社の監査等委員でない社外取締役として、その経験や見識を基に有益な意見をいただいています。

これらにより、サステナブルな成長を支える人財力強化の取り組みを進める当社において、取締役会における議論の充実が期待できるなど、当社と利害関係のない社外取締役として、取締役会の監督機能および意思決定機能を強化することができるものと判断しています。

2017. 7 九州電力(株)ビジネスソリューション統括本部
 人材活性化本部副部長兼計画グループ長
 2018. 6 当社コーポレート戦略部門部長
 (グループ組織戦略)
 2020. 7 当社ビジネスソリューション統括本部
 人材活性化本部長(労務)
 2022. 6 当社監査等特命役員
 2023. 6 当社執行役員ビジネスソリューション統括本部
 人材活性化本部長(現)
 2023. 6 当社取締役(現)

松尾 美枝



社外取締役(独立)

(2024年度)

12回/12回 (100%)

三井住友トラスト・アセットマネジメント(株)
社外取締役
栗田工業(株) 社外取締役

税理士資格・米国公認会計士資格を有し、日本アイ・ビー・エム(株)において、経理財務関連および間接業務全般の効率化・高度化のコンサルティングに従事し、AI等の先進テクノロジーを活用したビジネス・トランスフォーメーション・サービス事業部を常務執行役員として統括するなど、その業務経験を通じ、IT・デジタルやグローバル事業経営、財務会計に関する豊富な知見を有しています。

また、2023年10月より同社の常勤監査役を務め、コーポレート・ガバナンスに関しても豊富な経験や見識を有しています。

成長事業の拡充と新たな稼ぐ力の創出、海外事業におけるガバナンス強化やDXの推進に取り組む当社において、その経験や見識に基づいた有益な意見をいただくこと等により取締役会における議論の充実が期待できるなど、当社と利害関係のない社外取締役として、取締役会の監督機能および意思決定機能を強化することができるものと判断しています。

2009. 7 アイ・ビー・エム・ビジネス
 コンサルティングサービス(株)執行役員
 2010. 4 日本アイ・ビー・エム(株)理事・パートナー
 2018. 1 当社執行役員
 2019. 1 IBM Global Services Pte.Ltd.
 Asia Pacific 地域担当Managing Partner
 2022. 4 日本アイ・ビー・エム(株)常務執行役員
 2023. 10 当社常勤監査役
 2025. 6 当社取締役(現)

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

監査等委員である取締役

永竿 哲哉

取締役常任監査等委員
監査等委員会委員長



河原畑 徹

社外取締役（独立）
取締役監査等委員



柴戸 隆成

社外取締役
取締役監査等委員



松岡 恭子

社外取締役（独立）
取締役監査等委員



永田 理

社外取締役（独立）
取締役監査等委員



取締役会・監査等委員会出席回数

(2024年度※1)
取締役会：12回/12回（100%）
監査等委員会：12回/12回(100%)

(2024年度※1)
取締役会：12回/12回（100%）
監査等委員会：12回/12回(100%)

(2024年度)
取締役会：15回/16回（94%）
監査等委員会：13回/14回(93%)

(2024年度)
取締役会：16回/16回（100%）
監査等委員会：14回/14回(100%)

重要な兼職の状況

㈱ふくおかフィナンシャル・グループ 代表取締役会長
㈱福岡銀行 代表取締役会長
第一交通産業㈱ 社外取締役
㈱RKB毎日ホールディングス 社外取締役

㈱大中央 代表取締役社長

選任理由

1986年の入社以来、主に都市開発事業や総務広報業務に従事し、専務執行役員および福岡国際空港㈱代表取締役社長執行役員を務めるなど、当社における豊富な業務経験や実績と空港運営会社の経営者としての経験を有しています。

これらの経験や知見を活かし、常勤の監査等委員である取締役として、当社の監査・監督機能を強化することが期待できると考えています。

国土交通省出身であり、当社グループの主要事業である鉄道事業やバス事業のほか、航空、物流等に関する豊富な知識や多様な職務経験を有しています。

これらの経験と実績を活かし、当社と利害関係のない常勤の監査等委員である社外取締役として、経営陣の業務執行に緊張感を持たせることができるなど、当社の監査・監督機能を強化することが期待できると考えています。

㈱ふくおかフィナンシャルグループの代表取締役会長および㈱福岡銀行の代表取締役会長を務めるなど、企業経営に関する豊富な経験や見識を有しているほか、その業務経験を通じ、財務および会計に関する相当程度の知見を有しています。また、2020年6月より当社の監査等委員である社外取締役として、その経験や見識を基に監査を行うとともに、取締役会および監査等委員会において有益なご意見をいただいています。

その知見等を活かした有益な監査のほか、経験や見識に基づいた取締役会等における議論の充実が期待できるなど、監査等委員である社外取締役として、当社の監査・監督機能の強化および取締役会の実効性向上が図られると考えています。

建築家として長年にわたり福岡を中心としてまちづくりに携わってきたほか、㈱大中央の代表取締役社長を務めるなど、企業経営に関する経験や見識も有しています。また、2020年6月より当社の監査等委員でない取締役として、2022年6月からは当社の監査等委員である取締役として、その経験や見識を基に有益なご意見をいただいています。取締役会に同氏の専門的な知見や経験等による視点に加わることに加え、まちづくりを行う当社に対し有益な意見をいただくこと等により、取締役会等の議論の充実が期待できるうえ、その知見等を活かした有益な監査が期待できるなど、当社と利害関係のない監査等委員である社外取締役として、当社の監査・監督機能の強化および取締役会の実効性向上が図られると考えています。

トヨタ自動車㈱において海外事業体や子会社の経営を担うほか、取締役副社長CFOを務めた経験を有し、トヨタ自動車九州(株)の代表取締役社長を務めるなど、グローバル企業の経営者として豊富な経験や見識を有しており、また、その業務経験を通じ、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。

その知見等を活かした有益な監査のほか、経験や見識に基づいた取締役会等における議論の充実が期待できるなど、当社と利害関係のない社外取締役として、当社の監査・監督機能の強化および取締役会の実効性向上が図られるものと考えています。

略歴

1986.4 当社入社
2007.6 当社都市開発事業本部 企画開発部長
2010.7 当社都市開発事業本部 流通レジャー事業部長
2012.7 当社広報室長
2015.7 当社総務広報部長
2016.6 当社執行役員事業創造本部 副本部長兼事業開発部長
2017.2 福岡エアポートホールディングス㈱ 代表取締役専務取締役
2018.4 当社上席グループ理事
2018.7 福岡国際空港㈱ 代表取締役社長執行役員
2020.4 当社専務執行役員
2024.6 当社取締役常任監査等委員(現)

1990.4 運輸省(現国土交通省)入省
2011.4 国土交通省九州運輸局 企画観光部長
2012.9 同省港湾局港湾経済課長
2014.7 同省航空局交通管制部 交通管制企画課長
2016.7 (独)自動車技術総合機構理事
2018.7 国土交通省自動車局総務課長
2019.7 同省航空局交通管制部長
2020.7 同省中国運輸局長
2021.7 同省九州運輸局長
2022.12 日本生命保険相互会社顧問
2024.6 当社取締役監査等委員(現)

2003.6 ㈱福岡銀行取締役
2005.4 同行常務取締役
2007.4 同行取締役専務執行役員
2007.4 ㈱ふくおかフィナンシャルグループ (以下㈱FFG) 取締役
2010.4 ㈱福岡銀行代表取締役副頭取
2012.4 ㈱FFG 代表取締役副社長
2014.6 同社代表取締役社長
2014.6 ㈱福岡銀行代表取締役頭取
2019.4 ㈱FFG 代表取締役会長兼社長
2019.4 ㈱福岡銀行代表取締役会長兼頭取
2020.6 当社取締役監査等委員(現)
2022.4 ㈱FFG 代表取締役会長 (現)
2022.4 ㈱福岡銀行代表取締役会長(現)

1993.12 ㈱マツオカ・ワン・アーキテクト (現㈱スピングラス・アーキテクト) 代表取締役(現)
2007.4 東京電機大学未来科学部 建築学科准教授
2012.10 NPO法人福岡建築 ファウンデーション理事長(現)
2016.11 ㈱大中央代表取締役社長(現)
2020.6 (一社)都心空間交流デザイン 代表理事(現)
2020.6 当社取締役
2022.6 当社取締役監査等委員(現)

2009.6 トヨタ自動車㈱常務役員
2013.4 Toyota Motor North America エグゼクティブ バイスプレジデント兼 Toyota Motor Engineering & Manufacturing North America, Inc 社長
2015.4 トヨタ自動車㈱専務役員兼 北米本部副本部長兼 Toyota Motor North America Chief Administrative Officer
2017.4 同社副社長兼 Chief Financial Officer
2017.6 同社取締役
2018.6 トヨタ自動車九州㈱ 代表取締役社長
2024.6 同社代表取締役社長退任
2025.6 当社取締役監査等委員(現)

※1 2024年6月27日の就任以降に開催した取締役会および監査等委員会への出席状況です。

| |
|-------------------------|
| にしてつグループ企業理念 |
| 企業メッセージ |
| コンテンツ |
| ▶特集 ワンビル、始動。 |
| ▶chapter 1 イントロダクション |
| ▶chapter 2 価値創造ストーリー |
| ▼chapter 3 サステナブル経営 |
| 01 にしてつグループにおけるサステナブル経営 |
| 02 環境と調和ある事業活動の推進 |
| 03 安全・あんしんの追求 |
| 04 持続可能で活力あるまちづくりの推進 |
| 05 お客さま満足の向上 |
| 06 働きやすい・働きがいのある職場づくり |
| 07 人権の尊重 |
| 08 コーポレート・ガバナンス |
| 09 コンプライアンス |
| 10 リスクマネジメント |
| 11 社外取締役 一席談話 |
| 12 新任社外取締役メッセージ |
| 13 有識者メッセージ |
| 14 社会貢献活動 |
| ▶chapter 4 事業別概要 |
| ▶chapter 5 会社データ |

取締役のスキル・マトリックス

当社取締役会は、事業特性や経営戦略に照らし備えるべきスキルについて、長期ビジョン「まち夢ビジョン2035」や、中期経営計画における重点戦略に照らし、以下のとおり「取締役会が備えるべきスキル」を特定した上で、スキル・マトリックスとして一覧化しています。

なお、当社は執行役員制度を導入しており、当社グループ全体の各事業分野において必要なスキルについては、担当執行役員を含めた全体で備える体制としております。各担当執行役員は取締役会に出席し、取締役会の意思決定をサポートすることで、取締役会の機能強化を図っています。

| 氏名 | 当社における地位等 | | 事業特性や経営戦略に照らし当社取締役会が備えるべきスキル | | | | | | | | | |
|--------|------------------|----------|------------------------------|-------|-------|---------|-------|---------------|------------|-------|-----------|---------|
| | | | 企業経営 | 人事・労務 | 財務・会計 | IT・デジタル | グローバル | サステナビリティ・地域貢献 | 内部統制・法務・安全 | モビリティ | 不動産・まちづくり | ロジスティクス |
| 倉富 純男 | 代表取締役 会長 | | ● | | ● | ● | | ● | ● | | ● | |
| 林田 浩一 | 代表取締役 社長執行役員 | | ● | | | ● | ● | ● | ● | | ● | |
| 松本 義人 | 代表取締役 副社長執行役員 | | | | | | | ● | ● | ● | | |
| 大格 淳 | 取締役 専務執行役員 | | ● | | ● | ● | | ● | ● | | | |
| 松藤 悟 | 取締役 常務執行役員 | | | | | | | ● | ● | | | |
| 津野 喜久代 | 取締役 | 社外 独立 | ● | ● | | | ● | ● | | | | |
| 松尾 美枝 | 取締役 | 社外 独立 | ● | | ● | ● | ● | ● | | | | |
| 永竿 哲哉 | 取締役 常任監査等委員 | | ● | | | | ● | ● | ● | | ● | |
| 河原畑 徹 | 取締役 監査等委員 | 社外 独立 | ● | | | | | ● | ● | ● | ● | ● |
| 柴戸 隆成 | 取締役 監査等委員 | 社外 | ● | | ● | | ● | ● | ● | | | |
| 松岡 恭子 | 取締役 監査等委員 | 社外 独立 | ● | | | ● | ● | ● | ● | | ● | |
| 永田 理 | 取締役 監査等委員 | 社外 独立 | ● | | ● | | ● | ● | ● | | | |

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

執行役員

| | | |
|---------|-------|---|
| 社長執行役員 | 林田 浩一 | 業務全般 監査部担当 |
| 副社長執行役員 | 松本 義人 | 社長補佐（業務全般） 自動車事業本部担当 自動車事業本部長 |
| 専務執行役員 | 清水 信彦 | まちづくり・交通・観光推進部、北九州グループ統括担当 まちづくり・交通・観光推進部付福岡空港民間委託担当部長 |
| | 大格 淳 | 経営企画部、DX・ICT推進部担当 |
| | 田川 真司 | 福岡国際空港(株) 代表取締役社長執行役員 |
| | 宇高 圭一 | 国際物流事業本部担当 国際物流事業本部長 |
| 常務執行役員 | 佐藤 仁俊 | 建築技術統括部、海外開発事業部担当 建築技術統括部長兼海外開発事業部長 |
| | 秋澤 壮一 | グループ営業企画部、新領域事業開発部担当 |
| | 松藤 悟 | 鉄道事業本部担当 鉄道事業本部長 |
| | 重水 徹 | 不動産事業本部担当 不動産事業本部長兼統括部長 |
| | 森 慎二 | 安全あんしん推進部、総務部、広報・CS推進部担当 |

| | | |
|------|--------|---|
| 執行役員 | 庄山 和利 | (株)西鉄エージェンシー 代表取締役社長 |
| | 東 欣哉 | 自動車事業本部付部長 |
| | 吉田 透 | 西鉄バス北九州(株) 代表取締役社長 北九西鉄交通(株) 代表取締役社長 |
| | 久保田 等 | (株)西鉄ストア 代表取締役社長執行役員 |
| | 安田 堅太郎 | 西鉄エム・テック(株) 代表取締役社長 |
| | 野崎 武秀 | 天神開発本部担当 天神開発本部長 |
| | 小柳 和彦 | 西鉄旅行(株) 代表取締役社長 |
| | 石川 たかね | 沿線開発事業本部担当 沿線開発事業本部長 |
| | 豊福 辰也 | (株)西鉄ホテルズ 代表取締役社長 |
| | 中山 聡司 | NNR Global Logistics USA Inc. 取締役社長 |
| | 高松 健司 | 西鉄ビルマネジメント(株) 代表取締役社長 |
| | 塚本 靖彦 | 鉄道事業本部副本部長兼計画部長 |
| | 高橋 広志 | 国際物流事業本部副本部長兼東日本営業部長 |
| | 吉田 哲治 | 人事部担当 人事部長 |
| | 川下 英次郎 | 自動車事業本部副本部長兼営業部長 |
| | 永島 久成 | 沿線開発事業本部副本部長兼ビル・SC事業部長 |
| | 赤星 賢一 | 経理部担当 経理部長 |
| | 上野 潔 | 西鉄不動産(株) 代表取締役社長 |

2025年6月27日付

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ^{西鉄}ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

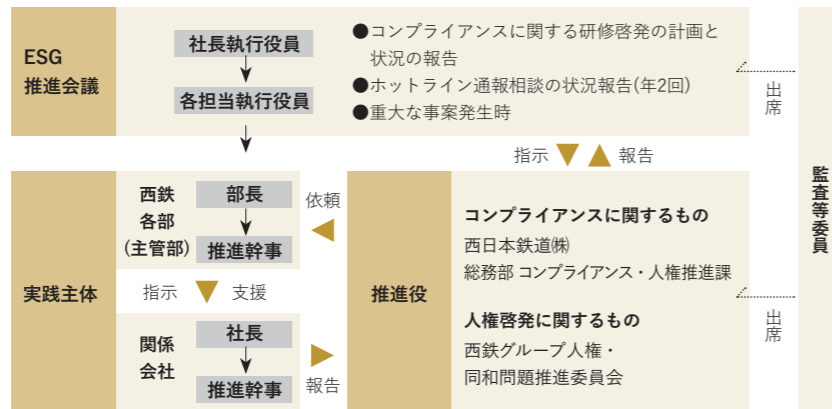
コンプライアンス体制

当社グループでは、コンプライアンス全般に関してはESG推進会議、当社総務部コンプライアンス・人権推進課が推進役としてグループ全体の取り組みのサポートを行っています。

また、コンプライアンスの実践は、各部・関係会社が主体となって行っており、それぞれ代表者（部長・社長）が実践の責任者となって、職場における問題点の改善に向けた取り組みを行っています。コンプライアンス・人権推進課は、必要に応じて各部・関係会社に調査・取り組みの依頼や情報発信を行います。その際に各担当執行役員から業務執行ラインで各部・関係会社へ指示を行うことで、取り組みの徹底を図っております。

このほか、「にしてつグループコンプライアンス方針」を制定し、コンプライアンス意識の醸成を図るとともに、この方針を実践するうえでの基本方針や判断・行動の基準を具体的に表したものとして「にしてつグループコンプライアンスマニュアル」を作成し浸透を図っています。

コンプライアンス推進体制



にしてつグループは、法令違反や非倫理的な行為による利益を一切求めず、事業活動を行う国・地域で適用されるすべての法令、業界基準、社会規範を正しく理解し、これらを遵守することを方針としています。

内部通報制度

コンプライアンスに反する行為を内部通報する制度として、当社グループの全ての役員・従業員・取引先等が利用できる「西鉄グループホットライン」を設置しています。また、社内ホットラインを当社総務部コンプライアンス・人権推進課内に、社外ホットラインを外部の相談窓口サービスの会社に設置し、窓口の運営にあたっては、通報への対応や利用者の保護が確実に行われるよう規程を定めています。

西鉄グループホットライン相談件数

| 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 325件 | 236件 | 277件 | 229件 | 284件 | 257件 |

コンプライアンス推進に向けた取り組み

コンプライアンスセルフチェックを通じた取り組み(従業員アンケート)

にしてつグループでは、全従業員を対象としたアンケート調査「コンプライアンスセルフチェック」を2004年から継続的に実施しています。アンケート結果は、ESG推進会議で報告し、各職場でもこの結果を共有するとともに浮かび上がった問題点や課題についてそれぞれの職場で具体的な改善策を策定し実施に繋がっています。

コンプライアンスセルフチェック回答数

| | |
|----------------|-----------------|
| 2021年10月実施(前回) | 17,166件(全体の78%) |
| 2024年9月実施 | 17,653件(全体の80%) |

コンプライアンス意識向上に向けた研修等の実施

各種研修等にあわせてコンプライアンス研修を行っています。また、社内イントラネット、コンプライアンス通信（かべ新聞）などによる定期的な情報発信を通じて、グループ従業員の意識啓発にも努めています。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 **コンプライアンス**

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

リスクマネジメント体制

当社グループにおけるリスクマネジメントは、経営計画において策定するリスク管理計画の実施と評価の繰り返しにより実施しています。

また、新たな重要リスクへの対応などリスクマネジメントに関する重要な事項については、定期的に報告の上、社長執行役員を議長とするESG推進会議で審議することとしています。

事業等のリスク

当社グループは、多岐にわたる事業を営んでおり、各事業においてリスク管理計画を策定しリスク回避を行うほか、当社が資産・資金を保有・調整することで、グループ全体のリスクのコントロールに努めていますが、当社の営む事業の内容や経営方針等に照らし、当社の財政状態および経営成績等に重要な影響を及ぼす可能性のあると考えるリスクとしては、主として以下のようなものがあります。

なお、これらのリスクは、2025年3月31日現在において入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものです。

事業運営に 影響を及ぼす 可能性のあるリスク

- ① 自然災害・感染症拡大
- ② 海外の社会情勢
- ③ 外交関係等の国際情勢
- ④ 事故・法令違反・不祥事等
- ⑤ 国内の社会情勢、法的規制等
- ⑥ 金融情勢、株価・為替相場の変動

中長期的な経営戦略に 影響を及ぼす 可能性のあるリスク

- ① 国内人口の減少、少子高齢化
- ② ICT・デジタル化、省人化技術の社会実装
- ③ 気候変動
- ④ 人権の尊重、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DE&I）

※詳細は有価証券報告書「事業等のリスク」をご参照ください。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 **ワンピル、始動。**

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ



社外取締役
津野 喜久代

社外取締役監査等委員
柴戸 隆成

社外取締役監査等委員
松岡 恭子

社外取締役監査等委員
河原畑 徹

まち夢ビジョン2035に向けて

テーマ1 当社の特色とガバナンスに関する評価

津野：当社の競争力の源泉は文化にあります。「誠実さ・信頼の文化」と「共生の文化」が共存している点が特に重要です。運輸業を長年営む中で培ったDNAが、地域の皆さまから愛される企業としての信頼を生んでいます。また、国際物流を含む多様な事業が共存していることも強みです。最近のワンピルの完成は、この共生の文化を具現化したものです。今後は『まち夢ビジョン』を実効性のあるステージへ進めるため、これらの文化をさらに高めていくことを期待しています。

もう一つの強みは「事業の多様性」です。地域に根差した事業が多く、他社にはない特徴で、このシナジーを発揮し、新しい価値を創出する大きな可能性があると考えています。

ガバナンスについては、機関設計や運用が充実しており、実効性評価も丁寧に行われています。皆さんの誠実な対応が、ガバナンスの充実につながっていると感じます。今後は、個別の課題だけでなく、全体を俯瞰する視点を持

つことが重要です。全体戦略やリスクをトータルに見渡し、役割を果たすことが課題だと考えています。

河原畑：当社には「鉄道やバスを祖業として安心・安全を提供してきた」という強固な歴史があります。「西鉄がやっているなら安心できる」というブランド力が根付いています。時代とともに路面電車がなくなり、バスも2人体制から1人体制へと変化しましたが、その過程で多角化を進め、現在の幅広いポートフォリオを築いてきました。

コロナ禍では厳しい状況に直面しましたが、国際物流が利益を上げ、全体として補完し合う形で利益を確保できたのも、当社の「総合力」の強さです。

しかし、運輸部門では人手が多く必要なため、人口減少による供給力不足や需要の縮小が懸念されます。需要に合わせたサービス提供に寄りがちで、前に踏み出す姿勢が弱まっている印象があります。

ガバナンス面では、本社は非常に堅実ですが、グループ会社が多く、海外展開も進む中で内部統制を徹底することが課題です。内部統制上の改善については、自部門・自社だけでなく他部門に横展開する仕組みの構築が必要だと感じます。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一座談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

柴戸：ガバナンス面では、執行状況や進捗がタイムリーに報告され、監査等委員への現場訪問も設けられ、見える化が図られています。また、新しいビジネスに取り組む際には、リスクとリターンを踏まえ、地域に精通した人材や良きパートナーを得てリスクをコントロールしています。

個々のビジネス単位ではリスク管理は徹底されていますが、全体的なリスクへの備えには課題があると感じます。特に、コロナ禍のような逆風に対する備えが重要です。今後は、どの分野に注力するかを明確にし、重点的に取り組むことが求められます。

松岡：当社の最大の強みは「福岡に基盤を置いている」ことです。福岡は成長ポテンシャルが高く、九州という広がりを持つ重要な地域です。その基盤の上に、100年以上にわたって誠実なビジネスを重ねてきた歴史と信頼が築かれています。

各部門の専門性も高いですが、その完成度が新しい動きや変化を阻む「殻」となる可能性もあります。今後は鉄道とバスを分けて考えるのではなく、「人の移動」を軸に多様なバリエーションを考えるべきです。安全・安心を守りつつ、実験的な挑戦を行えるかが重要です。

「ワンビル」は非常に高く評価しています。単なる規模の大きさではなく、天神や福ビルの歴史をリスペクトしつつ、新しい世界をつくり出す強いメッセージを発信しています。社員が自由に働き、アイデアが交流しやすい環境が整ったことは、新領域を生み出すトリガーになると期待しています。今の日本が抱える社会課題は、一社だけで解決できるものではありません。リアルな場



があり、社外の人とも接点を持ちやすい環境を手に入れたことは大きなアドバンテージです。

テーマ2 次期中計への期待

津野：『まち夢ビジョン』の実現に向けて、今後3年間のステージを明確に位置付けることが重要です。当社の事業は長期的なスパンが必要なため、3年単位の利益目標達成は必須ですが、同時にビジョン実現に向けた基盤づくりも進める必要があります。

今回の中期経営計画は『まち夢ビジョン』のもとで2度目となるため、ビジョンの解像度を高め、このステージの位置付けを議論することが不可欠です。過去3年間の進捗を検証し、バックキャストとフォアキャストの両面から整理する必要があります。

特に「人的資本」に関しては、どのステージに高めるかを議論し、方向性を定めるべきです。予想外の事態にどう対処するかが問われる時代において、多様な価値観を持つ人々を集め、それを活かす企業の器が求められます。ビジョンには「人的資本経営」が謳われていますが、具体的な実行策を明確にし、人の力を活かして会社が成長する姿を期待しています。

また、DXやICTの取り組みも重要です。少子化・人口減少が進む中で、どのような事業を描くかが鍵です。現行の人員体制では対応できないという危機感を持ち、業務プロセスを見直し、必要なものと不要なものを選別すること

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ



が求められます。仕事のやり方や文化を変え、人の力をどこに注ぐかを明確にすることが大切です。地域におけるサステナビリティの取り組みも具体化し、次のステージに高めていくことを期待しています。

河原畑：私は国土交通省出身なので、運輸分野に関心があります。人手不足・需要減少が進む中、当社は単独ということではなく、自治体やほかの交通事業者と連携・協働して持続可能な地域モビリティを確保する方針をしっかりと打ち出してほしいです。日本一の台数を誇るバスグループとして、九州・福岡で地域の課題をリードする取り組みを期待しています。

省力化・自動化等の新技術の導入・拡大も不可欠です。『のるーと』の展開や『レトロフィットバス』の拡販、特定路線での自動運転実証、AIを活用した駅の踏切の監視、キャッシュレス化を進めることで、バス・鉄道分野においても成長を続けることができるでしょう。公共交通に依存する高齢者や学生の利便性を損なわない形で合理化を進めることも大切です。

また、例えば高齢者の買い物支援など、運輸と流通の両部門を持つ当社だからこそ、地域課題の解決に貢献できることもあると思います。事業性の確保が前提ですが、自治体との信頼関係の下、沿線の地域課題にアプローチすることが西鉄らしさではないでしょうか。

柴戸：当社は「地域課題の解決と公共性の追求」と「企業としてのリターン」の両立を図りながら持続的成長を目指してきた会社だと解釈しています。多方面に種をまき、ポテンシャルも大きいですが、同時に時間のかかる案件も多いため、選択と集中が必要です。

『MaaS』や『のるーと』、太陽光発電事業など新しい挑戦が継続されており、以前に比べてチャレンジの風土は確実に醸成されています。含み益をうまく原資に変え、勝負どころで勝負できるようにすることが重要です。九州・福岡におけるブランド力を活かして、ビジョン実現に向けた取り組みに集中してほしいと思います。

松岡：計画を立てることイコール「新しいものを創る」というマインドで臨むことが重要です。2035年まで残された時間は多くありません。その間に同じことを繰り返している余裕はないと思います。中計は「目指す姿を意識して前回とはまったく違うつくり方にする」ことが必要です。

津野：経営にメリハリを持たせ、「ここを必ず成し遂げるんだ！」という迫力が欲しいですね。今後の議論では、どこに集中するのかを本気で考える必要があります。ただ、そこには事業を担っている方々の思いや感情も絡みます。その壁をどう乗り越えて決断していくのかが、大きな課題だと思います。

松岡：それこそが、社外取締役の役割ではないかと思いますね。

河原畑：最近、処遇改善やさまざまな研修制度が積極的に進められており、人事部門の努力が感じられます。一方で、人財活用面では課題があると思います。グループ内で幅広く人財活用できる仕組みがあってもよいのではないのでしょうか。

津野：人事を会社主導で決めるのではなく、自らの意志で掴み取る仕組みを取り入れることが重要です。幅広い事業領域と挑戦の場があることは大きなアドバンテージであり、「やってみたい」と思える環境を整えることで、社員の力をより引き出せると考えています。



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 —座談会—

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ



社外取締役
松尾 美枝

西鉄グループに対してはバス・鉄道事業をはじめとして不動産、流通、観光等幅広い事業で福岡の街を支えているかけがえのない企業という印象がありました。社外取締役に就任し、西鉄グループは福岡のみならず、日本全国・海外含めた様々な地域で多角的な事業を展開し、「居心地よい幸福感あふれる社会」を実現する企業として変革を推進している事を理解しました。多角的な事業を効果的に推進するには「なぜ自分たちグループはこの事業を展開しているのか。グループのシナジーはなんなのか」の腹落ちを、一人ひとりが理解する事が大事だと思っています。「まち夢ビジョン2035」を制定し、これを西鉄グループが目指すべき北極星として事業を進めており、今後も事業の効率性やサステナビリティを意識した経営を進めています。



社外取締役監査等委員
永田 理

西鉄グループでは、移動・物流・衣食住など、生活に必要なサービスを信頼してお使いいただけるよう誠実に取り組んでいます。快適さや便利さを維持・向上させることはもちろんですが、「災害・事故・犯罪などに対する備えや防止策」は、昨今の国内外の情勢や治安を考慮すると深刻な課題です。「西鉄は最も備えている企業であり、安心だ」と、お客さまに言って頂けるよう、万全の備えや防止策を充実させ、さらなる「安全・安心」をお届けしたいと考えています。

また、天神・福岡・九州の発展に寄与したいとの思いはいよいよ強く、西鉄グループの企業価値向上に真摯に取り組んでいます。一方、戦略的に進めてきた海外関連

日本は今、労働力不足・人口減・高齢化など、過去に経験したことのない課題に直面しています。西鉄グループも今までの延長線ではない経営で、課題を解決し、まち夢ビジョンを実現する必要があります。そしてその経験は同じ課題に直面するであろうアジアをはじめとした国でも差別化要因となりうるビジネスだと期待しています。

こういった課題の解決には業務の高度化・効率化は必須であり、デジタル技術の採用に積極的に取り組んでいく必要があります。また、事業のグローバル展開にもチャレンジして事業を拡大する方針もあります。私自身、長年グローバルIT企業にてDXによる業務変革を推進していた経験があり、そのグローバルでのマネジメント経験を元に、取締役会での議論・意思決定に貢献し、西鉄グループの企業価値の向上に努めたいと思っております。

事業も着実に成長、若いメンバーにも世界で活躍するチャンスが増えています。しかしながら、事業分野や地域の広がりによって、ビジネス面でも様々なリスクが高まります。事業を行う国・地域での政治経済面の動きや国際貿易ルールの変更など、これまでの延長線上では想定できないことも起こり得ます。事業環境の変化への感度向上と迅速な対応が必要です。

加えてステークホルダーの方々の信頼と期待に応えるためには、社内ガバナンスとコンプライアンス面の適正な遂行力が求められます。私自身の経験や学びを西鉄グループ企業・海外事業体のメンバーと共有し、「誠実」で「信頼できる」企業であり続けるよう力を注いでゆく所存です。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウィンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一座談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ



SDGパートナーズ有限会社
代表取締役CEO

田瀬 和夫様

本稿は西日本鉄道株式会社の「2025年度統合報告書」を拝見し、第三者の立場から所感を述べさせていただくものであり、本報告書を総じて高く評価するものです。まず冒頭に強調したいのは、本報告書が同社の経営理念と長期的なビジョンを明確に示し、サステナビリティを経営戦略の中に統合している点です。林田社長のトップメッセージにおいては「濃やかに、共に、創り支える」という理念をビジネスにより社会課題の解決と結びつける姿勢が明確に語られており、経営層の確固たる意思を感じます。これにより、株主や投資家のみならず地域社会や従業員を含む多様なステークホルダーに対し、同社が提供しようとする価値が伝わる構成となっています。

第二に、特筆すべき点として、価値創造モデルと重要課題（マテリアリティ）が整理され、非常に具体的な取り組みが提示されるとともに、その課題やありたい姿が記述されています。これにより同社のサステナビリティ施策が単なる理念や宣言にとどまらず、人々の暮らしを持続的に改善する仕組みとして機能しうることが期待できます。特に、重要課題を財務的影響と社会的影響の両面から捉える姿勢は、欧州で議論が進む「ダブルマテリアリティ（二兎を追う）」の考え方に直結しており、グローバル基準との整合性を高めています。これは国内の同業他社の中でも先進的な試みであり、今後の企業価値向上に資するものと高く評価いたします。

第三に、本報告書は役員・社員やステークホルダーの表情、またそれぞれの意思が見える構成となっており、読者にとって関わる「人」が感じられる点が好ましいと考えます。加えて、デザインが効果的に使われ、視覚的に見やすく理解しやすい内容となっている点も評価できます。統合報告書は時に形式的な開示に終始しがちです

が、本報告書では実際に経営を担う方々の姿勢や意欲が伝わるため、企業文化そのものを理解する一助となっています。こうした透明性とデザイン性は、社内外の信頼醸成に大きく寄与すると考えます。

最後に、改善点として一つ提案させていただきます。現状の重点課題は明確に整理されているものの、今後さらに進化させるためには「中長期的な目標値」と「短期的な進捗」とをより一体的に示す工夫が求められます。例えば、2030年あるいは2050年といった長期目標に対し、年度ごとの達成度やギャップを示すことにより、生活者も投資家もより安心して進捗を見守ることができるでしょう。こうした点を補強することで、統合報告書の実効性は一層高まると考えます。

総じて、西日本鉄道株式会社の統合報告書は、サステナビリティを経営戦略に統合した先進的な実践の成果を示す良質な報告書であり、今後さらなる進化を遂げる可能性を大いに秘めていると評価いたします。

プロフィール

1967年福岡県福岡市生まれ。東京大学工学部原子力工学科卒、同経済学部中退。1992年外務省に入省し、国連政策課、ニューヨーク大学法学院客員研究員、人権難民課、アフリカ二課、国連行政課、国連日本政府代表部一等書記官等を歴任、2005年11月外務省を退職。国際連合事務局、デロイトトーマツコンサルティング執行役員などを経て、2017年にSDGパートナーズを設立。企業のサステナビリティ方針全体の策定と実施支援、SDGsの実装支援、ESGと情報開示支援、自治体と中小企業へのSDGs戦略立案・実施支援などをリードする。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談会

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

社会貢献活動の推進

にしてつグループでは、グループ全体で社会貢献活動を推進しております。2024年度は、にしてつキッズしごと体験スクールや陸上競技部によるかけっこ教室、清掃・緑化活動、バスの日イベント、古本等の募集・寄付、献血、食糧支援などを実施しました。

にしてつ社会貢献月間（毎年9月）

にしてつキッズしごと体験スクール

2009年より、小学生向けの職業体験プログラムとして「にしてつキッズしごと体験スクール」を開催し、次世代を担う子どもたちに、にしてつグループの様々な仕事を体験する機会を提供しています。



▲筑豊電気鉄道(株)
電車運転体験

にしてつキッズスポーツ教室「かけっこ教室」

2023年度より、子どもたちにスポーツの魅力や楽しさを伝える「にしてつキッズスポーツ教室」を開催し、当社陸上競技部と協力してかけっこ教室を開催しました。今後もスポーツでの取り組みを通じて、次世代の人財育成に寄与していきます。



▲かけっこ教室

清掃・緑化活動



▲当社 鉄道事業本部
筑紫工場周辺



▲(株)インキュブ西鉄
西鉄福岡(天神)駅周辺



▲当社国際物流事業本部
幕張の浜

にしてつグループでは、企業理念のもと、社会の役に立ち、社会から信頼される企業であり続けるため、様々な社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

その他活動事例

地域の祭りへの参加

地域で開催される伝統行事(博多祇園山笠[福岡市]、博多どんたく港まつり[福岡市]、わっしょい百万夏まつり[北九州市])に積極的に参加し、地域の一人としてまちの活性化に繋がる支援を続けています。



▲にしてつ花自動車の運行
(博多どんたく港まつり)



▲にしてつどんたく隊
(博多どんたく港まつり)



▲わっしょい百万踊りへの参加
(わっしょい百万夏まつり)

海外での植林活動

当社は、フィリピン・マレーシア・フィジー・タイ・インドネシアに出向き熱帯雨林の再生保全に取り組む「ラブ・グリーン」の活動に賛同し、20年以上前から社員を派遣しています。

2024年度は、タイ・ラノン県におけるマングローブ林再生・保全のための植林活動（7000本）に参加しました。



▲2024年度、タイでの植林活動

海外での社会・地域貢献活動

海外の各現地法人においても、様々な形で社会・地域貢献活動を行っています。



▲NNR GLOBAL LOGISTICS UK
LIMITED (英国) サッカーを通じて
ダウン症の若者や子どもたちを支援



▲PT.NNR RPX Global Logistics
Indonesia (インドネシア)
マングローブの植林活動を実施



▲NNR GLOBAL LOGISTICS MEXICO,
S.A.DE C.V. (メキシコ)
環境負荷低減のために古着の寄付活動を実施

社会貢献活動の推進の
詳しい情報はこちらから



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウィンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▼ chapter 3 サステナブル経営

01 にしてつグループにおけるサステナブル経営

02 環境と調和ある事業活動の推進

03 安全・あんしんの追求

04 持続可能で活力あるまちづくりの推進

05 お客さま満足の向上

06 働きやすい・働きがいのある職場づくり

07 人権の尊重

08 コーポレート・ガバナンス

09 コンプライアンス

10 リスクマネジメント

11 社外取締役 一席談話

12 新任社外取締役メッセージ

13 有識者メッセージ

14 社会貢献活動

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

プライド。 NNRの“翼”



1948年 航空会社の代理店資格を取得した瞬間から、西鉄の「国際物流事業」は始まりました。地域の足を支えてきたバスや鉄道の延長線上に、今や世界をつなぐ物流の道が広がっています。その拠点のひとつが成田空港営業所。1978年の成田（空港）開港とともに、船出したこの営業所は、〈西鉄品質〉で存在感を放っています。何事もやり遂げようとする強靱な精神。そこそが〈プライド〉であり、NNRの翼を力強く羽ばたかせています。

世界に羽ばたく国際企業へ

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▼ chapter 4 事業別概要

01 運輸業

02 不動産業

03 流通業

04 物流業

05 レジャー・サービス業

06 その他

▶ chapter 5 会社データ



西鉄国際物流事業本部
成田空港営業所

瀬尾 哲朗さん/右

田中 諒平さん/左



NISHITETSU side story

「国際物流のパイオニア」 成田で存在感!“B to B物流”

1975年、成田空港開港とともに誕生した西鉄国際物流事業本部成田空港営業所。九州発でありながら、日本を代表する大手からも一目置かれる存在に成長しました。

「馬、といえば“西鉄さん”。
命ある動物の輸送を一手に引き受ける!

西鉄国際物流事業の強みのひとつが「命ある生きもの」の輸送。中でもサラブレッドの国際輸送は「西鉄さんにしか任せられない!」と評される分野です。検疫官や税関との連携、航空機周辺での事前準備など、同時多発的な処理を支えるのは経験と知識。数億円を稼ぐ馬の輸送環境がレースの勝敗を左右することもあり、「その馬のベストを引き受ける覚悟」で挑む姿勢が西鉄の誇りです。

競走馬輸送を担当する瀬尾哲朗さんは「日本初の国際G1ジャパンカップ輸送をはじめ、各国際馬術競技の輸送を担当できるのは信頼の証です」と語ります。世界中から到着する300頭以上の競技馬

と馬具の通関・輸送を手がけ、名馬の歴史を支えてきました。作業は競走馬に負担がかからないよう、気温の下がる深夜早朝が常。到着時刻や駐機場所が直前に確定する中、関係各所と一斉に調整しなければなりません。「国際競走馬輸送はマニュアル通りにいきません。イレギュラーが起きても、孤軍奮闘でやり切るしかないのです」とは、同じく競走馬輸送を担当する田中諒平さん。やり抜くしかない!—それが命ある動物輸送の現場です。

瀬尾さんは「常に先を読み、抜かりなく先手を打つ。代々の先輩の姿を見てきました」と語ります。受け継がれるその精神は、まさに“人の西鉄”の象徴。成田の空に羽ばたくその姿には、フォワードとしての誇り—プライドが鮮やかに息づいています。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▼ chapter 4 事業別概要

01 運輸業

02 不動産業

03 流通業

04 物流業

05 レジャー・サービス業

06 その他

▶ chapter 5 会社データ

運輸業では、鉄道事業、バス事業、タクシー事業、運輸関連事業を行っており、通勤・通学から観光まで安全・あしんな公共交通サービスを提供しています。

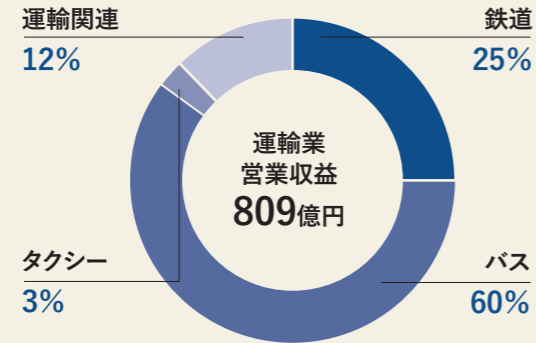
鉄道事業は、福岡(天神)を起点に、二日市・久留米・柳川などの諸都市を経由し、大牟田までの74.8kmを約64分(特急)で結ぶ天神大牟田線や福岡市東部を運行し福岡市地下鉄とも接続する貝塚線、北九州八幡西区の黒崎駅前から直方市の筑豊直方駅まで16kmを約35分で結ぶ筑豊電気鉄道などから成って

います。

バス事業は、乗合バス事業と貸切バス事業があります。乗合バス事業は、地域の生活を支える足として重要な役割を担う一般路線バスと九州各県を中心に都市間をダイレクトに結ぶ高速バスに分類され、貸切バス事業は、地域に密着した事業を展開するとともに県外からの顧客獲得を推進しています。

事業の概況

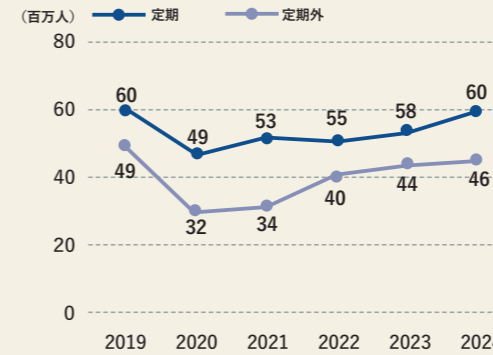
2024年度営業収益におけるセグメント内構成比



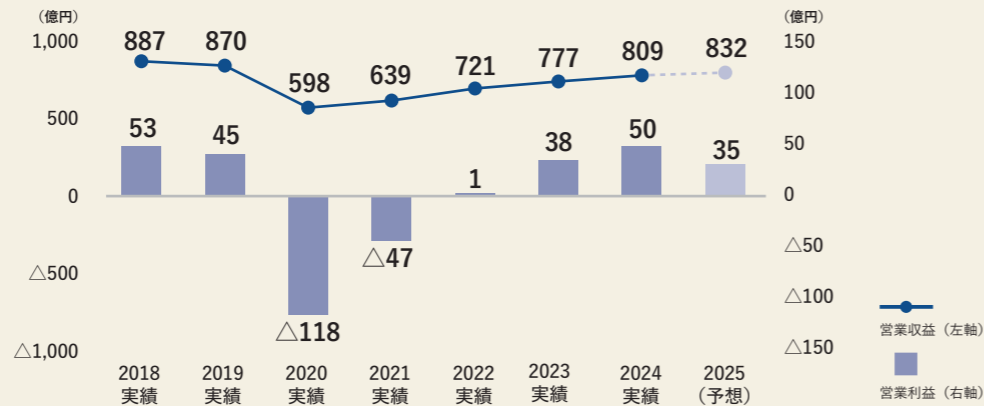
2024年度の運輸業では、バス事業での運賃改定(2024年1月実施)の効果などや、鉄道事業での旅客人員の回復などにより、営業利益は前年度から12億円増加し、50億円となりました。

2025年度は、鉄道事業における人件費や減価償却費の増加やバス事業における人件費の増加により、営業利益は15億円減益の35億円を見込んでいます。

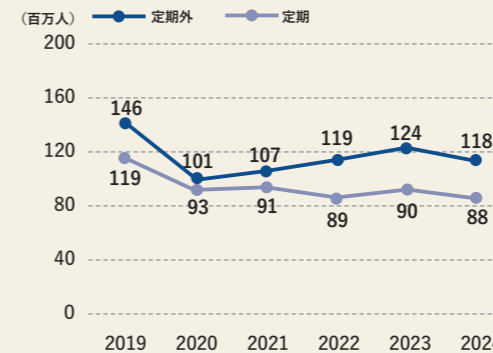
鉄道事業 旅客人員



営業収益・営業利益の推移



バス事業 旅客人員



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ^{ユニバーサル} ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▼ chapter 4 事業別概要

01 運輸業

02 不動産業

03 流通業

04 物流業

05 レジャー・サービス業

06 その他

▶ chapter 5 会社データ



2024年度の取り組み

鉄道事業では、天神大牟田線・貝塚線が開業100周年を迎えました。より一層地域の足として愛される西鉄電車を目指して、新たな公式キャラクター「ガタンコとゴトンコ」を起用し、ラッピング電車の運行、CM放映やグッズ販売等の各種施策を実施しました。また、雑餉隈～下大牟田駅間連続立体交差事業を推進し、春日原駅の新駅舎の供用を開始しました。さらに、より安全・あしんな輸送サービスを提供していくため、西鉄福岡(天神)駅のホームドア整備、高宮駅周辺の耐震補強工事を進めました。そのほか、駅集中管理方式を貝塚線に導入し、天神大牟田線においても対象駅を拡大するなど、駅運営体制の見直しを行い、駅業務の省力化

を推進しました。バス事業では、持続可能な公共交通ネットワークを提供するため、西鉄バス大牟田(株)、西鉄バス久留米(株)および西鉄バス佐賀(株)において運賃改定を実施したほか、定時性確保や乗務員の負担軽減に向け、国土交通省が主導する「完全キャッシュレスバス実証運行」に参画しました。また、長期休暇限定で実施していた「こども50円バス」をすべての土曜・日曜・祝日に拡大し、公共交通の利用促進に努めました。さらに、カーボンニュートラルの実現に向けて、レトロフィット電気バスの製作・導入を進めました。

トピック1 西鉄電車、西鉄バスでのタッチ決済について

当社では、西鉄電車・西鉄バスにおけるタッチ決済サービスを導入しています。持続可能な公共交通の実現に向けて、引き続きタッチ決済をはじめ利便性向上施策に取り組んでまいります。

西鉄電車

2022年7月より一部の駅で実証実験を開始し、2024年11月に天神大牟田線・貝塚線全駅への導入が完了しました。1日あたりの利用件数は、全駅導入時の2024年11月時点から2025年3月時点で約1.7倍と着実に伸長するなど、利用者の認知が進んでいます。今後もさらなる利用拡大が見込まれることから、2025年4月より、本格導入しています。

西鉄バス

2023年7月以降、順次対象路線を拡大し、現在では福岡・北九州エリアの5路線で実証実験を行っています。2024年12月からは、博多駅～福岡空港国際線、Fukuoka BRTにおいて完全キャッシュレスバスの実証実験を開始しており、タッチ決済の利用率も実験前の4%から12月には5%へ増加するなど、順調に拡大しています。今後も他路線への導入拡大を視野に、さらなる知見獲得を目指すため、タッチ決済サービスの実証実験期間を2026年3月31日まで延長します。



トピック2

鉄道事業開業100周年

天神大牟田線・貝塚線は、これまで多くの皆さまにご愛顧いただき、2024年で開業100周年を迎えました。次の100年に向けて、より一層地域の足として皆さまに愛される西鉄電車を目指してまいります。



トピック3

ホームドアの整備

当社では、ホームの安全性向上を図るため、2023年度より西鉄福岡(天神)駅における、ホームドア整備に着手し、2025年度中に全てのホームに設置が完了する予定です。当社では、今後も鉄道事業における安全性・利便性の向上に努め、安心・快適なサービスを提供してまいります。



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウィンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▼ chapter 4 事業別概要

01 運輸業

02 不動産業

03 流通業

04 物流業

05 レジャー・サービス業

06 その他

▶ chapter 5 会社データ

不動産業では、賃貸事業、住宅事業などを行っており、当社沿線を中心としたまちづくりに関与しながら地域の価値向上に努めています。

賃貸事業は、福岡市内を中心としたオフィスビルに加え、「ソラリアプラザビル」、「ソラリアターミナルビル」、「ソラリアステージビル」などの天神の各商業ビル、北九州市の「チャチャタウン小倉」などの商業施設を運営しています。

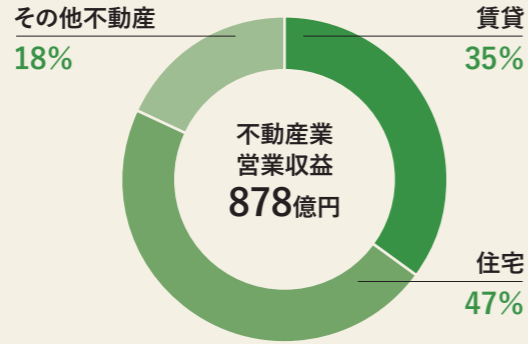
住宅事業は、当社沿線地域を中心とした戸建住宅や福岡・関西・首都圏を中

心に「サンリヤン」シリーズなどで展開している分譲マンションの開発に取り組んでいるほか、賃貸マンションの「ラクレイス」シリーズや有料老人ホームのシニアマンション「サンカルナ」シリーズなどを展開しています。

また、海外開発事業として2015年のベトナム・ホーチミン市での第1号案件を皮切りに東南アジア、アメリカで住宅等の不動産開発を展開しています。

事業の概況

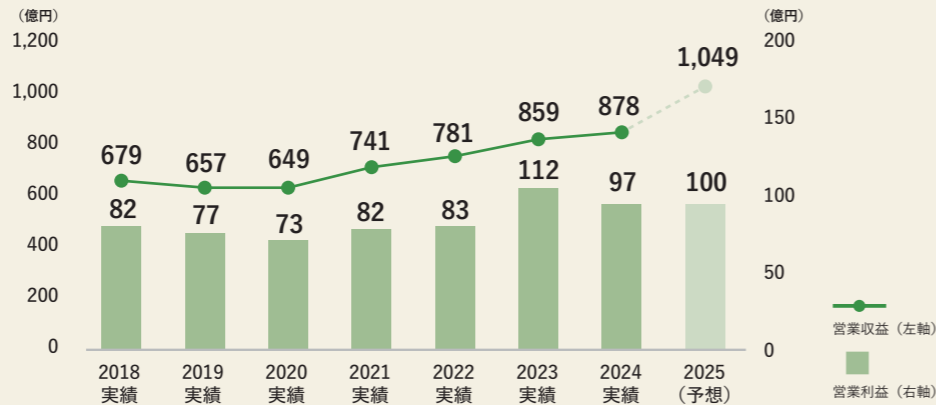
2024年度営業収益におけるセグメント内構成比



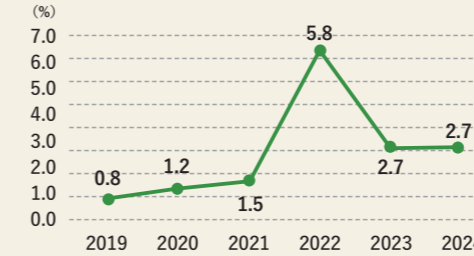
2024年度の不動産業では、住宅事業で、分譲販売区画数は増加したものの、前期に比べ販売単価が減少したこと、賃貸事業で、「ONE FUKUOKA BLDG.」の竣工（2024年12月）や商業施設での賃貸収入の増加の一方で、「ONE FUKUOKA BLDG.」竣工による費用の発生などにより、営業利益は前年度から14億円減少し、97億円となりました。

2025年度は、賃貸事業での諸税の増加の一方で、住宅事業での販売区画数の増加などにより、営業利益は3億円増益の100億円を見込んでいます。

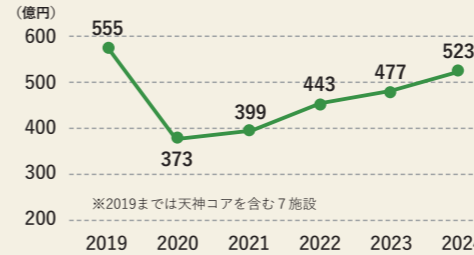
営業収益・営業利益の推移



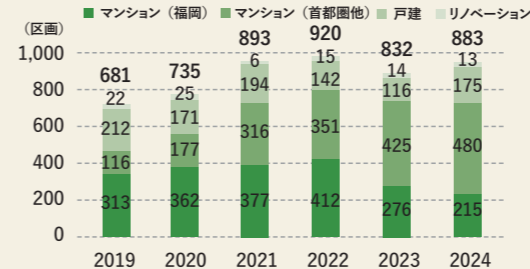
福岡市内 主要オフィスビル空室率



主要6商業ビル売上高



住宅事業 分譲販売区画数



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウィンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▼ chapter 4 事業別概要

01 運輸業

02 不動産業

03 流通業

04 物流業

05 レジャー・サービス業

06 その他

▶ chapter 5 会社データ



2024年度の取り組み

賃貸事業では、福ビル街区建替プロジェクトにおいて、「ONE FUKUOKA BLDG. (ワン・フクオカ・ビルディング)」(2025年4月24日開業)の開業に向け、九州初出店の店舗等魅力あるテナントの誘致に努めました。また、西鉄久留米駅ビル内商業施設「エマックス久留米」を「レイリア久留米」としてリニューアルしたほか、雑餉隈～下大井駅間連続立体交差事業に伴う駅周辺開発および店舗開発を進めるなど、沿線の活性化と収益の拡大を図りました。さらに、ソラリアステージビル1階の「ステージ広場ビジョン」のリニューアル工事をを行い、名称を「SOLARIA DAIGAMEN」とし、新たに運用を開始し

トピック 1

商業施設「レイリア久留米」
グランドオープン

西鉄久留米駅ビルのリニューアル工事完了に伴い、商業施設名称を「レイリア久留米」に改め、グランドオープンしました。今回、「行き交う人がちょっと一息つける、街の中のオアシス空間」をコンセプトに掲げ、2022年から2年間にわたり段階的にリニューアルいたしました。



ました。そのほか、天神二丁目南ブロック駅前東西街区プロジェクト、天神一丁目15・16番街区計画等、福岡都心部における地権者共働の開発プロジェクト等の取り組みを着実に推進しました。

住宅事業では、「ウエリス八千代村上」、「つくばグランヴィラ」等、マンションの供給・販売に努めました。また、東南アジア、アメリカにおいて現地デベロッパーと共同で住宅開発を行うなど、海外における不動産事業の拡大を図りました。その他不動産事業では、「西鉄アセットマネジメント株式会社」を設立し、不動産流動化による資本効率の向上や事業機会の創出に努めました。

トピック 2

「SOLARIA DAIGAMEN」新たな
ランドマークとしての誕生

当ビジョンは天神の中心に位置する情報発信拠点で、定番の待ち合わせスポットとして親しまれています。2025年2月に幅8メートル・高さ9メートルの巨大ビジョンを新設し、駅ビル内では九州最大の規模となりました。待ち合わせの時間を楽しめるコンテンツを提供し、天神のランドマークとして生まれ変わります。これにより、福岡・天神の認知度向上やまちの賑わい創出に努めます。



トピック 3

福岡県外での分譲マンション等
開発事業の拡大

住宅事業では、福岡県外での分譲マンション事業の拡大を進め、首都圏、関西圏での供給・販売に努めています。



◀サンリヤン岐阜グランコンド
(岐阜県岐阜市)

トピック 4

西鉄アセットマネジメント(株)
設立

当社は、2024年10月1日に西鉄アセットマネジメント(株)を設立しました。同社は、不動産流動化スキームの活用拡大に備えた、ファンドの組成や運用の中核的な役割を果たします。当社グループでは不動産流動化スキームを活用した事業機会の創出や資本効率の向上を通じて、福岡や当社沿線のまちづくりを推進してまいります。



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶特集 ^{西鉄}ワンビル、始動。

▶chapter 1 イントロダクション

▶chapter 2 価値創造ストーリー

▶chapter 3 サステナブル経営

▼chapter 4 事業別概要

01 運輸業

02 不動産業

03 流通業

04 物流業

05 レジャー・サービス業

06 その他

▶chapter 5 会社データ

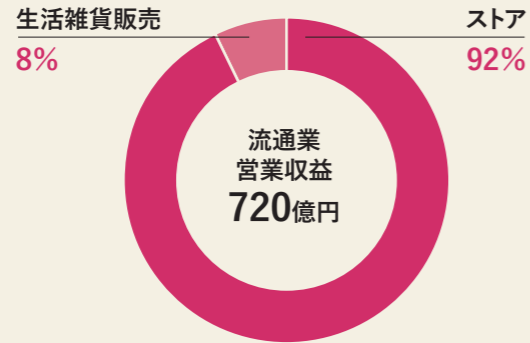
流通業では、ストア事業および生活雑貨販売業を行っており、地域の特性やお客さまのニーズに寄り添った店舗を展開しています。

ストア事業は、福岡県、佐賀県において、「にしてつストア」、「レガネット」、「スピナ」、「あんくる夢市場」などのスーパーマーケット事業のほか、酒類販売業や直営、フランチャイズによるフード事業などで合計111店舗（2025年3月末現在）を展開しています。

生活雑貨販売業は、「雑貨館インキュブ」として旗艦店である「天神店」をはじめ、福岡県内だけでなく九州、本州に合計18店舗（2025年6月末現在）を展開しています。

事業の概況

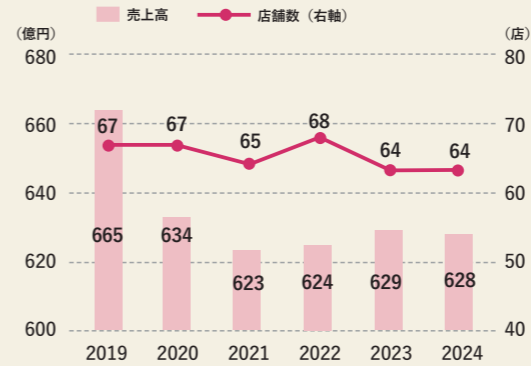
2024年度営業収益におけるセグメント内構成比



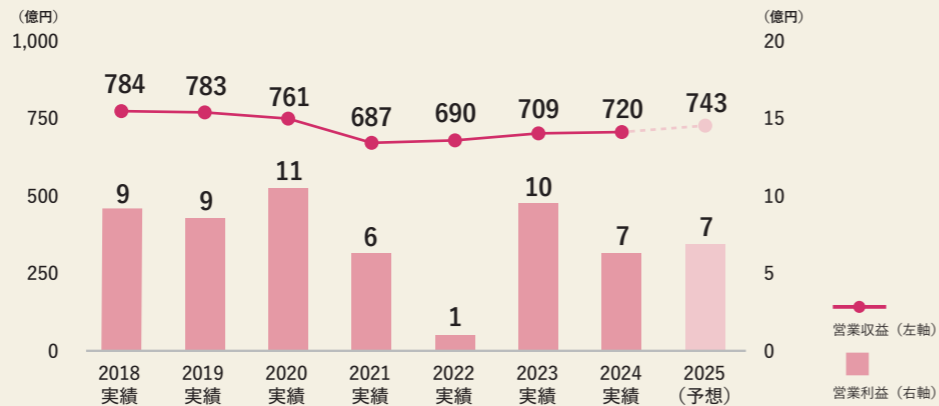
2024年度の流通業では、ストア事業で、前期に改装した店舗等が寄与したことや、生活雑貨販売事業で、「イオンモール直方店」の開業（2024年4月）などの一方で、ストア事業での人件費などの費用が増加したことなどにより、営業利益は前年度から3億円減少し、7億円となりました。

2025年度は、ストア事業での売上の増加を見込むものの、費用の増加などもあり、営業利益は前年度並みの7億円を見込んでいます。

スーパーマーケット事業 売上高・店舗数



営業収益・営業利益の推移



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウィンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▼ chapter 4 事業別概要

01 運輸業

02 不動産業

03 流通業

04 物流業

05 レジャー・サービス業

06 その他

▶ chapter 5 会社データ

2024年度の取り組み

ストア事業では、「レガネット砂津」をリニューアルオープンするなど、収益力の強化に努めました。2025年6月には、「ONE FUKUOKA BLDG.」開業に合わせた「レガネット天神」のリニューアルを行いました。

惣菜を強化し、対面販売による「出来立て」「選ぶ楽しさ」を演出し、購買意欲の向上を図ります。

雑貨販売業では、「雑貨館インキューブ イオンモール直方店」を開業するなど、収益の拡大を図りました。

トピック1 「レガネット天神」リニューアルオープン

～毎日、新発見（Daily New Discovery）～毎日のお買い物が「日常」ではなく、「楽しいこと」と

感じられるように。新たな商品との出会いを通じて、ワクワクする店舗づくりを目指しています。



毎日、新発見（Daily New Discovery）

「毎日、新たな発見ができる売場」を目指し、幅広いラインナップをご用意しています。



JUST IN TIME

惣菜コーナーを大幅リニューアル！「いつでも出来立てが選べる楽しさ」をお届けします。



CHEF'S CRAFT（シェフズクラフト）

注目の「ハイクオリティ進化系冷凍食品」。忙しい日にも手軽に美味しさを楽しめます。

トピック2

「雑貨館インキューブ」
移転と改装で新たな装い

千葉県印西市の商業施設「イオンモール千葉ニュータウン」1階にある「雑貨館インキューブ イオンモール千葉ニュータウン店」は2024年11月に移転オープンしました。移転後の店舗はコスメを中心に売り場づくりを行い、生活雑貨などと合わせて約11,000点のアイテムを取りそろえ、「毎日の生活がちょっと楽しくなる」新しい出逢いを提案しています。また、2014年の開店以降はじめての大きな改装を行った「雑貨館インキューブサンリブシティ小倉店」は、2025年4月18日にリニューアルオープンしました。今回のリニューアルで、お客さまからのニーズが高い美容商品を拡大。新規ブランドコスメの導入やスキンケアコスメを充実させ、既存のお客様はもちろん、若年層の来店率向上を目指しています。店舗の入り口の壁を無くし開放感のある外装に変更することで店内の見通しが良くなり入店しやすいお店に生まれ変わりました。

▲雑貨館インキューブ
イオンモール千葉ニュータウン店▲雑貨館インキューブ
サンリブシティ小倉店

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 西暦、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▼ chapter 4 事業別概要

01 運輸業

02 不動産業

03 流通業

04 物流業

05 レジャー・サービス業

06 その他

▶ chapter 5 会社データ

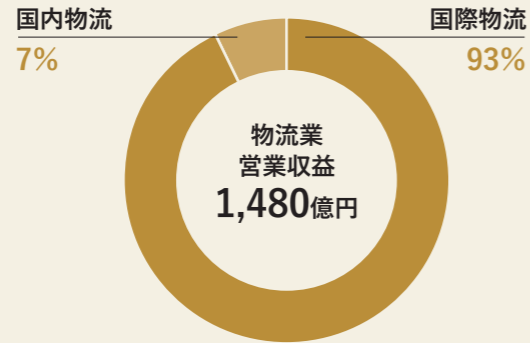
物流業では、国際物流事業および国内物流事業を行っています。

国際物流事業は、世界28ヵ国・地域119都市（2025年3月末現在）に拠点を設け、航空貨物代理店や外航海運利用者(NVOCC)としての航空および海

上の輸出入貨物の輸送や、在庫管理などのロジスティクス事業をはじめ、お客さまのあらゆるニーズにお応えするグローバルな総合物流サービスを提供しています。

事業の概況

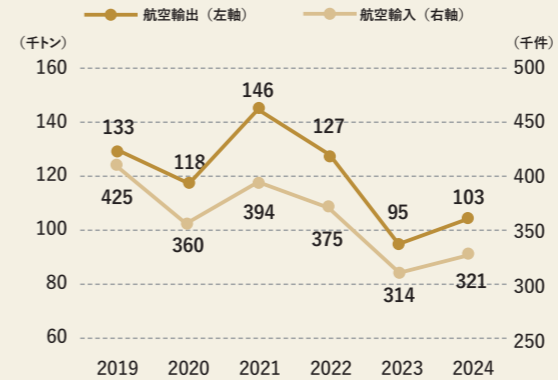
2024年度営業収益におけるセグメント内構成比



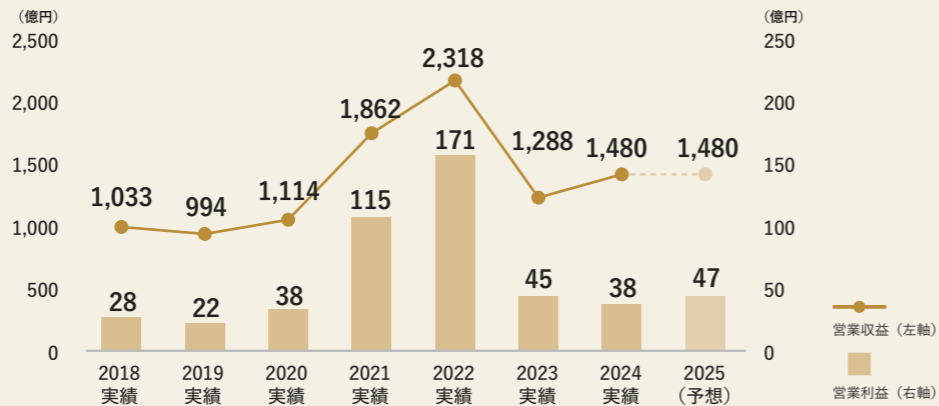
2024年度の物流業では、国際物流事業で、荷動きの回復による取扱数量の増加や為替変動による円換算額の増加などの一方で、仕入価格の上昇などにより、営業利益は前年度から7億円減少し、38億円となりました。

2025年度は、国際物流事業での粗利の増加などにより、営業利益は9億円増益の47億円を見込んでいます。

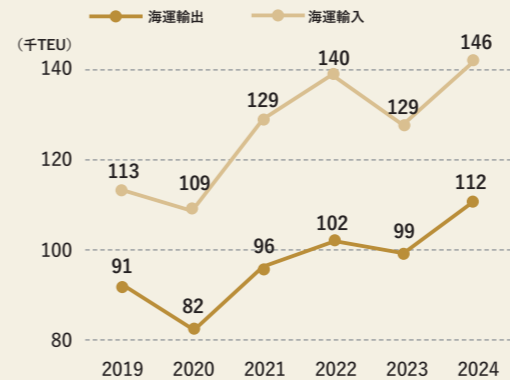
航空輸出入取扱重量および航空輸入取扱件数



営業収益・営業利益の推移



海運輸出および海運輸入取扱重量



※ TEUとは、20フィートの海上輸送コンテナを1単位とした換算個数。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 **ワンピル、始動。**

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▼ chapter 4 事業別概要

01 運輸業

02 不動産業

03 流通業

04 物流業

05 レジャー・サービス業

06 その他

▶ chapter 5 会社データ

2024年度の取り組み

国際物流事業では、インドネシア、ベトナム、アメリカに新たな拠点を展開するなど海外ネットワークの拡充を進めたほか、半導体産業の集積が進む熊本地区において、阿蘇くまもと空港発着の輸出入貨物の取り扱いを開始するなど、収益の拡大を図りました。また、機動的な入札対応およびプロキュアメント戦略（集中

購買による原価低減）を推進するなど、収益力の強化を図りました。さらに、サステナブル経営の基本方針に基づき国際物流事業本部ホームページ上にお客さま向けのCO2排出量算出ツール「NNR CO2 Calculator」を公開するなど、脱炭素化実現につながる取り組みを実施しました。

トピック1 ロジスティクス事業の拡大

2024年7月1日に当社にとって国内最大規模となる「関東ロジスティクスセンター」の営業を開始しました。当施設は、主要港や鉄道貨物ターミナルから40km圏内という立地優位性を活かして、サービスの充実と品質向上を進めています。2024年11月には化粧品や医薬部外品の取り扱いに必要な許可※1の取得、登録、及び管理薬剤師を配置し新たな分野の取り扱いも開始しています。

また、にしてつ台湾現地法人（NNR GLOBAL LOGISTICS TAIWAN INC）は、2024年11月1日に桃園ロジスティクスセンターを開設、営業を開始しました。同施設のある桃園市は桃園国際空港、台湾港、基隆港に近く、また台湾のハイテク産業の中心地である新竹サイエンスパークからも車で1時間圏内の距離にあり、物流拠点に適した立地です。複数のドックレベラー※2を設置し、海上輸送貨物のコンテナの詰め込みや取り出しにも対応可能です。また空調エリアも設け、半導体などの精密機器の在庫管理にも適しています。国内輸送貨物を含む全ての貨物を一括管理し、サプライチェーンの最適化を実現します。

※1 医薬部外品製造業許可（包装/表示/保管区分）、化粧品製造業許可（包装/表示/保管区分） ※2 倉庫などで積み下ろし作業をする際の建物床面とトラック荷台等との間に生じる高低差を無くす装置



関東ロジスティクスセンター

【所在地】千葉県習志野市茜浜二丁目4番
【敷地面積】8,844㎡
【延床面積】19,343㎡（倉庫）
【建物構造】鉄骨、鉄骨鉄筋コンクリート造4階建、耐震設計、各階天井高5.5m 床荷重1.5t/㎡（倉庫）
【倉庫仕様】1階 常温倉庫、冷蔵倉庫（定温定湿）2～4階 空調倉庫



桃園ロジスティクスセンター

【名称】NNR Global Logistics Taiwan Inc.
Taoyuan Logistics Center
【所在地】No.25, Ln.37, Haishan E. St., Luzhu Dist., Taoyuan City (338016), Taiwan, R.O.C.
【敷地面積】6,027.22㎡
【延床面積】4,219.04㎡（倉庫）
【建物構造】鉄骨造（S造）、倉庫内天井高9.5m
【倉庫仕様】1階 常温エリア（2,811.71㎡）、空調エリア（1,407.33㎡）

トピック2

半導体関連産業への事業拡大

熊本地区をはじめとした九州において、半導体関連産業の集積が進んでいます。国際物流事業本部では、2025年4月に半導体専門課と九州ビジネスディベロップメント課を新設し、熊本営業所と連携して半導体産業へのアプローチを強化しました。

トピック3

サステナブル経営への取り組み

2023年度に引き続き、当社国際物流事業において「NNRグローバル・ロジスティクスサステナビリティレポート2024」を発行しました。本レポートでは、当事業本部が取り組むサステナブルな活動とその成果について、具体的かつ詳細に紹介しています。

また、CO2排出量算定ツールを自社システムと連携させて改良したことで、「CO2排出量レポート」をより見やすく、わかりやすい内容としてお客さまへ提供できるようになりました。このレポートは、お客さまが自社のCO2排出量を把握するための有効な手段となり、持続可能な物流サービスの提供を推進する役割を果たしています。



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

- ▶ 特集 ワンビル、始動。
- ▶ chapter 1 イントロダクション
- ▶ chapter 2 価値創造ストーリー
- ▶ chapter 3 サステナブル経営
- ▼ chapter 4 事業別概要
 - 01 運輸業
 - 02 不動産業
 - 03 流通業
 - 04 物流業
 - 05 レジャー・サービス業
 - 06 その他
- ▶ chapter 5 会社データ

レジャー・サービス業では、ホテル事業、旅行事業、娯楽事業、飲食事業、広告事業、その他サービス事業を行っており、様々なサービスを通じて多様な機能と付加価値の提供に努めています。

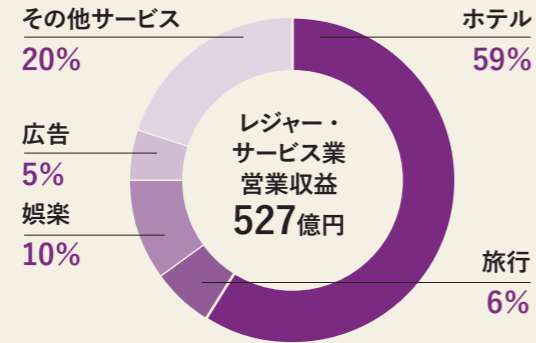
ホテル事業は、シティホテルとして、福岡の中心地である天神に1969年開業の「西鉄グランドホテル」と西鉄福岡(天神)駅に隣接する「ソラリア西鉄ホテル福岡」の2店舗を運営、宿泊主体型ホテルとして、「ソラリア」・「クルーム」

「西鉄イン」のブランドで国内では全国の主要都市に計16店舗、海外では韓国、タイ、台湾で計5店舗を展開しています。

旅行事業は、サッカー、野球、バスケットなどプロスポーツチームのビジネスサポートをはじめ、個人・団体・ビジネス・MICEなど多岐にわたる旅行サービスを提供しています。娯楽事業では、水族館「マリンワールド」や遊園地「だざいふ遊園地」の運営などを行っています。

事業の概況

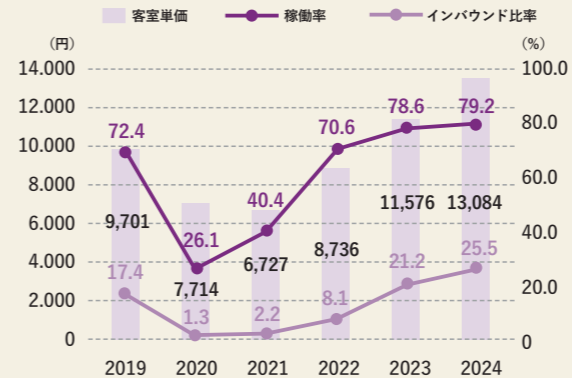
2024年度営業収益におけるセグメント内構成比



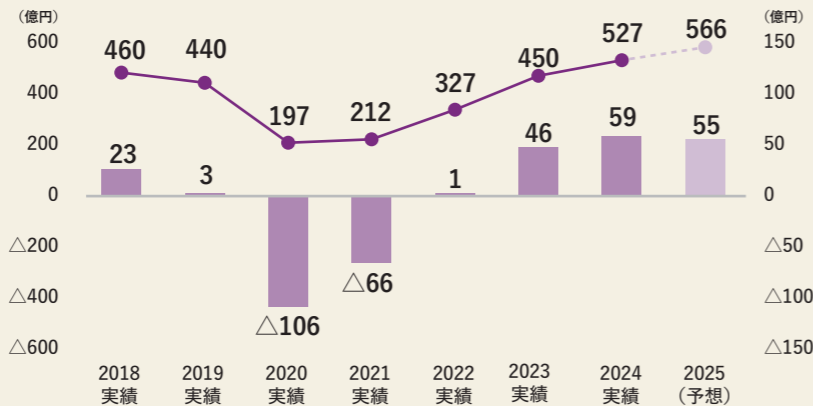
2024年度のレジャー・サービス業では、ホテル事業で、客室単価の上昇や前期に開業した「ソラリア西鉄ホテル台北西門」(2023年8月)の寄与などにより、営業利益は前年度から13億円増加し、59億円となりました。

2025年度は、ホテル事業で、新規に開業した「ONE FUKUOKA HOTEL」(2025年4月)の開業に伴う費用の発生などにより、営業利益は4億円減益の55億円を見込んでいます。

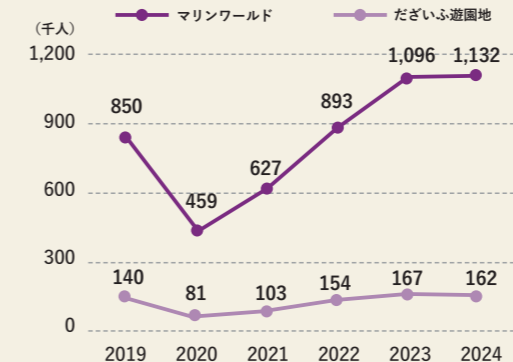
ホテル国内宿泊主体型ホテルの客室単価、稼働率、インバウンド比率



営業収益・営業利益の推移



「マリンワールド」および「だざいふ遊園地」の入園人員



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウィンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▼ chapter 4 事業別概要

01 運輸業

02 不動産業

03 流通業

04 物流業

05 レジャー・サービス業

06 その他

▶ chapter 5 会社データ

2024年度の取り組み

ホテル事業では、タイ・バンコク2店舗目となる「西鉄ホテルクルームバンコクシーロム」を開業するなど、収益の拡大を図りました。また、「ONE FUKUOKA HOTEL」の運営会社として㈱Nishitetsu One Styleを

設立し、開業準備を進めました。

飲食事業では、「ONE FUKUOKA BLDG.」内において「天神福食堂」の開業準備を進めました。

トピック1 新規ホテル計画の着実な推進

ホテル事業では、コロナ前を上回る水準にまで利益が回復し、さらなる事業拡大に向け、今後も国内外のビジネス・観光需要が高いエリアへの出

店により、西鉄ブランドの価値向上を目指してまいります。

ソラリア西鉄ホテル台北西門

【2023年8月開業】



食やファッション、カルチャーが集まるトレンドの発信地「西門町（シメンディン）」エリアでは日系ホテルとして初の進出です。台湾の中心地である台北駅へも徒歩圏内と、交通アクセスに優れています。

ソラリア西鉄ホテル大阪本町（仮称）

【2026年度冬開業予定】



「（仮称）本町四丁目プロジェクト」の中層棟のホテル部分を賃借し出店予定です。御堂筋に面し、大阪メトロ御堂筋線、四つ橋線、中央線の結節点である「本町駅」直結の高い交通利便性から、ビジネス客や観光客、インパウンドの宿泊需要が見込まれます。

西鉄ホテル クルーム バンコク シーロム

【2024年9月開業】



バンコクへの出店は「ソラリア西鉄ホテルバンコク」に続き2店舗目、「クルーム」ブランドでは海外初出店です。日系企業も多数進出するビジネス街に位置し、日本語対応スタッフの配置、中長期の連泊需要にも対応しています。

ソラリア西鉄ホテル福岡エアポート（仮称）

【2027年夏頃開業予定】



福岡空港国内線地区に開業予定の複合施設に、西鉄グループ初となる空港直結型ホテルを出店します。観光やグローバルビジネスの拠点として高い交通利便性を有する福岡空港にホテルを開設することで、早朝利用のビジネス客や国内外の観光客の宿泊需要の取り込みを図ります。

トピック2

Nishitetsu One Style設立

「ONE FUKUOKA HOTEL」の運営会社として、2024年5月27日に㈱Nishitetsu One Styleを設立しました。福岡の賑わいを牽引する天神の地で多様な価値の提供を通じて、居心地のよい幸福感あふれる場の創出を目指してまいります。

日常と非日常、都市と自然、ビジネスとレジャー、交流と休息、すべてを豊かに包み込むひとときを、歴史と活気が息づく街、福岡・天神の中心にそびえるワンピルの最上層ONE FUKUOKA HOTELから提供いたします。



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▼ chapter 4 事業別概要

01 運輸業

02 不動産業

03 流通業

04 物流業

05 レジャー・サービス業

06 その他

▶ chapter 5 会社データ

その他では、ICカード事業、車両整備関連事業、建設関連事業、金属リサイクル事業を行っています。

ICカード事業は、ICカード乗車券「nimoca」の発行や電子マネーサービスなどを行っています。

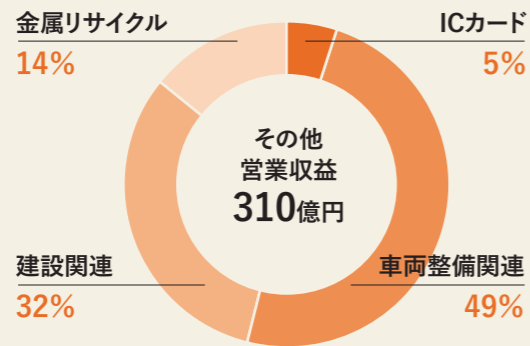
車両整備関連事業は、バス・一般車両の整備・修理や車両改造、フォークリフトの販売等を行っています。

建設関連事業は、マンション・オフィスビル・店舗等の建設工事や鉄軌道・道路・上下水道などのインフラ整備工事などを行っています。

金属リサイクル事業は、シュレッダー等による金属くずの加工処理および売買等の事業を展開しています。

事業の概況

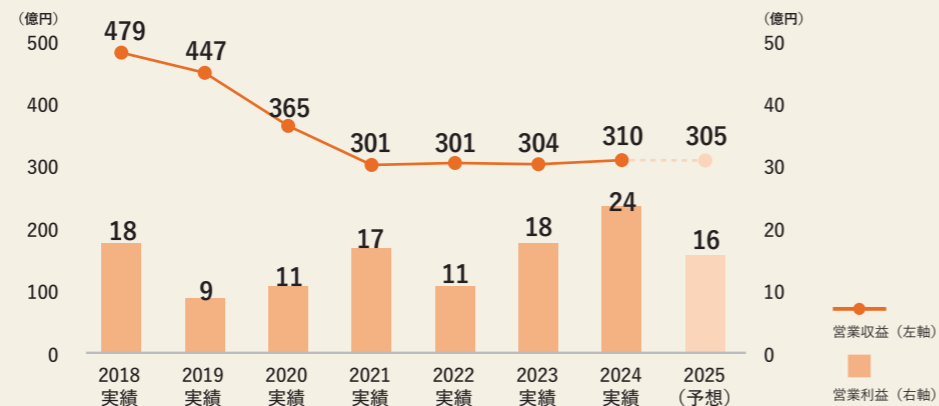
2024年度営業収益におけるセグメント内構成比



2024年度のその他では、車両整備関連事業で受注が増加したことなどにより、営業利益は前年度から6億円増加し、24億円となりました。

2025年度は、建設関連事業での粗利の減少などにより、営業利益は8億円減益の16億円を見込んでいます。

営業収益・営業利益の推移



2024年度の取り組み

ICカード事業では、nimocaバスシステムを導入している交通事業者のキャッシュレス化支援に取り組んだほか、建設関連事業では、設計事務所、既存顧客、建設会社等へ新規工事受注に向けて積極的な営業を行うとともに、公共工事への入札にも参加し、「アイランドシティ地区小学校プール棟新築工事」を受注するなど、収益の拡大に努めました。

トピック1

レトロフィット電気バスの製造

当社グループではバスの運行や管理だけでなく、バスの修理やリニューアル、車両の改造まで手掛けており、西鉄車体技術(株)では自社の古い車両を電気バスに改造した「レトロフィット電気バス」を製造しています。蓄電池を動力源とするためCO2排出量が少ないだけでなく、新車の電気バスを購入した場合の約半分の金額で製造が可能です。その技術力を活かし、にしてつグループでは毎年約30台ずつのペースでレトロ電気フィット電気バスの導入を目指しており、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▼ chapter 4 事業別概要

01 運輸業

02 不動産業

03 流通業

04 物流業

05 レジャー・サービス業

06 その他

▶ chapter 5 会社データ



スキル

技術の継承。

線路も、想いも、どこまでも。



鉄道の安全運行を支えるのが、
鉄道のプロ、「エンジニア」たち。
グループ会社『西鉄エンジニアリング』の創業は
1968年ですが、2019年、鉄道事業の再編に伴い、
それまでのグループ4社・事業部を再統合し、
現在のかたちとなりました。
目的は、分散していた技術や経験を一つに束ね、
鉄道の安全をより確かなものにする事。
その挑戦は、『異体同心』
異なる専門性を「同じ志」でつなぐ
再出発でもありました。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▼ chapter 5 会社データ

01 財務データ

02 非財務データ

03 会社概要・株式情報



西鉄エンジニアリング株式会社
 写真左から
 飛松 幸敏さん（区長）
 井手 英雄さん
 乗富 友孝さん
 川上 賢二さん

NISHITETSU side story

線路、一本一本。 技術、一步一步。

宮の陣保線区（福岡県久留米市）の線路保守現場。作業員たちは日中の巡回で異常箇所を確認し、チョークで枕木やレールに目印を残します。そして最終電車が通過した深夜、道具を手に再び現場へ。刻まれた印をひとつずつたどりながら、黙々と作業に取りかかるのです。

わずか“1ミリ”の歪みを、目で追う。

写真の4人は、現場の最前線で「わずか1ミリの歪みを見逃さない」精鋭です。相棒は、大型保守機械『マルチプルタイタパー(写真)』、通称“マルチタイ”、線路のドクター！レールのわずかな沈みやズレを矯正し、碎石を隙間へと送り込んでいきます。しかし、どれだけ精密な機械があっても、最後に頼りにされるのは人の感覚です。レールのボルトを軽く叩いて音で緩みを見分け、枕木の傾きや浮きを足裏の微妙な感触で読み取る。「その違和感が、身体に染みついているんです」と語るのは、保守歴33年の飛松幸敏区長(写真左)。気温や湿度、時間帯によっても線路の状態は変わるため、一つとして同じ現場はありません。

作業は最終電車通過後の深夜から、始発まで。限られた時間の中で、目と耳と手と足、全身の感覚を総動員して、精度を積み上げていきます。最後は始発に乗って、“乗り心地（揺れ、音）”を確かめる。夜を徹した仕事の終業は朝7時、ようやく彼らは静かに現場を離れます。

そうして、点検と補修を重ねたそのレールの上を、今日も電車が走っていきます。



| | |
|--------------|-----------|
| にしてつグループ企業理念 | |
| 企業メッセージ | |
| コンテンツ | |
| ▶ 特集 | ワンピル、始動。 |
| ▶ chapter 1 | イントロダクション |
| ▶ chapter 2 | 価値創造ストーリー |
| ▶ chapter 3 | サステナブル経営 |
| ▶ chapter 4 | 事業別概要 |
| ▼ chapter 5 | 会社データ |
| 01 | 財務データ |
| 02 | 非財務データ |
| 03 | 会社概要・株式情報 |

01

財務データ

| | (単位) | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|-----------------------|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| [連結] | | | | | | | | | | | |
| 営業収益 | (百万円) | 361,465 | 358,273 | 375,153 | 396,835 | 389,446 | 346,121 | 427,159 | 494,643 | 411,649 | 443,495 |
| 営業利益 | (百万円) | 23,342 | 19,354 | 20,430 | 20,171 | 16,411 | △ 9,501 | 10,451 | 26,150 | 25,877 | 26,655 |
| 経常利益 | (百万円) | 22,580 | 19,155 | 20,704 | 19,271 | 14,322 | △ 9,639 | 13,953 | 27,901 | 24,538 | 28,739 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | (百万円) | 15,194 | 12,179 | 11,562 | 6,330 | 6,678 | △ 12,074 | 9,873 | 18,368 | 24,723 | 20,810 |
| 事業利益 | (百万円) | 23,342 | 19,354 | 20,430 | 18,858 | 14,414 | △ 13,182 | 11,385 | 26,070 | 23,596 | 28,403 |
| 総資産 | (百万円) | 491,675 | 523,179 | 568,703 | 622,816 | 667,150 | 707,804 | 734,500 | 685,795 | 727,002 | 782,126 |
| 負債 | (百万円) | 340,772 | 355,632 | 387,317 | 441,232 | 486,600 | 537,858 | 555,416 | 483,913 | 491,163 | 526,086 |
| 純資産 | (百万円) | 150,902 | 167,547 | 181,385 | 181,512 | 180,549 | 169,946 | 179,084 | 201,881 | 235,839 | 256,039 |
| 自己資本 | (百万円) | 147,424 | 164,032 | 177,505 | 175,985 | 174,887 | 164,157 | 172,593 | 194,793 | 229,032 | 249,033 |
| EPS (1株あたり当期純利益) ※1 | (%) | 192.4 | 154.4 | 146.7 | 80.3 | 84.8 | △ 153.3 | 125.3 | 233.1 | 314.0 | 267.2 |
| ROA (総資産事業利益率) ※2 | (%) | 5.0 | 4.0 | 4.0 | 3.4 | 2.4 | △ 2.1 | 1.8 | 3.9 | 3.4 | 3.8 |
| ROE (自己資本利益率) | (%) | 10.6 | 7.8 | 6.8 | 3.6 | 3.8 | △ 7.1 | 5.9 | 10.0 | 11.7 | 8.7 |
| 自己資本比率 | (%) | 30.0 | 31.4 | 31.2 | 28.3 | 26.2 | 23.2 | 23.5 | 28.4 | 31.5 | 31.8 |
| PER (株価収益率) | (倍) | 19.1 | 15.2 | 19.0 | 33.4 | 31.4 | - | 21.4 | 10.3 | 8.0 | 8.1 |
| PBR (株価純資産倍率) | (倍) | 1.97 | 1.13 | 1.23 | 1.20 | 1.20 | 1.42 | 1.22 | 0.97 | 0.87 | 0.67 |
| 営業活動によるキャッシュフロー | (百万円) | 26,979 | 21,083 | 27,409 | 22,377 | 18,207 | △ 9,939 | 30,591 | 43,775 | 62,213 | 15,611 |
| 投資活動によるキャッシュフロー | (百万円) | △ 22,322 | △ 30,272 | △ 41,596 | △ 58,385 | △ 42,744 | △ 29,245 | △ 10,344 | △ 24,600 | △ 42,028 | △ 74,546 |
| 財務活動によるキャッシュフロー | (百万円) | 5,053 | 3,772 | 14,273 | 30,064 | 32,339 | 56,751 | △ 1,676 | △ 19,164 | △ 25,959 | △ 39,228 |
| 現金および現金同等物の期末残高 | (百万円) | 37,924 | 32,038 | 32,275 | 26,075 | 33,794 | 51,045 | 70,612 | 72,559 | 68,745 | 50,441 |
| 設備投資 | (百万円) | 25,790 | 32,518 | 40,080 | 44,216 | 37,316 | 26,236 | 16,043 | 26,613 | 68,070 | 61,786 |
| EBITDA | (百万円) | 42,663 | 38,666 | 40,990 | 39,263 | 36,217 | 7,900 | 30,965 | 44,598 | 41,940 | 48,578 |
| 有利子負債 | (百万円) | 189,217 | 197,421 | 215,802 | 248,161 | 285,279 | 345,446 | 347,793 | 334,875 | 316,838 | 366,160 |
| NET 有利子負債 / EBITDA 倍率 | (倍) | 3.5 | 4.3 | 4.5 | 5.5 | 6.9 | 37.2 | 8.9 | 5.9 | 5.9 | 6.5 |
| [単体] | | | | | | | | | | | |
| 資本金 | (百万円) | 26,157 | 26,157 | 26,157 | 26,157 | 26,157 | 26,157 | 26,157 | 26,157 | 26,157 | 26,157 |
| 1株あたり配当金 ※1 | (円) | 35.0 | 35.0 | 21.0 | 35.0 | 35.0 | 25.0 | 30.0 | 35.0 | 40.0 | 40.0 |

※1 2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施。本表では、当該株式併合を勘案した金額を記載。

※2 総資産から鉄道の受託工事前受金相当額を除いて算出。また事業利益は、営業利益+事業投資に伴う受取配当金・持分法投資損益の数式により算出。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ^{西 鉄 本 株}ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▼ chapter 5 会社データ

01 財務データ

02 非財務データ

03 会社概要・株式情報

連結経営成績

2024年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や、インバウンド需要の増加などもあり、緩やかな回復基調の中で推移しました。一方で、物価上昇の継続に加え、米国の通商政策による影響など先行き不透明な状況が続いています。

このような情勢のなか、当社グループでは、長期ビジョン「まち夢ビジョン2035」の実現に向けた第1ステップである第16次中期経営計画（2023年度～2025年度）の目標達成に向け、各施策に取り組みました。

この結果、当社グループにおける当連結会計年度の営業収益は、物流業における国際物流事業で輸出入取扱高の増加や、レジャー・サービス業におけるホテル事業で客室単価の上昇に加え、運輸業におけるバス事業で運賃改定効果などもあり4,434億9千5百万円（前期比7.7%増）となり、営業利益は266億5千5百万円（前期比3.0%増）となりました。

経常利益は、持分法による投資損益の改善などもあり287億3千9百万円（前期比17.1%増）となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産売却益の減少などにより208億1千万円（前期比15.8%減）となりました。

財政状態

2025年3月末の資産は、現金及び預金が減少した一方、有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ551億2千3百万円増加し、7,821億2千6百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が減少した一方、有利子負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ349億2千2百万円増加し、5,260億8千6百万円となりました。

純資産は、自己株式の取得による減少の一方、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ202億円増加し、2,560億3千9百万円となりました。

キャッシュ・フロー

2025年3月期における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ183億3百万円減少し、504億4千1百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益308億8千8百万円、減価償却費201億3千2百万円、棚卸資産の増加額（支出）121億6千4百万円等により156億1千1百万円の収入となり、前連結会計年度に比べ466億2百万円の収入減となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出832億5千2百万円、投資有価証券の売却による収入53億5千2百万円等により、745億4千6百万円の支出となり、前連結会計年度に比べ325億1千7百万円の支出増となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の純増による収入277億8千4百万円、社債の純増による収入200億円等により、392億2千8百万円の収入となり、前連結会計年度に比べ651億8千7百万円の収入増となりました。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ウィンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▼ chapter 5 会社データ

01 財務データ

02 非財務データ

03 会社概要・株式情報

株主還元

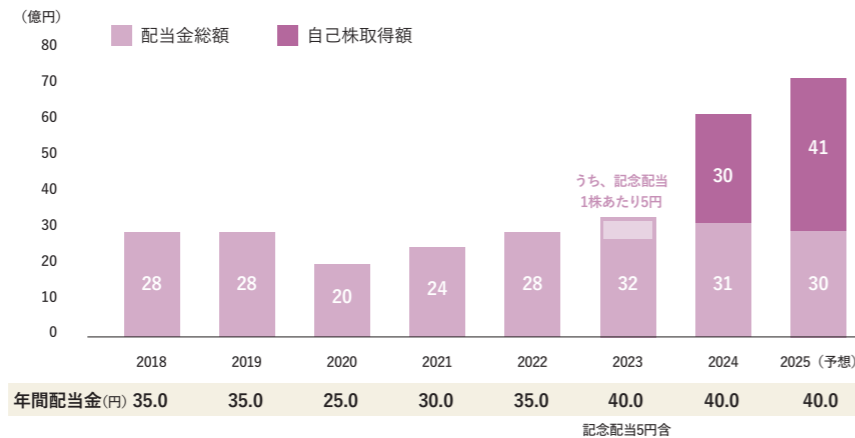
当社は、株主の皆様への安定した利益還元を重視し、適切な内部留保の確保による財務体質および経営基盤の強化を図りながら、安定的・継続的な配当を実施することを利益配分についての方針としています。

内部留保資金につきましては、安全対策や当社グループの成長のための設備投資および借入金の返済等に充当してまいります。

剰余金の配当は中間配当と期末配当の年2回とし、中間配当については取締役会、期末配当については株主総会を配当の決定機関としています。なお、当社は、取締役会の決議によって、毎年9月30日を基準日として中間配当をすることができる旨、定款に定めています。

2024年度の配当につきましては、業績等に鑑み、1株当たり40円（うち中間配当17円50銭）の年間配当としました。

2025年度は、1株あたり40円（うち中間配当20円00銭）の配当を予定しており、それに加え、2025年5月9日開催の取締役会における決議に基づき、約41億円、200万株の自己株式を取得しました。なお、自己株式の取得にあたっては、政策保有株式の保有規模の見直し等による売却資金を原資と致しました。自己株式の取得については、資本効率を意識しつつ、経営環境の変化や業績等に応じて適宜実施してまいります。



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 西 東 北 東 ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▼ chapter 5 会社データ

01 財務データ

02 非財務データ

03 会社概要・株式情報

| 鉄道事業 | (単位) | 2022 | 2023 | 2024 |
|----------------|-------|-------|-------|--------|
| [西日本鉄道株] | | | | |
| 営業キロ | (km) | 106.1 | 106.1 | 106.1 |
| 天神大牟田線 | | 95.1 | 95.1 | 95.1 |
| 貝塚線 | | 11.0 | 11.0 | 11.0 |
| 車両走行キロ | (万キロ) | 3,833 | 3,808 | 3,831 |
| 天神大牟田線 | | 3,706 | 3,681 | 3,703 |
| 貝塚線 | | 127 | 127 | 127 |
| 輸送人員 | (万人) | 9,250 | 9,904 | 10,301 |
| 天神大牟田線 | | 8,483 | 9,097 | 9,446 |
| 貝塚線 | | 766 | 806 | 855 |
| 駅数 | (駅) | 72 | 73 | 73 |
| 天神大牟田線 | | 62 | 63 | 63 |
| 貝塚線 | | 10 | 10 | 10 |
| 車両数 | (両) | 297 | 298 | 298 |
| 天神大牟田線 | | 281 | 282 | 282 |
| 貝塚線 | | 16 | 16 | 16 |
| ピーク時混雑率 | (%) | — | — | — |
| 天神大牟田線(平尾⇒薬院) | | 127 | 137 | 139 |
| 貝塚線(名島⇒貝塚) | | 154 | 158 | 164 |
| [筑豊電気鉄道株] | | | | |
| 営業キロ | (km) | 16.0 | 16.0 | 16.0 |
| 車両走行キロ | (万キロ) | 141 | 140 | 133 |
| 輸送人員 | (万人) | 385 | 401 | 399 |
| 駅数 ※1 | (駅) | 21 | 21 | 21 |
| 車両数 | (両) | 25 | 22 | 22 |
| ピーク時混雑率(萩原⇒熊西) | (%) | 99 | 113 | 116 |

※1 西黒崎駅は国道3号黒崎バイパス建設工事に伴い、2021年10月以降営業休止中。

| バス事業 | (単位) | 2022 | 2023 | 2024 |
|--------------------|-------|--------|--------|--------|
| [西日本鉄道株・グループ会社 ※2] | | | | |
| 車両走行キロ(乗合バス) | (万キロ) | 10,862 | 10,524 | 10,005 |
| 西日本鉄道株 | | 7,302 | 6,959 | 6,581 |
| グループ会社 | | 3,560 | 3,565 | 3,423 |
| 輸送人員(乗合バス) | (万人) | 20,993 | 21,678 | 20,747 |
| 西日本鉄道株 | | 15,100 | 15,075 | 14,669 |
| グループ会社 | | 5,832 | 6,603 | 6,078 |
| 車両数(乗合バス) | (両) | 2,430 | 2,425 | 2,389 |
| 西日本鉄道株 | | 1,572 | 1,546 | 1,512 |
| グループ会社 | | 858 | 879 | 877 |
| 車両数(貸切バス) | (両) | 237 | 206 | 217 |
| 西日本鉄道株 | | 27 | 22 | 22 |
| グループ会社 | | 210 | 184 | 194 |

※2 グループ会社は、西鉄観光バス㈱、西鉄バス北九州㈱、西鉄バス久留米㈱、西鉄バス佐賀㈱、西鉄バス大牟田㈱、西鉄バス筑豊㈱、西鉄バス宗像㈱、西鉄バス二日市㈱、日田バス㈱、亀の井バス㈱の10社を指す。なお、(乗合バス)に西鉄観光バス㈱は含まない。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ^{西鉄バス}ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▼ chapter 5 会社データ

01 財務データ

02 非財務データ

03 会社概要・株式情報

| 賃貸事業 | 規模 | 延床面積 (㎡) | 賃貸可能面積 (㎡) | 竣工年 |
|-----------------|------------|----------|------------|---------|
| [オフィスビル 11棟] ※1 | | | | |
| NDビル | 地下1階、地上8階 | 6,894 | 4,604 | 1974 |
| 西鉄大手門ビル | 地下1階、地上4階 | 8,620 | 4,320 | 1976 |
| 西鉄薬院ビル | 地上7階 | 3,200 | 2,373 | 1981 |
| 西鉄赤坂ビル | 地下1階、地上11階 | 11,834 | 6,639 | 1983 |
| 西鉄渡辺通二丁目ビル | 地上6階 | 3,998 | 2,817 | 1984 |
| 西鉄渡辺通ビル | 地上7階 | 6,077 | 4,019 | 1988 |
| 西鉄今泉ビル | 地上6階 | 4,369 | 2,767 | 1992 |
| 西鉄薬院駅ビル | 地上14階 | 28,348 | 15,977 | 2003 |
| 西鉄千代田県庁ビル | 地下1階、地上10階 | 8,371 | 4,244 | 2008 |
| 西鉄天神ビル | 地下1階、地上8階 | 8,636 | 5,994 | 1982 ※2 |
| 毎日福岡会館 | 地下1階、地上16階 | 22,075 | 3,657 | 1969 ※3 |
| [商業ビル 8棟] | | | | |
| レイリア久留米 | 地上4階 | 14,521 | 9,134 | 1969 |
| レイリア大橋 | 地下1階、地上2階 | 11,711 | 5,987 | 1978 |
| 高宮西鉄名店街 | 地上1階 | 2,918 | 2,398 | 1978 |
| ソラリアプラザビル | 地下3階、地上17階 | 63,345 | 20,235 | 1989 |
| ソラリアターミナルビル | 地下3階、地上9階 | 81,378 | 50,256 | 1997 |
| ソラリアステージビル | 地下2階、地上6階 | 40,906 | 11,159 | 1999 |
| チャチャタウン小倉 | 地上4階 | 47,546 | 22,084 | 2000 |
| スピナガーデン大手町 | 地上2階 | 6,906 | 5,930 | 2007 |

※1 2025年4月に結成した2号ファンドへの売却物件を除いています。

※2 2010年12月取得

※3 2016年6月取得

| 住宅事業 | | | | |
|-------------------------------|-------|--------|---------|------|
| [分譲販売区画数] | (単位) | 2022 | 2023 | 2024 |
| マンション | (戸) | 763 | 701 | 695 |
| 戸建 | (区画) | 142 | 116 | 175 |
| リノベーション | (戸) | 15 | 14 | 13 |
| [賃貸マンション 8棟] ※1 | 規模 | 戸数(戸) | 竣工年 | |
| ラクレイス平尾ステーション | 地上17階 | 209 | 2006 | |
| ラクレイス西新 | 地上16階 | 122 | 2007 | |
| ラクレイス県庁口 | 地上16階 | 126 | 2008 | |
| ラクレイス大橋 | 地上8階 | 35 | 2009 | |
| ラクレイス南品川 | 地上5階 | 24 | 2010 ※2 | |
| ラクレイス高宮 | 地上14階 | 86 | 2015 | |
| ラクレイス香椎照葉 | 地上12階 | 116 | 2019 | |
| ラクレイス香椎駅前 | 地上14階 | 100 | 2023 | |
| [シニアマンション・サービス付き高齢者向け住宅 11施設] | 規模 | 延床面(㎡) | 居室数(室) | 開業年 |
| サンカルナ博多の森 | 地上9階 | 12,441 | 100 | 2003 |
| サンカルナ博多の森ケアステージ | 地上5階 | 4,026 | 78 | 2005 |
| サンカルナ二日市 | 地上9階 | 12,420 | 162 | 2011 |
| サンカルナ小倉大手町 | 地上14階 | 11,068 | 143 | 2013 |
| サンカルナ福岡城南 | 地上9階 | 11,991 | 136 | 2014 |
| サンカルナ三国が丘駅前 | 地上6階 | 10,371 | 138 | 2017 |
| サンカルナ香椎照葉 | 地上12階 | 12,891 | 160 | 2019 |
| カルナス別府 | 地上6階 | 3,690 | 69 | 2019 |
| カルナス城野駅前 | 地上5階 | 4,958 | 102 | 2020 |
| サンカルナ久留米 | 地上14階 | 25,481 | 306 | 2020 |
| サンカルナ西新 | 地上14階 | 12,228 | 133 | 2021 |

※1 2025年4月に結成した2号ファンドへの売却物件を除いています。

※2 竣工は1970年、2010年にリノベーション済み

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 西鉄ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▼ chapter 5 会社データ

01 財務データ

02 非財務データ

03 会社概要・株式情報

| 海外開発 | 所在地 | 種別 | 総戸数(戸) | 竣工年 |
|-------------------------------------|--------|------------------------|----------------|---------------|
| [ベトナム 8案件] | | | | |
| Flora Anh Dao (フロラ・アンドン) ※完了 | ホーチミン | 分譲マンション | 500 | 2016 |
| Fuji Residence (フジ・レジデンス) ※完了 | ホーチミン | 分譲マンション 分譲戸建 | 789 84 | 2017 |
| Kikyo Residence (キキョウ・レジデンス) ※完了 | ホーチミン | 分譲マンション 分譲戸建 | 234 110 | 2018 2017 |
| Mizuki Park (ミズキ・パーク) | ホーチミン | 分譲マンション 分譲戸建・タウンハウス | 4,231 96 | 2018～ |
| Akari City (アカリ・シティ) | ホーチミン | 分譲マンション | 3,583 | 2021～ |
| Waterpoint (ウォーター・ポイント) | ロンアン | 分譲マンション 分譲戸建・タウンハウス | 6,674 2,165 | 2020～ |
| 未定 | ハイフォン | 分譲戸建 | 369 | 2026～ (予定) |
| Paragon (パラゴン) | ドンナイ | 分譲戸建 | 583 | 2027～ (予定) |
| [インドネシア 4案件] | | | | |
| Zora (ゾラ) | 南タンゲラン | 分譲戸建・ ショッパハウス | 578 | 2020～ |
| Sayana Apartments (サヤナ・アパートメント) | ブカシ | 分譲マンション | 590 | 2021～ |
| The Veranda (ザ・ベランダ) | 南ジャカルタ | 分譲マンション | 178 | 2025～ (予定) |
| Asera Nishi (アセラ・ニシ) | ブカシ | 分譲戸建 | 397 | 2022～ |

| 海外開発 | 所在地 | 種別 | 総戸数(戸) | 竣工年 |
|---|---------------------|-----------------|----------------|---------------|
| [アメリカ 9案件] | | | | |
| Alexan Legacy Central (アレクサン・レガシー・セントラル) ※完了 | テキサス州 ブレイン | 賃貸住宅 | 385 | 2020 |
| Veterans Point (ベテランズ・ポイント) ※完了 | イリノイ州 シカゴ | 物流倉庫 | 4(棟) | 2020 |
| Alexan LC2 (アレクサン・エルシー2) ※完了 | テキサス州 ブレイン | 賃貸住宅 | 310 | 2021 |
| Parkside Residences at Discovery Green (パークサイドレジデンス) | テキサス州 ヒューストン | 賃貸住宅 | 307 | 2023 |
| Alexan Main Street (アレクサン・メインストリート) | ワシントン州 ボセル | 賃貸住宅 | 369 | 2024 |
| The Monroe (ザ・モンロー) | カリフォルニア州 モンロビア | 賃貸住宅 | 232 | 2025 (予定) |
| Range West (レンジ・ウェスト) | ミシガン州 サギナウ | 賃貸住宅 | 261 | 2025 (予定) |
| Charlotte (仮・シャーロット) | ノースカロライナ州 シャーロット | 賃貸住宅 | 389 | 2026 (予定) |
| Haltom City (仮・ハルトムシティ) | テキサス州 ハルトムシティ | 賃貸住宅 | 312 | 2026 (予定) |
| [タイ 1案件] | | | | |
| The Crest (ザ・クレスト) | バンコク | 分譲マンション | 418 | 2022 |
| [フィリピン 3案件] | | | | |
| Midori Terraces (ミドリテラス) | アンティポロ | 分譲マンション | 462 | 2024～ |
| Tanauan Park Place Phase4 (タナウアンパークプレイス フェーズ4) | タナウアン | 分譲戸建 タウンハウス | 760 206 | 2024～ |
| Richdale West (リッチデールウエスト) | カビテ | 分譲戸建 分譲マンション | 2,073 1,080 | 2025～ (予定) |

※2025年3月現在

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 西 西 西
ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▼ chapter 5 会社データ

01 財務データ

02 非財務データ

03 会社概要・株式情報

| 流通事業 | 開店年 | | 開店年 | | 開店年 | | 開店年 |
|-----------------------------|------|-----------------------------|------|---------------------------|------|----------------------|------|
| [にしてつストア45店舗(スーパーマーケット)] | | レガネット小郡(小郡市)※2 | 2015 | [あんくる夢市場6店舗(スーパーマーケット)]※5 | | あんくるふじや太良店(藤津郡太良町) | 1999 |
| 福岡県 | | レガネット東郷(宗像市)※2 | 2015 | 福岡県 | | あんくるふじや久保田店(佐賀市) | 2004 |
| にしてつストア七隈店(福岡市城南区) | 1977 | レガネットマルシェ薬院(福岡市中央区)※2 | 2016 | あんくる夢市場久留米店(久留米市) | 2000 | あんくるふじや鳥栖店(鳥栖市) | 2004 |
| にしてつストア高宮店(福岡市南区) | 1978 | レガネットキュートリバーウォーク店(北九州市小倉北区) | 2016 | あんくる夢市場三瀧店(久留米市) | 2003 | あんくるふじや唐津西店(唐津市) | 2005 |
| にしてつストア別府店(福岡市城南区) | 1979 | レガネットキュートソリアステージ店(福岡市中央区) | 2018 | あんくる夢市場甘木店(朝倉市) | 2005 | あんくるふじや弥生が丘店(鳥栖市) | 2009 |
| にしてつストア宮の陣店(久留米市) | 1989 | レガネット姪の浜(福岡市西区)※2 | 2018 | 佐賀県 | | [雑貨館インキュブ18店舗] | |
| にしてつストア明治町店(大川市) | 1991 | レガネット中間(中間市)※2 | 2018 | あんくる夢市場久保田店(佐賀市) | 2004 | 九州 | |
| にしてつストア周船寺店(福岡市西区) | 1992 | レガネット大橋(福岡市南区)※2 | 2018 | あんくる夢市場鳥栖弥生が丘店(鳥栖市) | 2006 | 天神店(福岡県) | 1999 |
| レガネット城西(福岡市早良区) | 1996 | レガネット牛頭(大野城市)※2 | 2019 | あんくる夢市場鹿島店(鹿島市) | 2011 | 久留米店(福岡県) | 2009 |
| レガネット天神(福岡市中央区) | 1999 | レガネットららぽーと福岡(福岡市博多区) | 2022 | [あんくるふじや25店舗(酒類専門店)]※5 | | 木の葉モール橋本店(福岡県) | 2011 |
| にしてつストア宇美店(粕屋郡宇美町) | 2002 | レガネットマルシェ下大利駅(大野城市) | 2022 | 福岡県 | | パークプレイス大分店(大分県) | 2013 |
| レガネット太宰府(太宰府市) | 2003 | レガネット久留米タミー(久留米市)※2 | 2024 | あんくるふじや久留米東店(久留米市) | 1992 | させば五番街店(長崎県) | 2013 |
| にしてつストア有田店(福岡市早良区) | 2003 | レガネット砂津(北九州市小倉北区)※2 | 2024 | あんくるふじや久留米南店(久留米市) | 1993 | サンリブシティ小倉店(福岡県) | 2014 |
| レガネット柳川(柳川市) | 2004 | 佐賀県 | | あんくるふじや前原店(糸島市) | 1995 | イオンモール香椎浜店(福岡県) | 2015 |
| にしてつストア花畑店(久留米市) | 2006 | にしてつストア北茂安店(佐賀県三養基郡) | 1998 | あんくるふじや久留米店(久留米市) | 2000 | イオンモール熊本店(熊本県) | 2018 |
| レガネット千早(福岡市東区) | 2006 | [スピナ14店舗(スーパーマーケット)]※3 | | あんくるふじや那珂川店(那珂川市) | 2000 | イオンモール鹿児島店(鹿児島県) | 2020 |
| にしてつストア香椎花園店(福岡市東区) | 2010 | 福岡県 | | あんくるふじや三瀧店(久留米市) | 2003 | アクロスモール春日店(福岡県) | 2021 |
| レガネット南長住(福岡市南区)※1 | 2010 | スピナ戸畑店(北九州市戸畑区) | 1983 | あんくるふじや甘木店(甘木市) | 2004 | イオンモール福津店(福岡県) | 2022 |
| にしてつストア香椎店(福岡市東区) | 2012 | スピナマートさくら通り店(北九州市八幡東区) | 1988 | あんくるふじや香椎店(福岡市東区) | 2012 | イオンモール直方店(福岡県) | 2024 |
| にしてつストア三瀧店(久留米市) | 2012 | スピナ帆柱店(北九州市八幡東区) | 1989 | あんくるふじや鷹見台店(北九州市八幡西区) | 2018 | 中国 | |
| レガネット飯倉(福岡市早良区)※2 | 2012 | スピナマート鞆ヶ谷店(北九州市戸畑区) | 1992 | 佐賀県 | | おのだサンパーク店(山口県) | 2014 |
| レガネット筥松(福岡市東区)※2 | 2013 | スピナ病院店(北九州市八幡東区) | 1993 | あんくるふじや佐賀北部店(佐賀市) | 1990 | 関西 | |
| レガネット福津(福津市)※2 | 2014 | スピナ枝光店(北九州市八幡東区) | 1994 | あんくるふじや唐津店(唐津市) | 1991 | イオンモール京都桂川店(京都府) | 2014 |
| レガネットマルシェ長住(福岡市南区)※2 | 2014 | スピナ紅梅店(北九州市八幡東区) | 1996 | あんくるふじや武雄店(武雄市) | 1992 | イオンモール草津店(滋賀県) | 2017 |
| レガネット朝倉街道(筑紫野市)※2 | 2014 | スピナマート中井店(北九州市小倉北区) | 2000 | あんくるふじや伊万里店(伊万里市) | 1993 | 関東 | |
| レガネット地行(福岡市中央区) | 2014 | スピナマート穴生店(北九州市八幡東区) | 2000 | あんくるふじや佐賀本店(佐賀市) | 1995 | イオンモール八千代緑が丘店(千葉県) | 2016 |
| レガネットキュートテラス店(福岡市博多区) | 2014 | スピナラソリエ高見店(北九州市八幡東区) | 2002 | あんくるふじや鹿島店(鹿島市) | 1997 | イオンモール千葉ニュータウン店(千葉県) | 2017 |
| レガネットキュート博多バスターミナル店(福岡市博多区) | 2014 | スピナ鷹見台店(北九州市八幡西区) | 2007 | あんくるふじや佐賀東部店(佐賀市) | 1997 | ユニモちはら台店(千葉県) | 2019 |
| レガネットキュート赤坂門店(福岡市中央区) | 2014 | スピナマート大手町店(北九州市小倉北区) | 2007 | あんくるふじや上峰店(三養基郡上峰町) | 1998 | | |
| レガネット美鈴の杜(小郡市) | 2015 | スピナ穴生中央店(北九州市八幡西区) | 2012 | あんくるふじや川副店(佐賀市) | 1998 | | |
| レガネットマルシェ四箇田(福岡市早良区)※2 | 2015 | スピナ到津店(北九州市小倉北区)※4 | 2015 | あんくるふじや有田店(西松浦郡有田町) | 1999 | | |
| レガネットキュート中洲川端店(福岡市博多区) | 2015 | | | あんくるふじや小城店(小城市) | 1999 | | |

※1 開店年に改装を実施し、ダイクス南長住からブランド変更
 ※2 開店年に改装もしくは建替えを実施し、にしてつストアから各店舗記載のブランドへ変更
 ※3 スピナは、2009年4月に会社分割により関西ストアへ事業移管
 ※4 開店年に改装を実施し、にしてつストアからスピナにブランド変更
 ※5 あんくる夢市場およびあんくるふじやは、2017年4月に関西ストアへ吸収合併

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▼ chapter 5 会社データ

01 財務データ

02 非財務データ

03 会社概要・株式情報

| ホテル事業 | 営業階 | 延床面積 (㎡) | 客室数(室) | 開業年 |
|-----------------------|----------------------------|----------|--------|----------------------|
| [シティホテル 2店舗] | | | | |
| 西鉄グランドホテル | 地下1階～地上14階 | 24,018 | 279 | 1969 |
| ソラリア西鉄ホテル福岡 | 地上1階、地上6～17階 | 14,429 | 160 | 1989 |
| [宿泊主体型ホテル 21店舗] | | | | |
| 西鉄イン | | | | |
| 西鉄イン天神 | 地上1～12階 | 3,359 | 163 | 1999 |
| 西鉄イン小倉 | (本館)地上1～11階 (新館)地上1～13階 | 12,169 | 570 | (本館)1999 (新館)2008 |
| 西鉄イン黒崎 | 地上1階、9～12階 | 3,969 | 187 | 2001 |
| 西鉄リゾートイン別府 | 地上1～10階 | 3,752 | 184 | 2003 |
| 西鉄イン日本橋 | 地上1～12階 | 5,641 | 261 | 2003 |
| 西鉄イン新宿 | 地下1階～地上14階 | 8,061 | 300 | 2005 |
| 西鉄イン福岡 | 地上1～13階 | 12,212 | 272 | 2007 |
| 西鉄イン高知はりまや橋 | 地上1～14階 | 6,382 | 248 | 2008 |
| 西鉄リゾートイン那覇 | 地上12階 | 5,949 | 250 | 2011 |
| 西鉄ホテルクルーム | | | | |
| 西鉄ホテルクルーム博多 | 地上14階 | 13,194 | 503 | 2006 |
| 西鉄ホテルクルーム名古屋 | 地上14階 | 6,603 | 242 | 2019 |
| 西鉄ホテルクルーム博多祇園櫛田神社前 | 地上13階 | 7,832 | 275 | 2023 |
| 西鉄ホテルクルームバンコクシーロム | 地下1階～地上8階 | 7,572 | 172 | 2024 |
| ソラリア西鉄ホテル | | | | |
| ソラリア西鉄ホテル銀座 | 地上1～13階 | 6,281 | 207 | 2011 |
| ソラリア西鉄ホテル鹿児島 | 地上1階、7～14階 | 6,779 | 230 | 2012 |
| ソラリア西鉄ホテルソウル明洞 | 地上1階、7～22階 | 13,170 | 312 | 2015 |
| ソラリア西鉄ホテル釜山 | 地上1階、4～16階 | 6,916 | 203 | 2017 |
| ソラリア西鉄ホテル京都プレミア-三条鴨川- | 地下1階地上5階 | 9,353 | 200 | 2017 |
| ソラリア西鉄ホテルバンコク | 地上1～27階 | 16,357 | 263 | 2020 |
| ソラリア西鉄ホテル札幌 | 地上1～2階、5～14階 | 11,910 | 318 | 2021 |
| ソラリア西鉄ホテル台北西門 | 地上1階、6～28階 | 18,884 | 298 | 2023 |
| [その他1店舗] | | | | |
| ONE FUKUOKA HOTEL | 地上18～19階 | 7,056 | 41 | 2025 |

| 鉄道事業 | (単位) | 2022 | 2023 | 2024 |
|--------------|-------|------|-------|-------|
| [西日本鉄道株] | | | | |
| バリアフリー整備費 ※1 | (百万円) | 307 | 1,125 | 1,417 |
| 鉄道運転事故 ※2 | (件) | 5 | 8 | 7 |
| インシデント ※3 | (件) | 1 | 2 | 0 |
| 輸送障害 ※4 | (件) | 26 | 22 | 22 |

| バス事業 | (単位) | 2022 | 2023 | 2024 |
|---------------|------|------|------|------|
| [西日本鉄道株] | | | | |
| 自動車事故 ※5 | (件) | 0 | 1 | 3 |
| [バスグループ会社] ※6 | | | | |
| 自動車事故(※5) | (件) | 2 | 3 | 1 |

※1 駅のバリアフリー設備の整備を着実に推進するため、2023年3月27日より「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用し、同料金の全額を駅のバリアフリー設備の整備費等に充当している。

※2 鉄道運転事故とは、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故、鉄道物損事故の7つを指す。

※3 インシデントとは、鉄道運転事故が発生するおそれのある事態を指す。

※4 輸送障害とは、鉄道運転事故以外で、列車に30分以上の遅延または運休が発生した事態を指す。

※5 自動車事故とは、自動車事故報告規則第2条に規定する重大事故件数を指し、有責・無責事故の両方を含む。

※6 バスグループ会社は、西鉄観光バス㈱、西鉄バス北九州㈱、西鉄バス久留米㈱、西鉄バス佐賀㈱、西鉄バス大牟田㈱、西鉄バス筑豊㈱、西鉄バス宗像㈱、西鉄バス二日市㈱、日田バス㈱、亀の井バス㈱、九州急行バス㈱の11社を指す。

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 西鉄とは ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▼ chapter 5 会社データ

01 財務データ

02 非財務データ

03 会社概要・株式情報



| 従業員 | (データ対象) | (単位) | 2022 | 2023 | 2024 |
|----------------------|--------------|------|-----------|-----------|-----------|
| 従業員数 | (連結) | (人) | 18,456 | 18,687 | 18,956 |
| | (単体) | | 4,502 | 4,502 | 4,586 |
| 平均年齢 | | (歳) | 46.2 | 46.4 | 46.3 |
| 平均勤続年数 | | (年) | 18.9 | 18.6 | 18.5 |
| 平均年間給与 | | (円) | 5,748,590 | 6,111,690 | 6,339,000 |
| 管理職に占める女性労働者の割合 ※1 | | | 4.9 | 5.1 | 6.4 |
| 採用者に占める女性労働者の割合[全職種] | | | 40 | 38 | 35 |
| (乗務員を除く) | | | (49) | (55) | (54) |
| 地域マーケット部門 | (単体) | | 24 | 23 | 20 |
| (乗務員を除く) | | | (34) | (45) | (40) |
| 国際物流部門 | | | 57 | 64 | 66 |
| 採用者に占める外国人の割合[全職種] | | (%) | 1 | 1 | 1 |
| (乗務員を除く) | | | (1) | (1) | (1) |
| 地域マーケット部門 | | | 1 | 1 | 1 |
| (乗務員を除く) | | | (3) | (2) | (2) |
| 国際物流部門 | | | 0 | 0 | 1 |
| 障がい者雇用率 | (西鉄および特例子会社) | | 2.72 | 2.83 | 2.52 |
| 労働者の男女の賃金差異[全職種] ※2 | | | 74.5 | 73.2 | 74.3 |
| 正規雇用労働者 | (単体) | | 80.5 | 77.8 | 77.5 |
| パート・有期労働者 | | | 64.5 | 64.4 | 66.3 |
| 一月当たりの平均残業時間[全職種・社員] | | (時間) | 20.7 | 21.3 | 19.9 |
| 年次有給休暇取得率[全職種・社員] | | | 87.0 | 89.3 | 88.5 |
| 男性労働者の育児休業取得率 ※3 | | | 30.0 | 54.4 | 98.6 |
| 女性労働者の育児休業取得率 ※3 | | (%) | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 健康診断後の再検査受診率 | | | 48 | 75 | 74 |
| 喫煙率 | | | 32 | 30 | 30 |
| ストレスチェック受検率 | | | 97 | 98 | 99 |
| 災害発生件数[業務災害+通勤災害] | (連結) | (件) | 350 | 329 | 347 |
| 人権研修参加者数 | | (人) | 20,548 | 18,722 | 19,178 |

※1 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」(平成27年法律第64号)の規定に基づき算出したもの
 ※2 労働者の男女の賃金差異については、労働者の勤続年数、短時間勤務制度の活用等の働き方、雇用形態別の人数構成等の差によるものであり、賃金制度上、性別による差はありません。
 ※3 「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律施行規則」(平成3年労働省令第25号)第71条の6第2号における「育児休業等及び育児目的休暇」の取得割合にて算出しています。

| 環境データ | データ対象 | (単位) | 2022 | 2023 | 2024 |
|----------------------|-------|------|-------------|-------------|-------------|
| [エネルギー使用量合計] | ※1 | GJ | 4,753,228 | 4,352,823 | 4,388,774 |
| 都市ガス | ※1 | m3 | 2,266,095 | 2,360,790 | 2,464,972 |
| プロパンガス | ※1 | m3 | 329,677 | 311,751 | 571,898 |
| オートガス | ※1 | L | 1,336,963 | 1,230,511 | 1,147,288 |
| ガソリン | ※1 | L | 1,125,128 | 1,106,976 | 1,067,525 |
| 軽油 | ※1 | L | 45,614,935 | 45,871,811 | 44,918,006 |
| 重油 | ※1 | L | 446,185 | 472,129 | 477,144 |
| 灯油 | ※1 | L | 244,424 | 214,520 | 261,901 |
| 熱源 | ※1 | MJ | 32,482,163 | 34,023,277 | 34,298,446 |
| 電力 計 | ※1 | kWh | 275,640,392 | 269,349,835 | 279,929,481 |
| 電力(化石電力) | ※1 | kWh | - | - | 248,532,567 |
| 電力(非化石電力※3) | ※1 | kWh | - | - | 30,922,761 |
| 電力(自家発電) | ※1 | kWh | - | - | 474,154 |
| [水使用量合計] | ※1 | m3 | 1,912,754 | 1,976,200 | - |
| 上水 | ※1 | m3 | - | - | 1,381,007 |
| 中水 | ※1 | m3 | - | - | 203,652 |
| 井水 | ※1 | m3 | - | - | 238,067 |
| 工業用水 | ※1 | m3 | - | - | 57,237 |
| 下水 | ※1 | m3 | - | - | 1,717,427 |
| [コピー用紙] | ※1 | 枚 | 59,648,797 | 57,876,693 | 56,378,505 |
| [CO2排出量] | | | | | |
| Scope1 ※4 | ※1 | tCO2 | 131,565 | 133,707 | 130,681 |
| Scope2 ※4 | ※1 | tCO2 | 109,076 | 129,295 | 106,076 |
| Scope3 ※5 | ※2 | tCO2 | 1,225,916 | 583,470 | 903,783 |
| カテゴリー1 購入した製品・サービス | ※2 | tCO2 | 102,192 | 103,377 | 110,951 |
| カテゴリー2 資本財 | ※2 | tCO2 | 379,914 | 150,545 | 385,222 |
| カテゴリー3 燃料及びエネルギー関連活動 | ※2 | tCO2 | 23,570 | 19,594 | 19,754 |
| カテゴリー4 輸送、配送(上流) | ※2 | tCO2 | 689,393 | 285,093 | 360,977 |
| カテゴリー6 出張 | ※2 | tCO2 | 569 | 794 | 956 |
| カテゴリー7 通勤 | ※2 | tCO2 | 1,093 | 1,088 | 1,107 |
| カテゴリー11 販売した製品の使用 | ※2 | tCO2 | 2,542 | 2,321 | 3,498 |
| カテゴリー13 リース資産(下流) | ※2 | tCO2 | 26,642 | 20,659 | 21,318 |

※1 当社、連結子会社(国内)、一部の関連会社(九州急行バス㈱、㈱太宰府園) ※2 当社のみ ※3 非化石電力は、非化石証書を購入分も含まれています。 ※4 2024年度より実績に対する第三者検証を行っています。 ※5 重要度の判断からカテゴリー5、8、9、10、12、14、15は対象外としています。

| |
|-----------------------------|
| にしてつグループ企業理念 |
| 企業メッセージ |
| コンテンツ |
| ▶ 特集 ^{西鉄} ワンピル、始動。 |
| ▶ chapter 1 イントロダクション |
| ▶ chapter 2 価値創造ストーリー |
| ▶ chapter 3 サステナブル経営 |
| ▶ chapter 4 事業別概要 |
| ▼ chapter 5 会社データ |
| 01 財務データ |
| 02 非財務データ |
| 03 会社概要・株式情報 |

会社概要

商号

西日本鉄道株式会社 (Nishi - Nippon Railroad Co.,Ltd.)

設年月日

1908年12月17日

創立年月日

1942年9月22日

本社所在地

福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号

資本金

261億5,729万円

代表者

取締役社長執行役員 林田 浩一 (はやしだこういち)

事業内容

鉄道および自動車による運送事業、利用運送事業、航空運送代理店業、通関業、不動産の売買および賃貸業、ホテル事業、その他

従業員数

(連結)18,956名、(単体)4,586名 ※2025年3月末時点、他社への出向者等は除く

会計監査人

EY新日本有限責任監査法人

株式情報 (2025年3月31日現在)

上場証券取引所

東京証券取引所プライム市場、福岡証券取引所

証券コード

9031

創立年月日

1942年9月22日

発行可能株式数

200,000,000株

発行済株式数

79,360,186株(自己株式1,499,257株を含む。)

総株主数

23,207人

株式所有者別状況

| 区分 | 株式の状況(1単元の株式数100株) | | | | | | | | 単元未満株式の状況(株) |
|-------------|--------------------|---------|--------------|------------|--------|------|-----------|---------|--------------|
| | 政府及び地方 公共団体 | 金融機関 | 金融商品 取引業者 | その他の 法人 | 外国法人等 | | 個人 その他 | 計 | |
| | | | | | 個人以外 | 個人 | | | |
| 株主数(人) | － | 44 | 24 | 239 | 162 | 17 | 16,444 | 16,930 | － |
| 所有株式数(単元) | － | 294,569 | 11,093 | 66,461 | 88,026 | 129 | 330,741 | 791,019 | 258,286 |
| 所有株式数の割合(%) | － | 37.24 | 1.40 | 8.40 | 11.13 | 0.02 | 41.814 | 100.00 | － |

※自己株式1,499,257株は「個人その他」に14,992単元および「単元未満株式の状況」に57株含まれています。
※「単元未満株式の状況」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が6株含まれています。

大株主の状況

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-----------------------------|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行(信託口) | 7,357 | 9.45 |
| (株)福岡銀行 | 3,861 | 4.96 |
| (株)西日本シティ銀行 | 3,009 | 3.87 |
| 日本生命保険相互会社 | 2,235 | 2.87 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 1,889 | 2.43 |
| (株)日本カस्टディ銀行(信託口) | 1,540 | 1.98 |
| (株)みずほ銀行 | 1,122 | 1.44 |
| 第一生命保険(株) | 1,051 | 1.35 |
| JP MORGAN CHASE BANK 385781 | 1,031 | 1.32 |
| 損害保険ジャパン(株) | 952 | 1.22 |

※持株比率は、自己株式(1,499,257株)を控除して計算

格付情報

| 格付機関名 | 格付 |
|-----------------|-------------------------|
| 日本格付研究所(JCR) | 長期発行体格付 A+ (安定的) |
| 格付投資情報センター(R&I) | 発行体格付 A (安定的) |

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 **ワンピル、始動。**

▶ chapter 1 **イントロダクション**

▶ chapter 2 **価値創造ストーリー**

▶ chapter 3 **サステナブル経営**

▶ chapter 4 **事業別概要**

▼ chapter 5 **会社データ**

01 財務データ

02 非財務データ

03 会社概要・株式情報

グループ一覧 (2025年10月1日現在)

子会社 (85社)

運輸業 (16社)

鉄道事業 (1社)

- ・筑豊電気鉄道(株)

バス事業 (9社)

- ・亀の井バス(株)
- ・日田バス(株)
- ・西鉄観光バス(株)
- ・西鉄バス北九州(株)
- ・西鉄バス佐賀(株)
- ・西鉄バス久留米(株)
- ・西鉄バス大牟田(株)
- ・西鉄バス筑豊(株)
- ・北九西鉄交通(株)

タクシー事業 (3社)

- ・福岡西鉄タクシー(株)
- ・宗像西鉄タクシー(株)
- ・久留米西鉄タクシー(株)

運輸関連事業(3社)

- ・(株)西鉄チケットサービス
- ・(株)西鉄ステーションサービス
- ・西鉄エンジニアリング(株)

不動産業 (11社)

賃貸事業 (3社)

- ・博多バスターミナル(株)
- ・福岡中央児童会館建替え等整備事業(株)
- ・(株)スピナ

住宅事業 (4社)

- ・NNR Realty Investments USA
- ・サウスゲート都市開発(株)
- ・パラゴン都市開発(株)
- ・QEYSTONE INVESTMENTS PTE LTD.

その他事業 (4社)

- ・西鉄ビルマネージメント(株)
- ・西鉄不動産(株)
- ・西鉄ケアサービス(株)
- ・西鉄アセットマネジメント(株)

流通業 (2社)

ストア事業 (1社)

- ・(株)西鉄ストア

生活雑貨販売業 (1社)

- ・(株)インキューブ西鉄

物流業 (25社)

国際物流事業 (23社)

- ・NNR Global Logistics USA Inc.
- ・NNR GLOBAL LOGISTICS KOREA CO.,LTD.
- ・NNR GLOBAL LOGISTICS (HK) LIMITED.
- ・NNR GLOBAL LOGISTICS (SHANGHAI) CO.,LTD.
- ・NNR Global Logistics (Beijing) Company Limited.
- ・NNR Global Logistics (GUANGZHOU) CO.,Limited.
- ・NNR Global Logistics Australia Pty Ltd.
- ・NNR GLOBAL LOGISTICS NEW ZEALAND Limited
- ・NNR GLOBAL LOGISTICS FRANCE SAS
- ・NNR GLOBAL LOGISTICS TAIWAN INC.
- ・NNR GLOBAL LOGISTICS UK LIMITED
- ・NNR Global Logistics Germany GmbH
- ・NNR Global Logistics Hungary Kft
- ・PT.NNR RPX Global Logistics Indonesia
- ・NNR GLOBAL LOGISTICS (S) PTE LTD
- ・NNR GLOBAL LOGISTICS (THAILAND) CO.,LTD.
- ・NNR International Logistics (Shanghai) Company Limited.
- ・NNR Global Logistics India Private Limited
- ・NNR GLOBAL LOGISTICS (VIETNAM) CO.,LTD.
- ・NNR GLOBAL LOGISTICS (PHILIPPINES) INC.
- ・NNR Global Logistics Netherlands B.V.
- ・NNR GLOBAL LOGISTICS MEXICO, S.A.DE C.V.
- ・NNR Global Logistics Middle East FZCO.

国内物流事業 (2社)

- ・西鉄運輸(株)
- ・西鉄物流(株)

レジャー・サービス事業 (17社)

ホテル事業 (5社)

- ・(株)西鉄ホテルズ
- ・NNR Hotels International Korea Co.,Ltd.
- ・NNR Hotels International (Thailand) Co., Ltd.
- ・NNR Hotels International Taiwan Co.,Ltd.
- ・(株)Nishitetsu One Style

旅行事業 (1社)

- ・西鉄旅行(株)

娯楽事業 (3社)

- ・西鉄ウェルネス(株)
- ・(株)海の中道海洋生態科学館
- ・マリンワールドPFI(株)

広告事業 (1社)

- ・(株)西鉄エージェンシー

その他サービス事業 (7社)

- ・西鉄エアサービス(株)
- ・(株)NJアグリサポート
- ・ラプエフエム国際放送(株)
- ・西鉄情報システム(株)
- ・(株)西鉄アカウントティングサービス
- ・西鉄人事サービス(株)
- ・西鉄ウィルアクト(株)

その他 (14社)

ICカード事業 (1社)

- ・(株)ニモカ

車両整備関連事業 (3社)

- ・西鉄エム・テック(株)
- ・福岡小松フォークリフト(株)
- ・西鉄車体技術(株)

建設関連事業 (3社)

- ・西鉄建設(株)
- ・西鉄シー・イー・コンサルタント(株)
- ・(株)西鉄グリーン土木

金属リサイクル事業 (1社)

- ・九州メタル産業(株)

農業関連事業 (6社)

- ・ヒノマルホールディングス(株)
- ・ヒノマル(株)
- ・タイハク(株)
- ・三建産業(株)
- ・(株)九州農村
- ・(株)マルタカ商事

関連会社 (50社)

- ・九州急行バス(株)
- ・(株)太宰府園
- ・NNR・MC空港運営(株)
- ・NNR GLOBAL LOGISTICS (M) SDN.BHD.
ほか 46社

学校法人 (1社)

- ・(学)西鉄学園

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 西鉄ワンピル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▼ chapter 5 会社データ

01 財務データ

02 非財務データ

03 会社概要・株式情報



西鉄ホテル クルーム バンkok シーロム
 開業で「CROOM」ブランドが海外へ！
 西鉄がグローバル進出を続ける狙いは？

ワンビル5階・天神福食堂のメニュー紹介
 ランチ1,000円以下&昼飲みも！
 定食やパスタなど充実ラインナップ

西鉄電車&バスでの忘れ物・落とし物を
 LINEでかんたんに検索できる！
 スムーズに探せる新システム

にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

- ▶ 特集 西鉄まは ワンビル、始動。
- ▶ chapter 1 イントロダクション
- ▶ chapter 2 価値創造ストーリー
- ▶ chapter 3 サステナブル経営
- ▶ chapter 4 事業別概要
- ▶ chapter 5 会社データ

This is NISHITETSU.

～私たちの365日～西鉄をよく知っていただくために。



西鉄グループにまつわる、さまざまなヒト・コト・モノの「かけ合わせ」で生まれるストーリーをお届けします。「+」より「&」より、「×(かける)」で、今日を未来をつくってゆく。そんな想いを名前に込めたオンラインマガジンです。



ぜひ御覧ください。
<https://nnr-nx.jp>



にしてつグループ企業理念

企業メッセージ

コンテンツ

▶ 特集 西 鉄 本 株 ワンビル、始動。

▶ chapter 1 イントロダクション

▶ chapter 2 価値創造ストーリー

▶ chapter 3 サステナブル経営

▶ chapter 4 事業別概要

▶ chapter 5 会社データ

まちに、夢を描こう。



西日本鉄道株式会社
経営企画部

〒 810-0001 福岡県福岡市中央区天神一丁目 11 番 1 号

<https://www.nishitetsu.co.jp/>

2025 年 10 月発行